

国際理解 第 8 号

1 9 9 1



岡山県国際理解教育研究会

目次

ご挨拶	熊代剛士	1
国際理解教育に今、必要なもの	吉田五平	3
国際理解の促進を目指して	小山浩一	5
世界の日本人学校から		
1. タイと日本との間	有吉捷郎	10
2. 魅惑の国インド・ボンベイより	大塚千代和	13
3. コスタ・リカ	山田羊平	17
4. 緑豊かなサンパウロ日本人学校	小川大右	20
5. 日系大統領誕生のベルー	市原誠二	24
6. アルゼンチン便り	村瀬憲正	28
7. デュッセルドルフ日本人学校	岡村富廣	31
8. 開校十周年 マドリッド日本人学校	伊月義治	34

9. ナイロビ日本人学校から

本山 博 37

世界の国々に学ぶ(冊国教師のレポート)

1. 派遣教師として — タイに根ざして —

西村 壽倫 42

2. マレーシアという国

斉藤 輝三 48

3. 雲南石林

村下 英二 51

4. 国際理解に思う — シカゴ補習校での生活を通して —

太田 直宏 54

5. ピラニア釣りに思う

三村 秀樹 58

子供のための世界の国々に

1. オーストラリア

赤木 寛 66

2. 台湾

片山 主計 75

3. 子供の日 端午の節句

阿比留 博 82

4. シンガポールのお正月(春節)

赤田 卓美 85

5. 知っているかな、こんな違い

垣見 憲治 89

6. ブラジル日系移民の人々

横山 福水 97

7. 西洋人のユーモア感覚

三宅 正勝 103

中国の歴史をどう見るか（日本と中国の歴史教科書を比較して）	第二部	黒田忠男	111
国際理解の集い（岡山）報告		根葉健児	123
第一回子供のための国際理解（岡山）		片山主計	124
第六回映像鑑賞会		渡辺光	125
国際理解のための青少年の集い		寺脇政富	126
第三回青少年のつどい — 国際理解に向けて —			127
事務局だより			128
海外派遣者名簿（帰国者）			130
現派遣者名簿			133
役員名簿			134
本国会則			135

表紙の絵 タカを売る人

（サウジアラビア・リアドの市場で）



ご挨拶

会長 熊代剛士

私たちの冊子「国際理解」も数えて第八号になりました。会員各位そして終始温かい御支援を戴いております関係諸賢に、まず、心からお礼申し上げます。

近年、新聞、テレビなどいたるところで、国際理解とか国際化という言葉にぶつかります。新学習指導要領にも取り上げられるまでになりました。

国際化の波は、世界が平和であればあるほど、そのうねりは大きくなってくるものようです。第二次大戦以後、朝鮮南北戦争、ベトナム、イ・イ戦争と、局地的戦争はあっても、全世界を巻き込むような大戦は避けてこられました。これは、人類の体験から生まれた一つの輝かしい知恵であらうと思います。

そして更に、一九九〇年は、あんなに厚かったベルリンの壁が破られ、統一ドイツが甦り、南北朝鮮の対話が始まり、それと共に、近くて遠い国であった北朝鮮と日本との国交の雪どけも感じられます。

まさに世界は、平和・友好へと着実に歩んでいるように感じられます。

このような背景をふまえて、私たちの会の使命はいよいよ増大していくように思っています。

ともすると、教育という多忙な仕事にまぎれて、かつての海外派遣時の感謝の気持ちや、燃えるような使命感を、忘れてはいないまでもすりかえてしまっていることもあるのではないのでしょうか。三年という長い年月をかけて培った国際感覚というものを、何とかして子供たちの中へ返していくことを忘れてはならないと思います。

近づきつつある世界と日本、世界と岡山と、そこに住む子供たちの感性の中に、一滴でもいい国際性の芽を育てていくことを願って互いに手をとりあって進みたいものです。

岡山県から海外日本人学校等へ派遣された私たちの仲間は今々増え現在派遣中の人を含めて一〇四名になっています。

現在派遣中の先生方からも、各国の最新の情報を頂いています。

幸い、本年も当研究会に対して、財団法人・福武教育振興財団から助成金を戴くことができました。そして御協賛いただいた各社、さらにご多忙の中を玉稿をお寄せいただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。



「国際理解教育に今、必要なもの」

元岡山県立玉野光南高等学校長

吉 田 五 平

岡山県高等学校教育研究協議会による「平成十二年度を別途とする県立高等学校教育体制の整備について」の答申において、高校教育改善の一視点として、情報化、国際化等への対応が提言されていますが、このことは、急激な世界状況の変容と、その中における日本の重要な役割りを念頭に置いた誠に至当なるものであります。

さて、本校は、情報化社会・国際化社会に主体的に対応できる、しっかりとした基礎基本を身につけ、生涯に渡っての自己教育力とともに、豊かな感性、個性をもった生徒の育成を目指して、ニュータイプの学科総合型高校として昭和五十九年に開校されました。教育目標の一つである、国際感覚を育て、国際的視野の拡大を図ることの手法として、例えば普通科英語系における英語理解、外国事情等の科目の設置、英語学習におけるAET制度の活用、更には毎年夏休み中に行う、一年生の希望者を対象とした一か月間に渡るアメリカでの生活体験等を実施して参りました。

しかし、こうした試みが学校教育の一分野における国際理解教育としての教育的波及効果を生みだすに至っているかと言えば、残念ながら未だ不十分と言わざるを得ません。私たちは、国際理解、

国際理解教育という事の推進と定着の必要性を痛切に感じる中で、その具体的試行錯誤を繰り返してはいるものの、結局は出発点においての身構え程にはあがらぬ実効の前に、言葉にならぬもどかしさを感じているのが現実です。こうした、いわば、出口の見えない消極的な構えの中では、この教育を進める原点においてすでに、日本中、われわれのみが当面している問題といったような狭い姿勢があるのではないかと自問している今日、この頃です。

この教育への取り組みで先進性をもつ諸校に学んで、本校の教育活動の一環としてより効果的なものをと模索を続けることはもちろん必要でしょうが、それと同時に、まず私たち教師が、わが国のおかれている国際的状況の認識、諸外国のわが国に対する期待や批判、その中でその責任の所在等についての学習の場やひろがりの輪を早急にもつ必要があると思っております。方法としては必要でありましょうが、英語が話せればよい、諸外国に行けばよいという形だけではすまされないと自戒しながら取り組みを進めるべき、いわば問い直されるべき時に至っていると言えるのではないかと考えている次第です。



国際理解の促進を目指して

元岡山県地域振興部国際交流課長
労働省職業能力開発局企画室

小山 浩 一

近年、何事につけ、国際化ということが話題になり、「国際化」という言葉に出合わないで一日を終えることがむしろ珍しい位です。新聞、雑誌に国際化という活字が踊らない日はなく、リクルート用の企業案内に目を通せば、その活動が如何に国際的に展開されているかが強調されています。こうした流れは、地方自治体にも及び、現在では、殆んどの都道府県に、「国際」の名を冠した課や室が設置されています。それだけ、国際化の動向が大きくて、我々地域住民や地域社会にとっても無縁なものではなくなっているということでしょう。

私は、このような現象は、一過性の流行に終わるものではなく、基調として持続するものだと思いますし、私たち一人一人の生活が国際社会と直接関係を持つ傾向は、益々強まると思います。

例えば、海外旅行についてみますと、一年間に岡山県から海外へ渡行した人は、延五四、〇〇〇人ですが、これは、約二〇〇万人の県民の約三割になります。単純平均では、人生八〇年の期間で考えますと、県民それぞれが、生涯に約二回の海外旅行を経験するという計算になります。

このように、国際化社会の現実は、誰にとっても当たり前前の日常的な出来事になっている訳です

が、果たして、私たちの考え方がそれに対応したものになっているかどうか、これからの課題でしょう。よく、モノ、カネの国際化の次はヒトの国際化の時代だと言われますが、私は、モノ、カネの国際化の次には、ココロの国際化を進める必要があると思っております。

心の国際化を進めるには、私たち一人一人が諸外国の人達と対等の立場に立って、相互理解と交流を深めることができるよう、国際理解を深めなければなりません。

そういう意味において、帰国教師の皆様は、現地で、異文化理解の何たるかを身をもって体験されている方々であり、その貴重な体験の成果を、本県の将来を担う若い世代に十分に授けていただくことは大変意義深いものだと思います。

県におきましても、本年三月には、勸岡山県国際交流協会を、県、市町村、民間国際交流団体、経済界等の協力と参加を得て設立したところであり、今後、この協会及び平成五年に完成予定の国際交流センターにおいて、県民の国際理解促進のための事業を積極的に実施していきたいと考えております。皆様方の御理解と御協力を切にお願いする次第です。

最後になりましたが、この冊子が一人でも多くの人々に読まれ、県民の国際理解の促進に貢献するとともに、国際理解教育研究会の活動が大きな成果を挙げられることを期待します。

世界の日本人学校から

1. タイと日本との間-----有吉 捷郎
2. 魅惑の国インド・ボンベイより-----大塚千代和
3. コスタ・リカ-----山田 羊平
4. 緑豊かなサンパウロ日本人学校-----小川 大右
5. 日系大統領誕生のペルー-----市原 誠二
6. アルゼンチン便り-----村瀬 憲正
7. デュッセルドルフ日本人学校-----岡村 富廣
8. 開校十周年 マドリッド日本人学校-----伊月 義治
9. ナイロビ日本人学校から-----本山 博

タイと日本との間

元バンコク日本人学校

元和気郡北部立藤野小学校 有吉捷郎

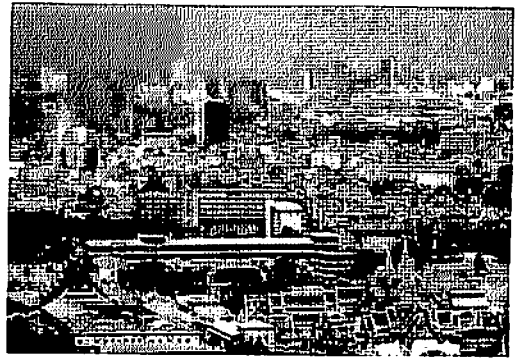
燃えるような、真紅の、火焰樹の花に、南国の情熱を感じる。

すき透る程に美しい、黄金色の房花をつける、ゴールデン・シワー（タイの国花）に、この国の限りない豊かさと、心のおおらかさを思い知る。

時折り見かける、街角のタイ桜の花の色に祖国の春を思い出ぶ。

タイは、年間平均気温が三〇度程であり、日本のような、四季の区別はない。しかし、自然の織りなす不思議は、それぞれに美しさを競う草花で、私たちに季節をもたらせてくれる。

バンコク日本人学校は、今も生徒増で、対策に追われている。平成元年度から幼稚部を閉鎖し、五クラス増の対応をしたが、さらに平成二年度、四クラス増となり、来年度は七クラス増の見通しで計画を進めている。このため本年度、教室の確保ということで、政府援助をお願いして、現



国際都市 バンコク市

在増築工事中であり、来春三月末には完成し、平成三年度に備えているところである。

急激な生徒増の現象は、とりもなおさず、日系企業的大量進出に、その原因がある。第二次大戦後、タイ国に進出した、わが国の企業は、現

在までに、七〇〇社前後と聞いているが、その内の約三〇〇社程が、この二年間に登録許可された会社だという。過去四〇年間のあいだに進出して来た企業数と同数程度の会社だが、この二年間で進出したという話になる。それでも未だ申請・許可待ちの企業が四〇〇社以上もあると聞く。日本のみならず、この国には韓国・台湾・香港からの企業進出も盛んに行われている。自力ではなく外資に依存した、特殊な形での、近代化、工業化が行われている。このために一〇多近い経済成長率もその基盤は、以外に不安定で

あり、インフレ・所得格差・社会的犯罪の増加など、政治のかかえる問題は多い。

先日、文部次官のお宅に招かれ、家内ともども参加させてもらった。昨年まで私学局長をなされ、夫人が日本人学校のタイ語講習（ステータスとして本校教員に課せられた義務）の先生であったということもあり、家族的に、お付き合いをさせて頂いていた。毎年年末に行われるこのパーティーは、私のひとつの楽しみでもあった。

今年の会場には、丁度ユネスコの招待で来泰され、前日、日本人学校を訪問頂戴した、滝沢国立教育研究所長・渡辺国際協力室長さんのお二人も参加されていた。次官の自からのコックによる「焼きソバ」も、ご夫人手作りのタイ料理、日本の「オデン」なども、美味しく、盛大な会であった。タイ文部省関係の方・学校関係の方など、多くの方との出会いがあり、国際的で、とても有意義な会であった。

会なかばでは、商工会議所理事の川瀬さんもご夫婦でみえられた。少し異質な顔ぶれなので、お話をうかがうと、前日まで次官と同席なされ、タイ東北部の視察に行かれていたとか、その内容に少し興味があるので、ふれてみたいと思う。

日本人商工会議所では、貧しい、東北部の子供たちに奨



と長学大技業工学
と共本は長局私省
職員校本はバメン
の文部省の
背後のタイ

年間所得が、日本円で三万円から四万円程度、月三千元、一日三百円という。日本の過去「にこよん」という言葉のあったことを思い出す。

ある地方の教育委員会の校長会で、長欠問題が協議された時、その理由の中に「乞食に出るから」ということがあったそうである。よく話を聞いてみると、われわれが考えている「乞食」とは認識がずい分と違うようである。タイ国民の九〇％以上は敬虔な仏教徒である。早朝路地を歩く

学金を毎年送っているが、今年は一五〇〇人から三〇〇〇人に増やして贈呈するということ、出かけられたという経緯があったらしい。タイ東北部の貧困は、政治的にも、大きな問題だと聞いている。川瀬氏の話だと

僧侶に、素足でひざまずき、供物を捧げる人に出会う。これが「乞食」であるという。乞食のために長期欠席するというのは、その村の殺物が不作で、食べ物に、こと欠く時、村中総出で車を引き、他の村へ、殺物を乞いに出かける。



東北タイ研修視察
現地での歓迎を受けてタイダンスを共に

る。一週間程で車いっばいになると、村へ帰る。子どもたちは親たちと共に出かけるのである。飢饉に瀕した人々は「乞食」により、生き延びることが出来るが、又、自分たちの村へ、「乞食」を求めてきた人々には、わ

ずかな物でも供物をする。仏教の思想では、供物や寄進をすることにより、自らの徳を積むという考えである。そのことが善であり、福が約束されることであり、来世がひらかれることになるという

思想である。

少し話が脱線したようであるが、川瀬氏の話と、次官殿のパーティーの接点の中から、この国の苦しみを知り、人々の素朴さ、心の大らかさを学び、同じ農耕民族として、アジアの兄弟として語り合うことの大切さを知った。

会場では、食べる程に、飲む程に、歌が出、踊が出、言葉の垣根もなんのその、楽しく盛り上った。私たちも、参加した日本人全員で「さくら、さくら」の合唱を披露をした。

来年三月で、帰国だと話すと、「ぜひ、もう一度この国へ来い」、「また来る時は、うちの家に泊れ」と、声が返って来る。大任を負って、この国へ赴任して来た私にとって、充分な役をはたしたとは思わないが、温かい多くのこの国の人々との出会いを、自分自身の宝として、持ち帰ることが出来るのは、とても嬉しいことである。

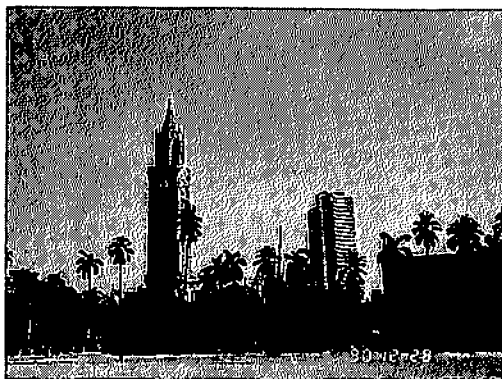
「もし日本へ来ることがあれば、ぜひ岡山の地へ」ということも忘れずに、付け加えた。

魅惑の国インド

ボンベイより

ボンベイ日本人学校

岡山市立庄内小学校 大塚千代和

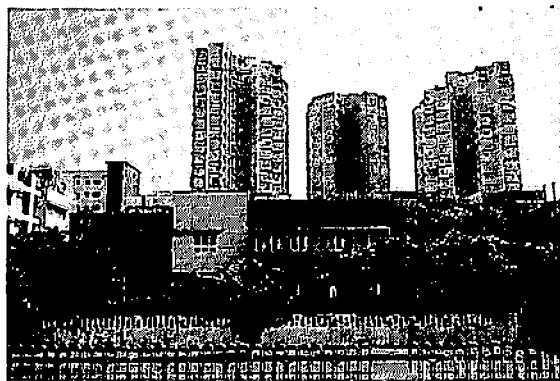


ボンベイ市はインド西海岸にあり、西にアラビア海をひかえた人口約九百万のインド第一の商業都市です。市内は高層ビルが建ち並び、活発な経済活動が営まれています。ボンベイは、国際都市といわれるだけあって、インド全土からあらゆる人種が入り乱れ

ています。そのため、言語もヒンディー語・マラティー語・グジャラティー語など各地の言語が使用されていますが、

英語も一般的に使用されています。

気候は、一年を通じて高温多湿で、特に三月末から六月のモンスーン到来までが最も暑い時期です。六月から九月半ばまでのモンスーン期は、毎日のように雨が降り大変湿度が高いです。この期間は、ゴミ集積所が密閉されていないために、ハエ・蚊などが多く発生したり、湿気のために衣類などにカビが生えたりして大変不快です。またこのモ



ンスーン期の雨量の多少がインドの農産物、電力供給および工業生産に大きな影響を与えています。

ボンベイ

日本人学校

ボンベイ日本人学校は、昭和四十一年五月に設立され、昭和五十一年には中学位が付設されました。来年は二十五周年を迎えます。児童生徒は四十三名で、文部

省派遣教員は九人です。この他に、英会話やヒンディー語を教えるための現地人の教員が四人います。学校は、民家を借りているためにとても狭く、教室も日本の学校の四分の一程度しかありません。しかし、全ての教室にクーラーがあり、一応快適な環境の中で勉強をしています。先徒も先生もボンベイの交通事情のために、全員スクールバスによる登下校をしています。



雨が降る六月から九月のモンスーンの間は、せまい講堂での卓球が中心になります。ラケットをにぎったことのない子ども、モンスーンの間には、かなり上手になります。体育の授業ですることもあるのですが、中学生までが一緒に遊んで遊んでいる内に、上手なフォームやルールを身に付けるからだ

と思います。九月には、日本人会主催の卓球大会が毎年盛大に行われています。

子供達の悩みは運動場が大変狭いことです。(バスケットコートが一面なんとかとれる広さ)これでは、体育活動にも無理があります。そこで、週一回全校体育の時間を設け、五・十月の酷暑期には、プリーチキキャンディプールで水泳指導を、その他の時期では、近くのグラウンドを借りてソフトボールやサッカーなどをするなどなんとか運動不足を補っています。

児童会などは全て中学生が運営しています。本年度は、七夕集会・ゲーム集会・音楽集会・ウォークラリー・クリスマス集会・水かけ集会など大変活発な活動がみられました。

交流学習

ボンベイ日本人学校では、地理的な特色を生かして交流学習の充実を目指しています。交流学習というのは、現地校と日本人学校の生徒達が、行事を通じて交流することによって、国際理解を深めようというものです。ボンベイには、アメリカ・ドイツ・フランス・ロシアの外国人学校があり、お互いに連絡会などを通して緊密な交流を行っています。学芸会には、アメリカ人学校とフランス人学校の生徒達を招待し、近くのネルーセンター(日本の市民会館の



ニューに加えたふかし芋はドイツ人学校の先生に大好評で、材料や作り方の質問を受け、まさに食の文化交流という感じでした。グルモア祭りに参加した生徒の感想です。

私にとっては、初めてのグルモア祭りでした。昨年までの話を聞いて楽しそうだなあと思いました。当日、ドイツ人・フランス人がどやどやと校舎に入ってきて「デ・デカイ」と逃げ腰になってしまいました。文化交流でつるの折り方を教えました、みんな出

規模)を借り切って劇や合奏を披露しました。中学部は、「シンデレラ」の英語劇を披露し好評でした。グルモア祭り(学園祭)には、ドイツ

人学校とフランス人学校を招待し、日本の文化を紹介したり、一緒に食事をしたりして楽しい一時を過ごしました。今年メ

来ないんで、困ってしまいました。やっぱり難しかったみたいです。その他にスポーツ交流や食事の時、ちょっとした事で、少しでも言葉をかわせて良かったと思います。せっかく海外に来ているんだから、このようにしゃべれる機会がもっと出来たらいいなと思いました。これからもグルモア祭は、外国人との交流を深めるいい場であってほしいです。

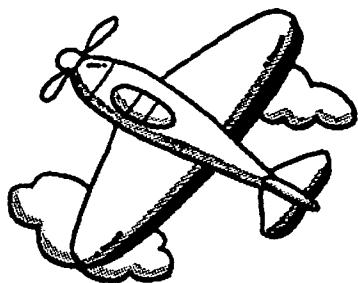
ネルー生誕日には印日協会の主催で子供パーティが行われ、ゲームをしたり、演奏交換をしたりして地元の子供達と日本人学校の生徒が楽しく遊びました。

その他、サッカー交流やスポーツデイなどを通じて交流を行っています。国民性でしょうか。どうしても自分達だけで固まってしまうようです。せっかくの機会を持っているのですから、子供達から融けこんでいけるよう願っています。

おわりに

十三時間もの長旅を終えてボンベイ空港へ降りたった瞬間のむっとする熱気とカレーの臭いに包まれてから、早十ヶ月が過ぎました。インドは、魅惑の国、また神秘の国といわれているだけあって底知れぬ深さを持った国だと思

ます。次回は、インドの祭りや史跡などについて紹介でき
たらと思っています。



コスタ・リカ

元サン・ホセ日本人学校

元岡山市立興除小学校 山田 羊平

(コスタ・リカのいわれ)

コスタ・リカとはスペイン語で「豊かな海岸」という意味です。どうして、そんな呼び方をするようになったか、それは、コロンブスが第四次航海（一五〇二年）のとき、初めてコスタ・リカのカリブ海側の海岸に着き、探検を命じられた弟がうっそうとした木々の中に消えて行くのを見たコロンブスが、木々の豊かさに感動したことから名づけられたと、言われています。

(豊かな自然)

このようにコスタ・リカは緑が多く気候的にも恵まれ動植物の種類がおおく、自然の宝庫と言われています。

現在、この国は自然保護のため、一四の国立公園と一六の自然保護地区を設けています。

国立公園といっても、日本のような施設設備は充実していません。簡単な案内所があるくらいですが、今年五月就任したカルデロン大統領は観光に力を入れようと観光大臣

の職を新設しました。

また、日本のTV局がコスタ・リカの自然を三月、日本で

放映しました。

この国は農業

国ですから、住

民は農園や牧場

をつくるため自

然林を切ってい

ます。そのよう

な自然破壊から

守ろうと、世界

の子供たちが熱

帯雨林を救おう

と自然林の買い

取り運動をして



世界の子供たちが保護しようとしている
モンテベルデの熱帯雨林

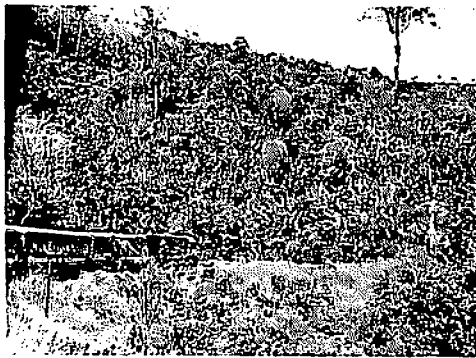
います。日本でも長野県の子供たちが廃品回収をして、森林を買う運動をしていることが、アメリカの雑誌「タイム」に紹介されました。

(コスタ・リカの農業)

* コーヒー

この国の農産品の第一はコーヒーです。

一八〇〇年頃から栽培され、年々栽培面積が増え輸出



コーヒー畑を走る
ジャングルトレイン

は、「ジャングルトレイン」の名前で一日一回観光客を乗せて走っていますが、二、三年後には廃止されるとのことです。日本人学校の周囲にもコーヒー園があります。五月に枝いっぱい小さな白い花

し、国が豊かになっていきました。輸出するコーヒーの税金で一八九七年に国立劇場を建設した程です。それまでは、入植した移民は大変貧しい生活をしていました。コーヒーは年間気温一八℃〜二四℃、昼夜の気温差が大きい程よいコーヒーが採れます。

サン・ホセ市のある海拔一二〇〇m前後の中央高原が最適地で、コーヒー園がたくさんできました。

一八八四年頃、中央高原で収穫したコーヒーをカリブ海の港リモンまで輸送するため、鉄道が建設され、現在で



バナナを運搬用のワイヤーにつける

が咲き、一二月には熟して赤黒い実になります。熟した実を噛むと蜜のような甘い味がします。

学校では、児童生徒に一人一本コーヒーの木を栽培させています。苗を植えて三年目で収穫でき、今では一人二〇〇gの製品を配っています。

*バナナ

バナナは輸出額第二番目で、一九〇〇年頃からアメリカのユナイテッド・フルーツ社が大きなプランテーションを作って生産しています。

バナナは年間平均気温二〇℃以上、雨量二〇〇〇mmで雨が年中降る、よく肥えた水はけのよい土地が生産条件で、

海拔六〇〇m以下のカリブ海側で作られています。

(おわりに)

コスタ・リカは標高差を上手に利用した農業生産により、かつては、豊かな国でしたが石油ショック以降農産品価格の低迷とともに、国民生産額は下落しています。



道化師達の演技をたのしんで
見ている市民

でも、輸入車
二台分(三万ド
ル)で三寝室水
洗便所の家が購
入できます。こ
れは、中流階級
の人達の手に届
く金額です。土
・日曜日は何ん
びり過ごしてい
るのを見ている
と、精神的な豊
かさを感じます。

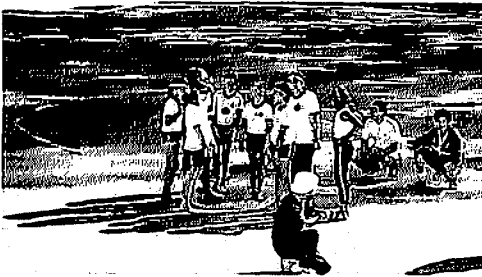
また、民主政治を誇りにし、国旗、国歌を大切にす
るプ
ライドの高い国民です。

緑豊かなサンパウロ日本人学校

サンパウロ日本人学校

神郷町立油野小学校 小川 大右

カンポリンポ（美しき野原）区は市の南西にあり、中心部から約三〇キロメートル、車で三十分程の所にある。学校の創立は一九六七（S四二）年、この地に移転したのが



ブラジルの子等と一緒にの運動会

一九七四年で、その当時はその名の通り美しい自然の豊かな所であったと当時を知る女中さん達は懐かしがる。今は低所得層のカーザ（家）やアパートに囲まれ、学校が唯一カンポリンポの姿を留めている。一一八〇〇mの敷地には小学部九棟（一八室）と音楽室、中学部一棟（八室）、特別教室三棟、図書・視聴覚室棟、管理棟、体育館（二）、プール（二）があり、その他カーザ、守衛室、宿舍等が広い校地の自然に散在している。

校地の約五分の一は原生林で占められ、体長五〇センチもあるトカゲや小鳥が棲息し、子供達の探険の恰好の場所となっている。またコーヒー園には約三〇〇本のコーヒーの木を栽培、子供達の実習に使っている。グラランドは二つあり、大グラランドは直線二〇〇



大トカゲの棲む原生林
手前はハナキリン

メートルが優に取れ、全天候型テニスコートも備えてある。二つある池では子供達が魚釣りをしたりオタマジャクシと遊んでいる。学校のセントロにはうさぎ小屋があり、数十匹のうさぎが遊んでいる。やぎ、にわとり、はと、ねこは放し飼いされ、子供らの遊び友達になっている。年中美しい花の咲いている自然豊かな学校は、市の中心部の高層アパートに住む子供達にとって心の休まる、のびのびとした唯一の生活の場となっており、学校へ来るのを嫌がる子はほとんどいない。



市中心部より17台の通学用バスがポイント（所要時間40分～1時間）で子供達を運ぶ

児童数三二一名、生徒数一五六名に教員三五名、事務員・労務員・守衛・女中等二五名、計六〇名の大所帯である。朝八時前十七台の大型バスで通学して来る子供達の賑やかな声がバスポイントに響く。一日七校時、土日曜日は休み、年間二〇七日（中三は

一六一日）の授業日数で教育課程を編成している。

ブラジル社会の特殊性から日系社会との交流が目につく。修学旅行、学習発表会、体育会、全伯合唱祭、全伯陸上競技会等、三世四世の学ぶ日語学校との交流が盛んである。隣の現地校とはそれぞれの行事の他、ポルトゲースの



緑の中の中学部棟

時間の合同学習も試みており、見通しは明るい。ブラジルの社会事情が交流を阻む大きな要因となっており、非常に難しい。日本の学校教育を理解しようとする熱意は強く、現地校の教師がよく授業参観に訪れる。

ここに十月に訪れた COLEGIE LAVINE の先生の手紙を紹介するので参考にしてください。

「私にとってこの訪問はとても参考になった。」

なぜなら私が知ったのは学校のしくみ等ではなくもっと深いものだったからです。

子供達の様子を見て挨拶の仕方が我国と違うのですがそれは文化の違いであり、相手を尊敬するということでした。靴を脱ぐ事は私達には面白いのですが、これは自分達の学ぶ所を大切にする為でしょう。先生が教室に入ると生徒達はすぐにしてる事をやめてきちんと座ります。もう一つ感心した事は生徒が自分の思った事を意見を出してきちんと言う事です。四年の先生が自分の戸棚を見て点数をつけさせました。感心したのは誰も一番いい点数を自分につけていない事です。ブラジルの学校では自分に一番いい点数をつけたでしょう。私はブラジルの生徒が悪いと言っているわけではありません。いい点をとらねばならないようにさせられているからです。日本学校には落第がありません。ですから生徒達は覚えたいから勉強するので点数をとる為ではないのです。さらにいいと思ったのは生徒が音楽、体育、道徳等全部をまじめに学ぶ事です。ブラジルでは体育等まじめにやっています。我々の学校もこうありたいと思います。我々は遅れている。日本のように発展している国の事を少しでも学び、日本の人達のようにもっと賢く礼儀正しく、勉強も進んでする事を学びたいと思います。

この学校がサンパウロの中央から離れておりとてもいいと思えました。緑が多くあり教室も大きく開いて勉強するにはとてもいいし健康にもとてもいいと思います。

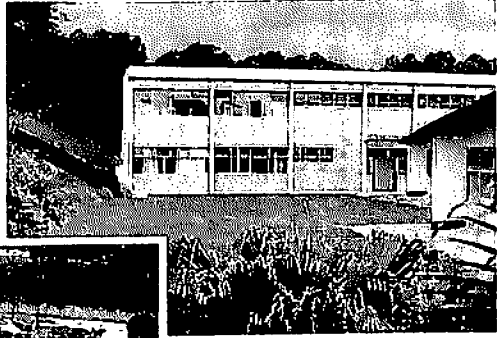


図書館 蔵書1万冊以上

以上。」

焼けつく陽光、
溢れる緑、爽やかな風、カンポリンポの空はあくまで青く美しい。

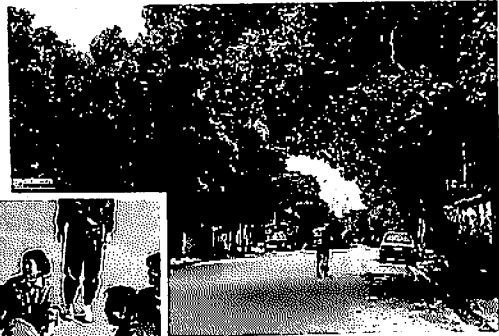
ブラジルの社会が昔の落ちつきを取り戻した時、サンパウロ日本人学校は理想的な学校となることを確信している。



特別教室棟（理科，技術）
つどいの広場のグリーン
が美しい。



音楽室前の芝生で練習する子ら



通学路 市内の通りは
緑に覆われている。



サッカー世界選手権を模したコッパ・ド大王
（ブラジルらしさを生かした運動会の競技
大変な人気でした）

日系大統領誕生のペルー

リマ日本人学校

岡山市立東山中学校 市原 誠 二

ー今、リマ市では・・・

今、リマ市にはストリート・チュルドレンと呼ばれる子供達がいる。街に縦横に広がっている道路で物貰いをして



物もらいにくる子どもたち

いる子供達のことである。

数年間続いた激しいインフレのためにペルーでは貧富の差が一段と際立ってきた。貧しさのため子供を捨ててしまった親や、子供に物貰いさせて生活している親が急増し

ているからである。埃で汚れた髪・何日も洗濯をしたことのないよれよれの服を纏って、「何でもよいから恵んでください」と、力ない眼で車に寄ってくる子供に出交わすと、通り場のない気持ちになる。

一九九〇年一〇月三〇日の朝日新聞の記事では、最近のペルーの状況を次のように紹介した。

「ペルーのアルベルト・フジモリ氏が日系人初の大統領に就任してから、ちょうど三カ月、八月に出した「ショッ



リマの中心 リマセントロの官庁街

ク」政策で同月のインフレ率が三九七%とかつてない高さを記録したが、九月・十月とも物価上昇はそれぞれ一〇%前後でひとまず落ち着いた。このため国民は耐乏生活を強いられながらも、最近の世論調査では六割近くが同政権を支

持している。とはいえ、不況色が濃くなって失業問題が深刻になっており、ガルシア前政権を苦しめた左翼ゲリラも再び活動を強めるなど、樂觀できない情勢が続いている。」と。

市内には高速道路が走り、下水道が完備し高層ビルが林立する近代的都市であるにもかかわらず、行き交う車は一〇年二〇年前のものが多く、経済活動がどん底状態であることも表わしている。

対政府のテロ活動が前政権時代から今だに続いており、治安状態は決してよいとは言えない。概して知識階級の間ではフジモリ政権の評価は高いようである。泥棒、置き引き、引ったくりの類は生活の貧しさから、いっそうに減る様子はない。こうした苦しい経済状態にもかかわらず、食料や日用品などの生活物資は豊



リマ市内の市場

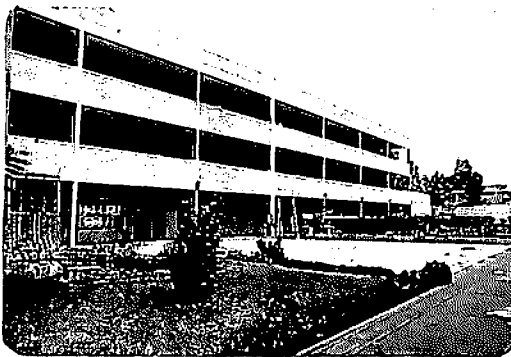
富で、ある程度以上の収入がある階級は結構豊かな生活をしている。今後の問題は下層階級の国民に収入を増やすための仕事をいかにしていくかにかかっている。

日本が第二次世界大戦で苦い経験をした頃ジープに乗った米兵にチューインガムやチョコレットをせがんで物乞いをした。その頃、日本を離れてペルーにやってきた人達がいる。そして、貧困に喘ぐペルーから日系二世・三世が再び日本へ仕事を求めて出稼ぎに行き始めている。風貌が日本人とよく似ているため変な日本人としてみつめられながら習慣の違いに戸惑いを感じつつ日本で生活しているペルーの人がいる。

ーリマ

日本人学校ー

こうした状況下にあるリマ日本人学校も特に治安面では、警備員を二十四時間体制でおくとか、屋上に警備員を配置するとか、バスの運行



リマ日本人学校の中庭から

道程を毎日変えていくなどと、気を配っている。目立った行動は峻に慎むべきであり、日本人学校の名前も前面に出せず、文化協会の日本語教室の名で置かれている。



修学旅行でアマゾンのジャングルへ

残念なことである。

激しいインフレのため現地採用職員の給与の問題は常に運営委員会での議案となった。

日系二世・三世の児童・生徒も在籍している関係から、父の赴任に随伴して短期間だけ日本人学校に籍を置く者とのあいだには、日本語の修得の上では差がある。従って、

宿泊で実施され

ていた林間学校も日帰りとし、下見に何度も足を運んだ上で実施するなどの気を遣う。従って、国際理解教育の一つの場としての現地校との交流にはいくつかの問題があり、日系校との交流に留まってしまう。大変



日本人学校でのスペイン語研究会

個別指導が必要であるなどの問題もみられる。小中併置校の関係、また、国際理解教育、国際協力教育等の目的をもった行事が多く、授業への圧迫も否定できない。現状では事前の準備の工夫、授業方法の工夫等で乗り切っている。

― 帰国子女の問題 ―

帰国子女の問題であるが、総じて、大きな問題もなく、帰国後も適応できている。しかし、前述の通り日本語に弱い生徒が帰国した場合、日本の学校の授業がわからないとか友人関係で浴けこめにくい等の問題が考えられる。外国籍の子供や日本語に弱い子供達のための受け入れ体制が、日本にはまだ少ないのではないだろうか。

低学年から中学生までが「みんな兄弟」のように過ごし

ていた気持ちが悪しく、のんびりしていた生徒が日本の受験体制にどう入っていくのかと考えると不安になる。しかし、自分達の目で見、耳で聞いた異文化体験は近い将来に必ず役立つものと確信している。

帰国子女の問題は、帰国していく児童・生徒の問題であると同時に、日本において帰国者を迎える児童・生徒・教師の問題でもある。



アルゼンチン便り

ブエノスアイレス日本人学校

岡山市立上道中学校 村瀬 憲正

県人会

ブエノスアイレス市には「らぶらた報知」と「亜国日報」の二邦字紙が発行されている。アルゼンチン政局の動きや経済に関する記事のほか、日系社会のできごとや日本国内の大ニュースも載っている。NHK海外放送や郵送による新聞の引用もある。

また、この新聞には、日本食レストランの広報などと並んで「〇〇県人会総会」といった案内もよく出ている。会葬御礼も時々目につくが、この場合の宛名に「〇〇県人会様」が加わっていることが多い。時には「△△村人会様」となっている。これは必ず沖繩県の場合である。在亜邦人三万五千のうち、半数以上が沖繩出身者だと言われている。

日本人学校の校医さんが「新里先生」、歯科医が「安谷屋先生」。出身県は言わなくてもおわかりでしょう。「〇〇町人会」「××市人会」もあるのかもしれないが、まだ

聞いていない。

それにしても、「県人」「村人」は妙な言葉だ。「市人」や「町人」になると、もっと耳になじまない。県内に住んでおれば「県民」県外に出れば「県人」。岡山市から出ているので、小生も今は「シジン」であろう。

さて、平成二年八月、長野知事御一行が、ここアルゼンチンを訪問された。

わが岡山県人会も、久世町出身の実業家、三村会長を先頭にして歓迎会を催した。また在亜日本国特命全権大使、藤本芳男閣下は岡山県出身で、六高の先輩来訪とあって、公邸でも晩餐会がもたれた。その節、小生も招待を受け御馳走になり、知事からは、下津井の干ダコ、鴨方のウドン、岡山銘酒や手拭、その上、お言葉まで頂戴した。

どうです、県民と県人との差は歴然としているでしょう。日本が真裏にあたるラテンアメリカのバリ、ブエノスアイレスの県人になりにおいでになりませんか。

授業交流

どこの日本人学校でも、現地校との交流は盛んであろう。小校ブエノスアイレス日本人学校でも、創立以来二十一年の記録を累々と積み上げている。

「トーキョー通り」にある小学校と交歓会をもった時代があれば、アルメニア人学校と球技会をしたこともある。

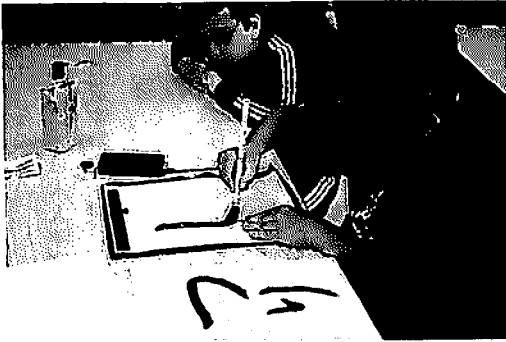
しかし、もうアイディアは出尽くした感があって、三年目の先生の多い今年は、もっと深みのある交流をしようという事になった。奇案珍案は避けて、長年鍛えた一斉指導型の授業を試みることに決まった。

双方の生徒が厳しさを通しての学友となってくれることを願い、相手校の先生には、一斉指導を布教しようという大それた計画であった。

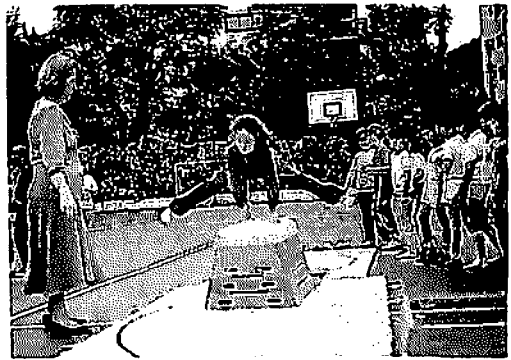
ご近所の現地校を招待して、理科・習字・体育・生活の四授業をすることになった。

六年生の理科は、中でも大変だった。まず相手校の教科書を借りて来てて接点を探る。季節に合わせ教材を選ぶ。教案を練る。スペイン語訳の教案を届ける。協議する。……

アルゼンチンの国花「セイボ」の花を材料に、オシベ・



交流授業「習字」 只今示範中



交流授業「体育」 日本人負けそう

メシベなどを、二カ国語を駆使して(？)教えたのだが、教師にはずいぶん勉強になったようだった。子供たちがノックされたのは、孝行息子や娘の素質十分とさえようか。

この国際学校アメリカンスクールには日本語クラスが設けられている。相互に訪問する中学部の「一日入学」は、数年来のものであるが、今年度は、ここでも授業参加を工夫した。

訪問時には、ペアー生徒を決め、その生徒が受講する授業に出席する。「英語」の授業に遭遇した子は、程度が高くてチンプンカンプンだったそうだし、「体育」に出た子は、しゃべらずにすんで楽しかったという。

招待時には、地理・国語の二授業を実施した。地球儀と地図と図表を使っての具体的場面では盛り上がった授業が

できていたが、まとめで「宇宙船地球号の乗組員」として
考える段になって、言葉の壁はやはり大きいようだった。

国語では、漢字の成り立ちを英語で説明したのだが、台
湾系もかなりいたので、少し程度が低かったのではないか
という、日本人生徒からの心配もあった。

三年目の先生の反省は、こぞって「来年はもっとうまく
やりま」だった。

とにかく、肝に銘じた思い出にはなったようだった。

デュツセルドルフ日本人学校

デュツセルドルフ日本人学校

邑久郡長船町立国府小学校 岡村 富廣

本校は、今年で創立二十周年を迎えました。そこで今年度は、多くの記念行事が行われました。

。創立二十周年記念式典（8/25）

。学校祭（8/25～8/26）

。交流音楽会：ルクセンブルク モンターカンジュマ

リー・アストリッド王妃合唱団を招き、

本校キンダーコア（合唱部）との交流音

楽会（11/3）

。記念コンサート：日本・ヨーロッパで活躍されている

音楽家の演奏を鑑賞（11/23）

いずれも現地日本人社会はもとより、デュツセルドルフのマスコミにも取り上げられ、高い評価を得ました。今回は、紙面の都合上学校祭について報告いたします。

SCHLEST.90（学校祭）

今年の学校祭は、

『ラインとともに二十年、輝けノはばたけノ世界の空へ』



4年生のテントステージの発表
“星の世界”

をスローガンとして行われました。

内容は、大きく二つに分かれ、体育館・ステージ発表と展示・催し物です。

体育館やステージでは、各学年の歌・演奏・ダンス・劇・ミニコンサートな

どが行われました。

展示・催し物会場では、小一から中三まで工夫をこらした各学年の作品展示を初め、中二の「日本の食文化紹介」生徒会の「お城と着物の歴史」、家庭科クラブの「日本の手工芸」、父母会の「茶道、書道、着付の実演と展示」等日本文化のかおり高いものまで発表されました。

筆とドイツ人

展示・催し物の一環として、書道部も参加しました。書道部員（五年生、四名。六年生、四名）と話し合った結果、

今年は、「ドイツの人たちに書道にふれ、親しんでもらおう」を合い言葉に取り組みました。

会場の中に、道具を置いた机を四組並べます。窓に、約二十数種類の手本をはり、その中から書く字を選んでもらいました。手本には、一字から二字の画数の少ない文字を



筆を初めて持ったドイツ婦人

を持ち、机につくと、書道部員が、筆の持ち方、文鎮の置き方、書き順等を片言のドイツ語で伝えます。

全く書き順を無視したり、書き始める前に墨をつけすぎで、紙を汚してしまったり、日本人に教えることに慣れて

書写の教科書から選びました。その

他、動物・季節・色等を書きました。

もちろん、手本のコピーには独語訳をつけましたが、

動物や父、母、家庭、平和と言った

字を好んで選んで書いていました。

書きたい字を選んで手本のコピー

を持ち、机につくと、書道部員が、筆の持ち方、文鎮の置き方、書き順等を片言のドイツ語で伝えます。

全く書き順を無視したり、書き始める前に墨をつけすぎで、紙を汚してしまったり、日本人に教えることに慣れて

しまっている私には、びっくりすることばかりでした。

書いている様子を写真にとっている私に向って、

「これは、あなたが書いたのか？ 何年すればこんなに書けるのか？」

「どうしてこういう書き順なんだ。どんな方則性があるのか教えてほしい。」

「この道具がほしい。どこに行ったら買えるのですか」と、感想はさまざまでした。ドイツ人は、自己主張が強く、相手の言い終わらないうちに大きな声で長々としゃべり続けるをよく言われますが、書道部員の説明をよく聞き、とても素直にこちらの言うことに従って書いていたことが印象に残りました。

用意した二百枚の手本のコピーは、二日間で半分以上なくなりました。百人近いドイツの人達に書道にふれてもらったことは、子供達を初め、私にとっても今迄ではできなかった経験ができ、充実した気持ちで一杯でした。

学校祭のまとめ

今年の参加人数はのべで、日本人、ドイツ人共各三千人の計六千人でした。フィナーレで、見知らぬ日本人とドイツ人が肩をとりあい、ジャンカを踊ったり、風船を飛ばしたりしました。この光景を見ると、「現地社会に理解される学校祭をめざし、国際親善の役割をはたす」という目標

学校祭のまとめ

今年の参加人数はのべで、日本人、ドイツ人共各三千人の計六千人でした。フィナーレで、見知らぬ日本人とドイツ人が肩をとりあい、ジャンカを踊ったり、風船を飛ばしたりしました。この光景を見ると、「現地社会に理解される学校祭をめざし、国際親善の役割をはたす」という目標

学校祭のまとめ

今年の参加人数はのべで、日本人、ドイツ人共各三千人の計六千人でした。フィナーレで、見知らぬ日本人とドイツ人が肩をとりあい、ジャンカを踊ったり、風船を飛ばしたりしました。この光景を見ると、「現地社会に理解される学校祭をめざし、国際親善の役割をはたす」という目標



フィナーレ

を達成できたと思われず。
「ドイツで生活する日本人」
「ドイツ統一」
については、次回報告させていただきます。

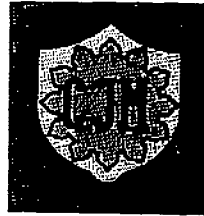
開校十周年

マドリッド日本人学校

マドリッド日本人学校

岡山市立西大寺小学校 伊月義治

マドリッド日本人学校のあゆみ



れていました。

ところが、近年になり日本政府の外交努力とスペインの政治的安定に伴う積極的外交政策とが相俟って、日西関係特に経済関係の緊密化が急速に進展していきました。そのため、昭和五十年代に入り、本邦進出企業の増加は目覚しく、在留邦人の数も増加の一途を辿り始めました。また、当地在留形態にも変化が現われ、勤務期間の長期化及び、これに伴う家族同伴者の急増が顕著になってきました。

本校は、昭和四十八年に発足し

たマドリッド日本語補習校が母体

章となつて設立に到りました。当初

校は、現地のマリア・ビルヘン校に

おいて、日本語を必要とする約

二十五名の子供たちへ教育が行わ



マドリッド日本人学校

本館 , 新校舎

当然のことながら、邦人子弟教育の問題がクローズアップされ、日本人学校の設立が不可欠急務の状況となりました。そこで、昭和五十六年九月、関係者の熱意を背景にマドリッド日本人学校は開設されました。元「貴族の館」を整備し校舎として改装されたものです。開校当時は、児童生徒数五十一名の少人数でした。

ところがさらに、世界的な大変動期の中にあるヨーロッパは、一九九二年のEC市場統合に向けて各国夫々活発な動

きを見せております。スペインも例外ではなく、バルセロナオリンピック・セビーリャ万国博覧会の開催、コロンブスの新大陸発見五百周年記念祭など、その年に焦点を合せて経済発展の契機にすべく大きく動きはじめています。それに伴い、児童生徒数も百六十名を越え、新校舎の増築を持ってさえも間に合わず、教室の配分等に苦慮しているのが現状です。来年度は体育館の建設が計画されておりますが、校舎の増築も今後の課題となりつつあります。

このような状況の下、本年平成二年をもって創立十周年を目出たく迎えることができましたところ です。

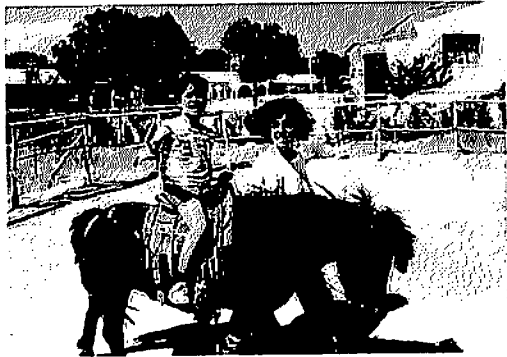
現地理解教育

本校においても、海外にある学校の特性を生かし、国際性豊かな日本人の育成を目指し、様々な国際理解教育の活動が行われています。

(一) 西語の授業

現地採用のスペイン人講師二名及びスペイン在住日本人教諭二名により、各学年週二時間、スペイン語の指導がされています。滞在年数の長い子供やスペイン人の親を持つ子供はすでに不自由なく会話ができるため、能力別に編成されています。現地校との交流においても、言葉が通じれば心の交流はより豊かなものになるものです。

(二) 移動教室



移動教室 乗馬

毎年六月には、宿泊を伴う野外活動を行います。教育施設としての研修の場は種々あり、小学部は乗場・家畜の世話・パン作りなど、中学部はそれに加えてキャンプ・自炊などスペイン人の指導員により進められます。

(三) 社会見学

低学年はマドリッドにあるスペイン最大の動物園に、中学年はハム工場・牛乳工場などに、高学年・中学部は国会議事堂・王立タピス工場・宇宙基地に出かけることが好例となっています。それぞれの見学は社会科学の教材としても扱っていきます。

(四) 鑑賞会

フラメンコ・トゥナなどスペインではいつでも見ること

ができるのですが、子供たちにとってはなかなかそのような機会はないようです。学校に招き、みんなで鑑賞します。



フラメンコ鑑賞



ドーナ公演（ホールにて）

(五) セント・マイケル校との交流



セント・マイケル校
クリスマス交歓会

本校に隣接する現地校で、学期に一度お互いの学校を訪問し合い、ドッジボールや鬼ごっこをして遊びます。教員同士も顔なじみとなり、気軽な交流を子供たちも楽しみにしています。

(六) サンタ・カタリーナ校との交流

本校に体育館がないため、学習発表会は近くの文化会館のホールで行います。その際、現地校と合同でプログラムを組み、お互いの劇や歌・踊りを発表し合います。また、スポーツ交歓会や交流授業なども行います。

ナイロビ日本人学校から

ナイロビ日本人学校

総社市立総社東小学校 本山 博

はじめに

南緯一度十分〜一度四十分、ほぼ赤道直下に位置するケニアの首都ナイロビ。「赤道」と聞くと、一年中暑くてたまらないのではないかと思われがちですが、海拔一六五〇メートルの高原にあるせいか、年間平均気温は十八度〜二十度と日本の春から初夏にかけての気温です。さらに、空気が乾燥しているので、汗びしょりになることはほとんどなく、しのぎやすく快適な気候です。ナイロビという名が、マサイ語で「冷たい水」を意味しているのもうなずけます。しかし、日中と夜間との気温差が大きく、うっかりすると風邪をひいてしまいます。一応南半球ですので、七・八月がもっとも寒く、曇りがちの日がつつまます。長袖の上着やセーターを着ることも多く、夜間にはストーブや暖炉をたくこともあります。そして今、もっとも暑い一・二月を迎えようとしています。日差しは、かなり厳しくなりますが、日陰や室内はとても涼しくさわやかです。

ナイロビ日本人学校

ナイロビ市の南西ランガタ地区にナイロビ日本人学校があります。周囲には大きな農園が広がり、近くにはナイロビナショナルパークもある閑静な場所です。鉄筋二階建の校舎には普通教室をはじめ理科・音楽・図工・家庭科等の特別教室があり、体育館も備わっています。運動場は、約九〇〇平方メートルで広々としています。環境・設備としては、中近東・アフリカ地区の日本人学校の中でも、恵まれていると思います。その中で、小・中学生合わせて約八十名が、元気に学んでいます。

本校では、豊かな心、強健な身体、しなやかな国際感覚を身につけた日本人の育成をめざし次のような児童・生徒像を設定しています。(一)進んで学習に取り組む子供、(二)心身共に健康な子供、(三)思いやりの心を持ち誰とも仲良くできる子供、の三点で、これをめざして日々教育活動に取り組んでいます。少人数の利点を生かし、きめ細かな、個人の能力に合わせた指導に努めています。また、児童・生徒はもちろん、教師自身もケニアについて少しでも理解できるように指導を追求しています。

音楽・体育・社会・理科を中心に教科担任制を採用しており、音楽・体育・技術・家庭では複式または複々式で授業を行っています。また、海外日本人学校としての特



元気な小学部2年生

ています。生活上英語で不自由はないのですが、現地理解の観点から言えば、スワヒリ語に触れる機会も必要なのではないかと考えられます。

主な行事は、六月の運動会、九月のキャンプ学習、十一月の学習発表会です。運動会では、紅白に分かれ競い合います。競技・演技の練習はもちろん、中学生の応援団長を中心に、応援の練習にも熱が入ります。交流学習をしている現地のキリマニ校のお友達を招待して、リレー・綱引き・ダンスなどをいっしょにやりました。小学四年生から中学

性および教育の実効性といった観点から、小学部で週二時間、中学部で週三時間英会話の授業を行なっています。もちろんケニアでは、国語、公用語ともスワヒリ語ということになっていますが、実際には英語が公用語として使われ



ロンゴノット山頂よりナイバシヤ湖をのぞむ

二年生が参加するキャンプ学習は、ナイバシヤ湖の近くで行われます。五つの班に分かれここでも、中学生の班長を中心に、テント設営・炊事・キャンプファイヤーのスタンツなどに取り組みました。ロンゴノット登山・アドベンチャーウォークと盛り沢山のスケジュール、夜には遠くにカバの影を見ることができました。学習発表会では、劇・

合唱・合奏・研究発表と練習を重ね、当日は見事な発表ができました。特に、中学部による劇「菊下の契り」は、演技はもちろん脚本・大道具・小道具・音効・照明まで全て生徒自身を取り組み好評でした。この日も、キリマニ校のお友達を招待し、すばらしい「赤とんぼ」の合唱を披露してもらいました。その他、修学旅行(小六・中二)、遠足、七夕集会、造形大会、イングリッシュフェスティバル、卒



卒業生を送る会でのひとコマ

業生を送る会、また体力づくりとして、業間のなわとび運動、持久走大会、水泳教室と多彩な行事に取り組んでいます。しかし、八時三十分から十五時四十分までという一日の限られた時間の中で、授業を確保しながら、多くの行事に

取り組む難しさを感じているところで。

おわりに

ナイロビの生活も十か月目を迎えようとしています。ここでの生活にもやっと慣れてきたところです。十二月七日に家内が二女を無事出産し、ほっとしています。ナイロビの街では、物価の上昇などから不穏な噂も聞かれますが、すばらしい自然に囲まれたこの地で、教育活動に励みたいと思っています。

(一九九〇年十二月二十八日)

世界の国々に学ぶ

帰国教師のレポート

1. 派遣教師として——タイに根ざして.....西村 壽倫
2. マレーシアという国.....斉藤 輝三
3. 雲南石林.....村下 英二
4. 国際理解に思う.....太田 直宏
——シカゴ補習校での生活を通して——
5. ヒラニア釣りに思う.....三村 秀樹

「派遣教師として

—タイに根ざして—

元タイ・バンコク日本人学校

倉敷市立南中学校 西村 壽倫

(一)

海外帰国子女の増加により、日本国内の高校などでは帰国子女枠を設けたり、試験に工夫を加える所が増えてきて帰国子女にとっては望ましい時代がやって来ようとしています。

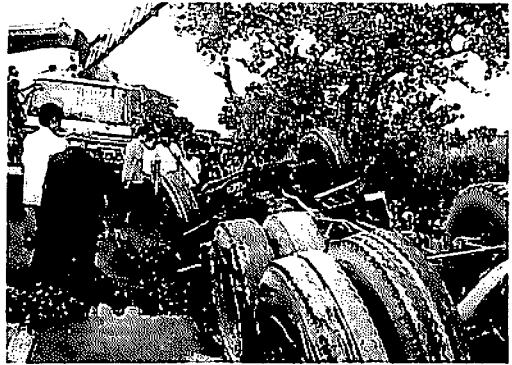
しかし、英語圏以外の日本人学校で進路指導をした者にとって面接を英会話で行うとか英語の配点を高くするという短絡思考にはあきれまいます。国際理解のない教育の国際化と言う所でしょうか。それはさて置いてバンコク日本人学校の児童・生徒が面接を受ける時にタイの様子を聞かれたり、タイ語でスピーチすることを求められたりします。だがその内容を聞くと家や学校のこと街のことはかりでタイやタイ人・文化のことがほとんど出て来ません。タイ語でまずまずスピーチできる者もわずかな数です。タイに何年も住んでいてどうしてこのような姿で帰国するこ

とになるのか。そこには次のような原因があり、発展途上国で教えた方々には共通に感じられたことが有ると思います。

一つは日本人学校が置かれている所が首都または都市にあるということです。企業戦士を支える日本人学校としてはごく当然なことですが、発展途上国に於いて首都と地方はまさに別の国と言ったほどの差を見せてくれます。外国の資本・物資・人材とそれに群がる人々が集まる首都はその国の個々の世界から浮び上った世界を作り出しています。街に住み日本人学校に通うだけではその国の大部分の姿を見ることが出来ないと思えます。

タイの首都バンコクの人口は約六〇〇万人日本で人口的に太刀打ち出来るのは東京しかありません。熱帯のジャングルでマラリアかコブラに噛まれて苦しむことを想像した私を





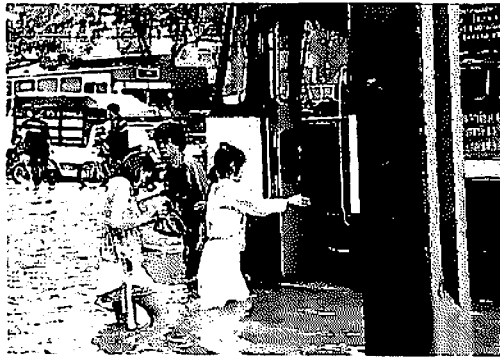
す。しかし、タイを語ることができないのもまた無理からぬわけです。

二つ目の原因は日本人村に住んでいるということですが。

日本との経済較差の大きい発展途上国に於いては普通のサラリーマンの日本人は充分すぎるほどの金持ちであり、誘拐などの犯罪から我が身や家族を守らねばなりません。24時間警備のマンションに日本人が集まって住み、遊び場も部屋や屏の内側です。学校に行けば一、四〇〇人にも上る日本人の中でほとんど日本語だけで生活し、唯一タイの社会

待ち構えていたのは、交通事故・廃気ガス・大気汚染・水質汚染・住宅難など都市問題でした。一流アーティストの公演を楽にしかも日本と比べて格安に見れたという良い面もありましたが、とにかく東京の生活を味わうことが出来たわけです。子女達が体験したタイも確かにタイの現実で

の接点となる学校との往復も前述の理由からスクールバスでマンションの玄関から校門まで送迎する現状です。タイ語を話せず、タイの事を知らないのも無理からぬ所があると思います。



このような中で子女達がタイを感じるのが自然現象です。暑さやスコール・雷・九月十日頃に年に一二度起る洪水などは、都市や日本人村の壁を乗り越えてタイ全体を包んでくれます。子供達の作文や面接に洪水や暑さのことがでてくるのは当然だと思います。これでおわかりのように、

すばらしい感受性を持った子女たちは、この二つの壁を越えさせるか壁を壊しさえすれば、貴重な考えや感覚を日本に持ち帰ってくれるのです。

『国際理解』の各母で多くの先生が現地校との交流や修学旅行、遠足の話を書かれるのはこの重要性をだれしも

が感じられているからでしょう。ここからはバンコク日本人学校中部修学旅行の変更までのあゆみについて書きたいと思います。

(一)

昭和六十二年にバンコクに赴任した時の中学部の修学旅行は、タイ南部のリゾート地プーケット島へ飛行機で往復



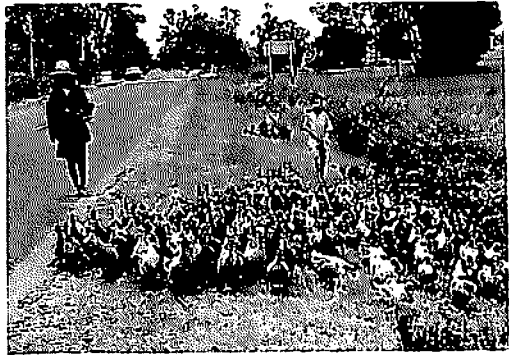
するコースでした。プーケットは現在日本でも知られたリゾート地で外国人やタイの富裕な

層の人々が宿泊するホテルがそろっており安全性などの面から選ばれていました。その頃はすごいぜいたくな旅行だなどというぐらゐの意識で、毎日の生活の方に気を取られていました。

赴任二年目になり中一の担任を始めた頃、昨年修学旅行に行った方などから修学旅行の問題が次々と提示されまし

た。リゾート地で家族でのんびりする所だとか、トップレスの女性が居て中学生には向かないという意見や、すずの鉱山やゴム園などを見学に入れても他に何もないので時間があまるといったもの。海が荒れる時期でリゾート地なのに泳がせられないなど色々ありました。二年生の先生方が様々な候補地を考えられましたが、結局同じ場所で不要な時間を省き一日行程を少なくするという結論になりました。父母や生徒に説明して準備に入ろうとしましたが、ここからが大変でした。一部の父母が日程を一日少なくするなど、子供の楽しみを奪う管理教育だと言って反対し始め、自分の子供に朝学校へ行く時、『先生なんかには負けちゃだめよ。』と送り出したそうです。新聞社の駐在員にまで電話をかけ記事にして学校をたいてくれるよう依頼し断わられるというエスカレートぶりでした。二年生の先生方は父母の意見ではなく生徒との対話を行い今まで通りの修学旅行に戻すことになりました。

この事は私の心にも大きく残りました。修学旅行は明らかに転換点を迎えていましたが父母を説得できるだけの準備がなければ、転換することが出来ないということがわかりました。社会を見て歩くのが好きな私は、車に乗り一人であちこち廻っていましたが、修学旅行のコースのことを考えながらこの頃からは旅行するようになりました。



私が修学旅行を変更

するべきだと考えたのは様々の理由の中で次の点でした。前述の通りタイの生活に触れる貴重な機会であるのに飛行機で往復し、しかもタイ人の本来の生活の場ではないリゾート地に行っていることが一つ。リゾート地なのに泳げない季節に行っていることが二つ。タ

タートします。

(三)

二年生を担任することは望ましいことと思っていましたが、校長に呼ばれて主任をするよう頼まれた時はこまりました。昨年の事もあり修学旅行の件がしんどいことがわかっていましたので、横着な私は御遠慮したかったのですが、三年間の恩返しということで引き受けることになりました。

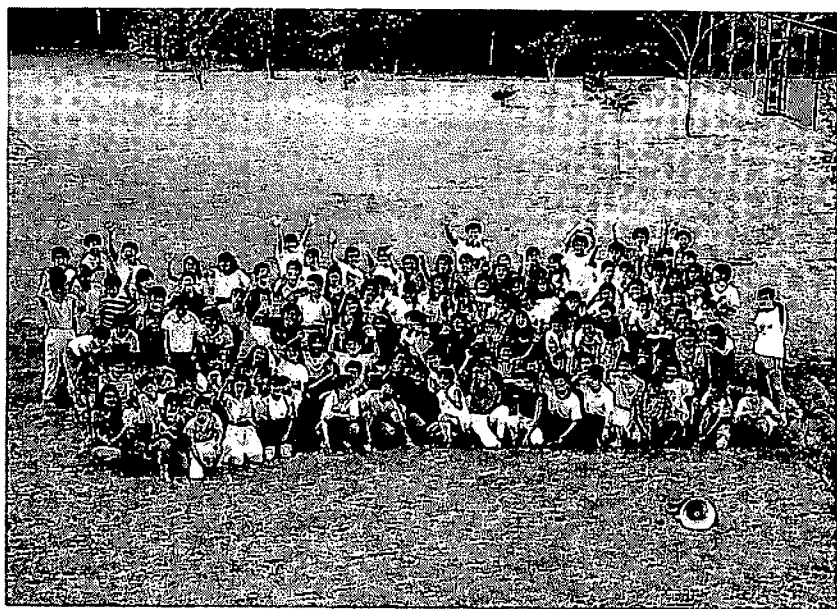
イの経済が発展し地方でも宿泊可能な施設が増えていることが三つ。企業進出の増加により、一学年二二〇人を越え、飛行機一便では乗り切れなくなっていることが四つ。でした。二年生が修学旅行から帰って来ましたが、やはり泳げなかったそうで校長先生からは修学旅行の検討委員会を作るように指示がありました。一年生の担任であったので委員の中に入り一月から旅行会社に資料をもらったり、二月には可能性のあるコースを自分で旅行したりして確めてみました。このようにして二年目の年度も終り、三年目がス

新二年は四クラスで、内二人の担任は赴任したてで右も左も分からないなか重荷を背負ってもらいました。しかし、どの方もフレッシュな考えの人で白紙から学年で考えましたが、困難があっても子女たちに望ましい修学旅行に変更することに決定しました。新学期当初に修学旅行



の変更があるかもしれないと父母に説明してありましたが、計画のできた六月生徒に説明し、次の日父母のクラス代表と懇談しました。早くも父母間で電話が飛び交ったそうであるが、一時間にも及びました。父母の心配な点は、交通・防犯の安全面と食事・水・宿所の衛生面が中心でもっともな事でしたが、実情を知っておられる方は一人のみでした。実際に見て来た事で一つ一つ説明しますと、もともと伝聞による知識でしたので納得されて帰られました。数日後、クラスごとに父母を集めて説明会を開きましたが、最後には『私達も連れて行って下さい。』と言う発言が出るほどのなごやかさで終わりました。昨年との思いが重なり感無量でした。

生徒たちを何とかタイの生活に触れさせたいと思う二年団の心が、いろんな協力者を呼びました。それまであまり話をしたことのないタイ人の校長先生や、事務員さんからタイ語の先生までが応援してくれました。タイの人々は先生でさえタイが遅れていると思ったり、きたくないと思っただ敬遠していることを悲しく思っておられたそう、タイのことを学ぼうとする姿がとまれしいと言われました。そんな中でタイの大臣クラスが利用する旅行会社などを教えて下さり、結局その会社を初めて利用することとなりました。

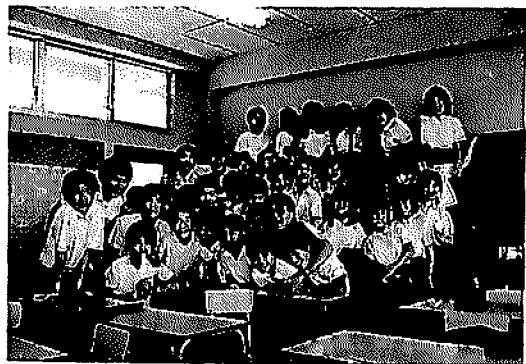


日本人の会社でなければ危ないのではと言う日本人もいましたが、調べていくうちに日本の旅行会社は現地では何もせず下請けのタイ人の会社に任せているだけで結局タイ人の会社が運営していることが分かりました。しかも、私のへたなタイ語で通訳料を省くことよって、昨年と比較して約四割の料金で行けることとなりました。こうして十月下旬修学旅行が無事実施されました。

四

帰国前クラスの父母達が送別の宴を開いてくれました。修学旅行がよかったという話をされる中、あるお母さんが「先生は思い残すことなく活躍されたのでは」と言われたので、「生徒が活躍したのですよ。」とお話ししました。生徒達が何をしてくれたかによってこの結論はやがて出ると思います。

タイの人々を初め、生徒や父母の方々、大使館の人、校長先生や同僚の協力を得て何とか無事任期を終えることができました。これらの人々に支えられて、最後に学んだことはやはり理想に対する情熱です。様々な反対や困難がありました。が、子女のためにの一言でぶつかれたと思いません。日本社会の中では発揮することの難しいこのことを経験させてもらえて本当によかったと思います。修学旅行の中にも失敗がたくさんありました。しかし次の代の派遣教



師が情熱を持つ限り改革してくれるものと信じます。

マレーシアという国

元クアラルンプール日本人学校

岡山市立出石小学校 斉藤 輝 三



オールドモスク

アを知ることができたこと、日本を外から見る事ができたこと等々・・・数多くあります。しかし、特に困ったことが思いつかないのです。

マレーシアは素晴らしい国です。アジアの開発途上国を蔑視する風潮があるとすれば、それは大きな誤りです。私が経験したこと・感じたこと・考えたことを断片的に書いてみたいと思います。

一、マレーシアの気候

熱帯雨林気候ということですが、厳しい暑さを想像していましたが、昼間は酷暑でも夜中から朝にかけてはかなり涼しく、日本の真夏よりよほどのぎやすいものでした。

教室にはクーラーが完備していましたが、慣れるとあまりつけなくなるものです。シーリングファンで十分でした。熱帯特有のスコールは、なかなか迫力のあるものでした。にわかになんか暗くなり、強い風とともに突然大粒の雨が降ってきます。ものすごい雷を伴うのです。我が家にも一度雷が落ちたことがあります。しかし、その程度で、地震もなく、台風もなく、自然の災害のない国です。

二、おいしいくだもの

マレーシアでは、年間の昼夜の長さに差がありません。また、年間を通じて高温多湿ということもあり、自然の生活環境はいたって単調です。四季の変化は認められませんが、モンスーンの影響で雨期と乾期に分けられます。そん



ドリアン

ななかで、辛うじて季節感を味わえるのは、南国特産のくだものドリアン・マンゴスチン・ランブータンなどが、店頭に見られるときです。それらのくだものシーズンは六月から九月と十二月から二月ごろの年二回でした。そのほか

にも、マンゴ・パイヤ・バナナ・パイナップル・スターフルーツなど、おいしくくだものをふんだんに食べることができました。ドリアンは「くだもの王様」といわれていますが、「天国の味、地獄のにおい」ともいわれ、人によって好き嫌いの激しくくだものです。

三、オープンハウス

マレーシアは複合民族国家です。マレー系・中国系・インド系の人々が実に仲よく生活しています。それぞれの民



マハティール首相官邸のオープンハウス

族が、それぞれの宗教・文化・生活習慣をもっています。各民族の祭日は、マレーシア全体の祭日となりました。マレー系の人々の最大のお祭りは、ハリヤブアサです。およそ三十日間の断食あけを祝うのです。断食の間中は、

日の出から日没まで、飲食物を一切口にしません。中国系の人々の最大のお祭りは、チャイニーズニューイヤーです。旧暦の一月一日が中国系の人々の正月です。日本のししまい同様ライオンダンスが練り歩き、昼夜を問わず爆竹がいたるところで鳴らされます。インド系の人々には、ディバリというお祭りがあります。その日のために、手作りのおかしが各家庭で準備され、当日は、朝早く起き身を清め寺院や家でお祈りをします。いずれの祭日にも共通しているのは、友人や近所の人達を家に招待しあうことです。こ

れは、オープンハウスといわれ、民族を越えて、いろいろな人達が知り合い、仲よく交流を深める場となるのです。

四、マレーシアの人々

マレーシアで、何ひとついやな思いをしたことがありません。外国人だからといって特別視しないで、普通に友人として接してくれたからだと思います。のんびりとした気持ちで生活できる国です。日本のように、物があふれているわけではあり



おとなりの家に招待

ませんが、時間に追われることもなく、素朴な生活をしていました。本当の幸せとは何かを考

きことの多い国だと思います。



マレーシアの子どもたち 東海岸にて

り述べます。しかし、他人に干渉しませんし、他人に押し付けません。また、困っている人には、進んで手助けをします。子供達は明るく活発です。親を大切にします。マレーシアの人達は、やさしく親切です。学ばべ

雲南石林

元北京日本人学校

岡山市立吉備中学校 村下英二



中国雲南省の

昆明市東南、彝族自治区にあり、昆明市から陸路一二〇如余り離れている。

「石林」とは、古生代に形成されたカルスト地形である。約三億年前は、青々とした海で堆積物が少しずつ堆積して石灰岩となり、更に二億年ばかり経て、

地殻が隆起して

しだいに陸地に

なり、海底に堆

積してできた石

灰岩層が地面に

あらわれ、長い

歳月にわたり地

殻変動、雨の洗

練、水の侵食等

によりできた石

峰・石柱・石花

を形づくり、広

い地域にさまざま

な形を残している。

「石林」は地

形がたいへん複雑で、地下の鐘乳洞や川、湖、滝などがあり、その石の林を主として自然の景観をなしている。主な参観場所として、大石林、乃古石、大疊水瀑布、芝雲洞、長湖などがある。その一つ「大石林」について説明させてもらいます。

石林風景の主要ところで、石峰の中の小さい経路を南に



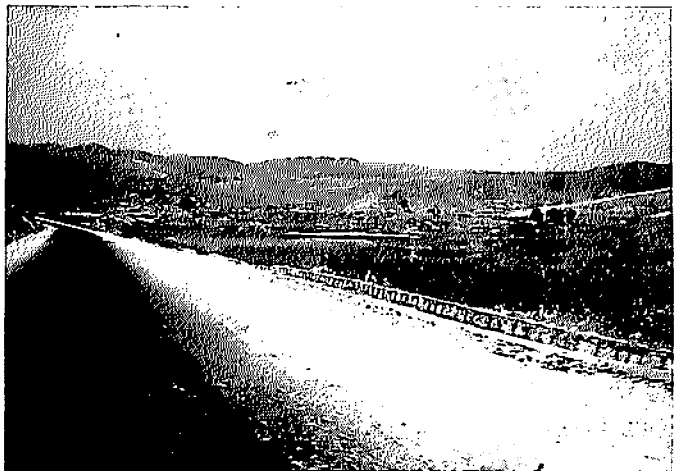
向って入って行くと、大きな石壁に赤色で大きな字で「石林」と刻んでいるのが見える。この文字は人々に不思議な世界に入ってきた事を告げる。天につき刺すように立つ石峰の上や崖壁には、いたるところに「天下第一の奇観」「異境、天下に開く」「彩雲深き処」……といった文字の彫刻が見られ、高い石峰の間には今にも落ちてきそうな大きな石がはさまり、

その下を歩いて行くのが恐ろしく感じられる。石壁をめぐり、まづ見えるのは、剣峰池と呼ばれる。池の水は碧く清く澄んで底が見える。巡りを取りまいているのは、そり立つ石の壁である。ここから中はひと足ごとに景色が変わり、その



美しさにうっとりさせられる。大石林区は自然の景観を生かした巨大な芸術の宝庫である。動物・植物・人物等々によく似ており、こうした石峰の迷宮には神秘的な彩りが満ちて、人々の心をひきつけている。

石林で暮らすサニ族はイー族の一支族で、彼らはいへんよく働き、その中でもとくに女の人たちは機織りと刺しゅうがたいへん上手で、仕上げたクロスステッチの工芸品はたいへんすばらしく、民族の風格を持っている。一度尋



ねると再度行きたくなる昆明大石林である。



国際理解に思う

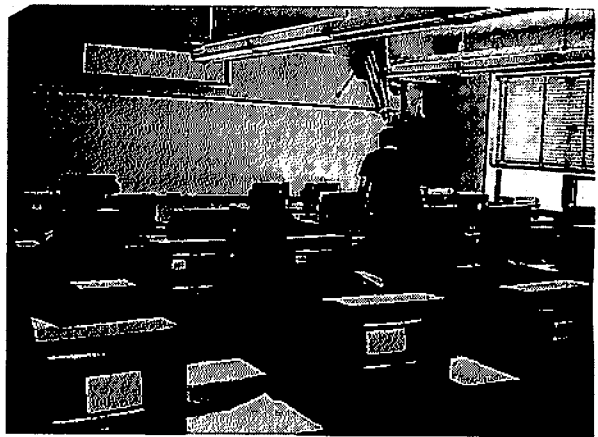
—シカゴ補習校での生活を通して—

元シカゴ補習校

富村立富中学校 太田直宏

あの広大な国、アメリカ合衆国から帰国して9カ月になる。今はさほどでもないが、帰国後数カ月は、逆カルチャーショックとでもいうのか、三年前にシカゴへ渡った時の何倍ものカルチャーショックを感じ、自分は、本当に日本人なのか、日本の社会に適應できるのかという懸念さえも感じた。家内も四才の長男も同じ思いだったようで、彼らもそれぞれ隣人との付き合いや幼稚園の級友との間で、適應に苦労した様子だった。だが、日本人が、たとえ、ある時期、外国で暮らしていたにせよ同じ日本人の社会に復帰するのに何故あれほどの違和感を感じるのだろうか。私は、学生時代にスペインに一年間留学の経験があるので、シカゴでの生活は二度目の海外生活であった。どちらの地でも、すぐに生活、習慣に適應でき、かの地を去る時には、本当に寂しさが募ったものです。

多くの外国で暮らしている日本人は、その地が住みやす



アメリカのハイスクールでの
コンピューターを使用した授業

いという。また、日本で暮らす外国人の多くが日本は住みにくいという。何故なのか。十二月の人権週の間、国際化時代にふさわしい人権意識の尊重」が標語の一つになっている。まさにこれだと思う。国際理解とは、人権意識に基づくものである。お互いの権利を正しく認め合い、また、お互いの価値観を認め合うことである。一言でいうならそうであると思う。

アメリカという国を例に取って考えて見ることにする。多民族国家であるアメリカにおいて、人々は多様な価値

観、異なる習慣、文化、伝統の中で生きていく。そして、そのような環境において、人々が快適な生活を送るには、互いの人権を尊重し、互いの存在を認め合わなければならない。そうすることが必然的に求められている国だとも言える。そうでなければ成り立たない。ある意味で厳しい状況の中にある国なのである。



ハイスクールの体育授業

アメリカの
学校教育の中
ではどうなの
か。私が、シカ
ゴ補習校勤務
時代（一九八七
四～一九九〇・
三）、補習校
の子供達の通
う現地校（ア
メリカの学校）
訪問を行った。
これは、月々
金まで現地校、
土に補習校の
二つの学校で

学ぶ子供達の相互理解と現地校、補習校の交流を目的としていたものである。当時、約一、〇〇〇名の幼稚部から高等部までの生徒を有し、三〇〇校からの現地校に子供達は通っていた。そのうちの概ね一割について訪問を実施し、現地校や、現地校での子供達の様子を見、また現地校の教師との話し合いを持った。そこでの感想である。

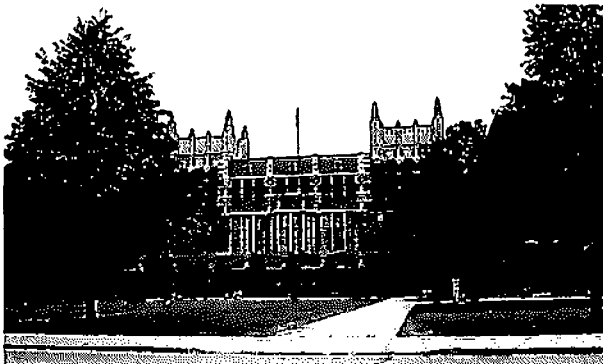
現地校で学ぶ子供達は、実に生き生きしている。生徒達が、のびのびと学習し発言している。教師が、権威的でない。子供一人一人の個性を認め、また彼等の人権を尊重した教育が行われているに他ならないからであろう。アメリカの社会では、他人に迷惑をかけるということがひどく嫌われる。当然といえば当然の事なのだが、果たして、日本の社会の現状はどうであろうか。今年の春に、三年ぶりに、東京の地を踏んだ時、日本の社会ではこうまで他人に不快な感じを与えることが平然として行われていることに、改めて驚きの念を持った。買物で順番を待っていても平気で割り込みをする人、ぶつかっても何も言わないで立ち去る人、大勢の人のいる場所できわもなしにタバコを飲む人、例をあげればきりがなし。この他人に迷惑をかけるというものは、自分もそうされたくないからそうするのであって、言わば、個人の権利を保証しているのである。アメリカの現地校での見学の際、授業中に生徒が床の



アメリカンフットボールゲームの
ハーフタイムショー

ジュートンや廊下にてでて学習をしている。どうしてなのかと教師に質問すると、彼等は、あの方が勉強しやすいのだという答えが返ってきた。服装や髪形についてもちろん細かな規定はない。ないどころか、中学生にもなると、女子生徒には個性的な化粧や服装をするように指導される。反面、学校生活において、他人に迷惑になるような行為に対してはことこのほか厳しい。

日本の学校では、体裁ばかりが先行しているのではないだろうか。先の兵庫県の高校での校門での痛ましい女子高校生死事件も、生徒の人権を無視した一つの表れのような気がしてなら



シカゴ郊外の、まるでお城のような
エバンストン高校
(屋内バスケット体育館(コート12を持つ))

ない。どんな理由が学校側にあるにせよ、門を閉めるとい
う行為において、ひとりの生徒の教育を受ける権利を奪う
ばかりか、生命をも奪ってしまった。
国際理解とは、逆行するような、他人の人権を無視した
ような言動の続くかぎり、日本の国際化は遠いことと言わ
ざるを得ない。



ピラニア釣りに思う

元カラカス日本人学校

高梁市立巨瀬小学校 三村秀樹

「ベネズエラでの休日の過ごし方で一番印象に残っていることは？」とたずねられたら、すかさず、「大草原地帯でのピラニア釣り」と答えるだろう。

ピラニアというどう猛な魚の代名詞に使われているが、確かに歯はカミソリのごとく鋭く、私の友人も、ピラニアにかまれ、大けがをした。ピラニアのいそうな池に生肉を投げ入れると、ものすごい水しぶきが上がり、あっという間に肉はなくなる。

このピラニアを釣ろうというのだから、友人からピラニア釣りに誘われた時は、少し、尻ごみしかけたが、そこは、何でも見てやろう、体験してやろうという私の性格なので、すぐ「OK」を出した。

ベネズエラの中心部は、ジャノスと呼ばれている大草原地帯になっている。サバナ気候に属し、雨季と乾季がはっきりしている。私が一番最初にそこを訪れたのは、二月の休日（カルナバル）である。季節としては、乾季の中間に

あたり、大草原のあちこちに水たまり（池）ができ、釣りには適している時期である。

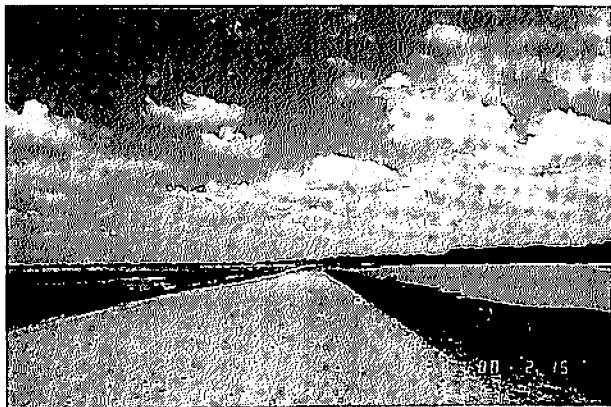
カルナバルとは、カーニバルのことで、ベネズエラ人の多くは、ローマカトリック教徒のため、二月には、土曜、日曜とだき合わせで、四日間の休みをとる。当然、現地の多くの人達も、この休みを楽しもうとするため、海や観光地は、日本同様人の山となる。しかし、私が訪れようとする大草原地帯は、現地の人達にとっては、興味の少ない場所らしくホテルも簡単に予約がとれた。

さて、いよいよピラニア釣りへの出発である。ベネズエラは、鉄道が発達していないため、移動は、車か飛行機である。私達は自家用車を運らねて、大草原地帯にある街「サンフェルナンド・デ・アブーレ」のホテルをめざして高速道路を南下した。

私達の住んでいる首都カラカスは、ベネズエラの北端に位置し、標高千メートルのため北緯十度という赤道近くにありながら、年中二十度前後という大変すこしやすい街である。ここから、大草原地帯までは、片道八百キロメートルの距離で、方位は真南である。

高速道路を走ること二時間。もう、家はまばらになり、バナナやマンゴの木がおいしげる林の風景となる。めざす街である「サンフェルナンド」までには、いくつかの小さ

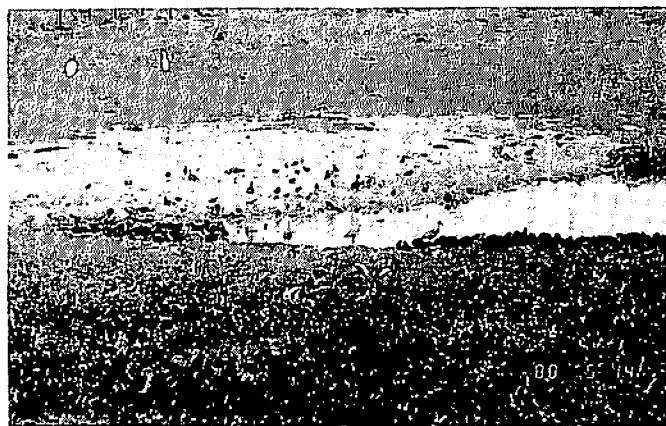
な街を通ることになる。途中、給油や昼食のため二〜三度車を止める。南下するにしたがって高度も下がり暑くなる。



一本道で、空がとてもきれいでした。

ている車は、そうでなくてもよく故障するので、こういう遠出は、非常に危険である。一台の車で、民家の少ない場所では何かあった時には「死」を意味するといっても言いす

ベネズエラの道路の状態はよく、速度制限も、ほとんどないため、時速百二十〜百四十㎞でぶっとばすことになる。当然車にかかる負担も大きい。日本車の様に故障が少ないと安心して運転できるが、現地で作られ



赤い鳥（コロコロ）
フラミンゴのような鳥です。

る風景も変わってくる。道路の両側には、草原が広がり、所々に池や水たまりがある。そこには、赤や白の鳥たちが群がり、牛や馬も水を求めて集まっ

ぎではないのである。そのため、遠出をする際には、二家族以上で出るのである。実際、今回も、四台の自動車のうち一台が動かなくなり、非常事態となったが、助け合い、無事目的地に到着することができたのである。
「サンフェルナンド」の街が近づくにつれて車から見え

ている。また、忘れた頃に農家も姿を現し、人のよきそうな農夫が、イスにすわって通り行く車をぼおっと眺めている。家の庭には、放し飼いのニワトリが一生懸命エサを探し回っているし、子供達は、手に棒を持ち、にぎやかに遊んでいる。それは、ほのぼのとした光景である。

また、道路には、動物の死がいを見ることが出来る。日本だったら、普通、犬とか猫の死がいがほとんどであるが、ここは、南米の大草原地帯である。死がいは、ワニであったり、スカンクであったり、大きなヘビだったりするのである。「このワニの皮を持って帰ったら、お金になるかな」などと冗談を言っていると、目的地の街、サンフェルナンド・デ・アブーレに到着した。カラカスを出発して八時間後である。

街の入り口には、大きな噴水があり、その噴水の周りにはワニの彫刻が施されている。さすがワニの街である。

ホテルで一泊した後、いよいよピラニア釣りをする日が出てきた。まず、肉屋へ行きえさである生肉の調達である。生肉の塊りを一辺五センチメートルの立方体に細かく切る。それを持って、草原地帯の足場のいい池か、流れのゆるやかな川をさがす。

ちょうどいい池があったので、車を止め、まずは、生肉を一きれ、池に投げこむ。ピラニアがいることを確かめた

ら、いよいよ釣りの開始である。

ピラニアを釣るには、普通の魚を釣るような仕かけではだめである。針は、大きく太い物を使い、はりすは、ピラニアの鋭い歯でも切れないよう金属でできたワイヤーを使う。糸も太めの物を使う方がよい。ピラニアも大きい物になると、三十センチメートルくらいの物もあり、それ以外にも大きな魚が釣れる可能性があるからである。

針に生肉のえさを付け、池に投げ入れる。すぐ、すごい引きがあり、浮きが見えなくなる。あわててリールを巻くが手ごたえはなく肉の取れた針が上がってくることが多い。どうやらピラニアは、肉の一カ所を鋭い歯でかみつ



牛肉にくいついたピラニア
秀樹さんがつりました。

き、引きちぎって食べている様である。そこで、少し肉を小さくし、針に付け投げ入れてみる。それでも、えさだけを取られる。何度か失敗しているうちに、偶然に一匹のピラニアを釣り上げることができたのである。生まれて初めて釣り上げたピラニアは、長さが二十センチメートルくらいで、腹のあたりが赤く、グロテスクな魚という印象であった。歯は、本当にカミソリのごとく鋭く、もし、この歯でかまれたら、指なども食いちぎられるなと思いきりぞつた。ピラニアから針を取り外すには、まずピラニアを殺してからということ聞いていたのでその通りにした。実際に現地の人や知人も、外す時に指をかまれ肉がとれたとい



うこともあったからだ。

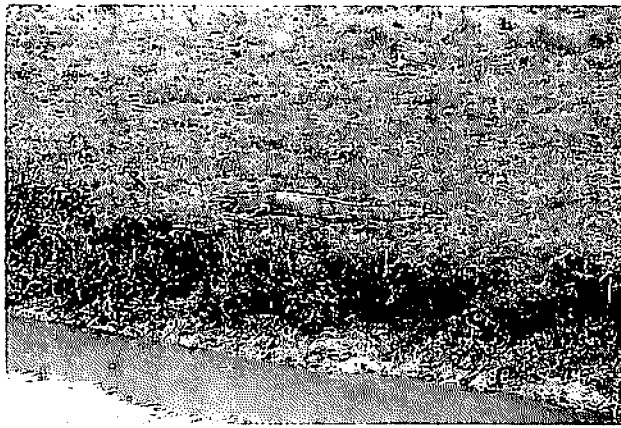
私は、ためしに、そのピラニアを食べてみる事にした。炭火でピラニアを焼き、皮をはいで、塩をふり、口に入れてみた。少しくさみがあったが、白身の魚でまずまずの味があった。しかし、たくさん食べる気はしなかった。



アップレ
こは、なまずがたくさんつ
れました。古田先生は50cmの
大なまずをつりました。

しばらく釣りをしていると、ピラニア釣りのコツがわかってきた。大きく引く前に、少し小さなあたりがある。その時にさおを持ち上げ合わせるのである。このコツを覚えたら、後は、入れ食いである。わずかな時間で何十匹も釣り上げることができた。私だけではない、妻も、五才と四才の子供達も、どんどんピラニアを釣り上げることができたのである。

この大草原地帯は、雨季には草原のほとんどが、水びたしになり、乾季には、草原の低いくぼ地に水がたまり池となるのである。小さい池は、最後には水がなくなり、そこに生息していた生き物は全て死滅するということがある。つまり、私達が少々ピラニアを釣っても、それは自然をこわすことにはならないということである。



ピラニア釣りをしてしていると、どこからともなく現地の人達が集まって来た。あまり、これといった仕事がないのか、私達の様子を見ている。人だけではない。少し離れた水面に目を向けると二つの鼻の穴と二つの目が見え隠れしている。人々から恐れら

れている巨大ワニも池にいたのである。この辺りはワニも多く、いたる所で見かけることができる。もっと驚いたことには、ワニやピラニアのいる池を、現地の人達はへっちゃんらでザブザブと歩いているのである。つまり、テレビで見える様な、ワニとの戦いなどは、興味本位で作られた物であることが分かるであろう。

私は、この最初のピラニア釣りを含め、五回も、この大草原を訪れることになる訳であるが、これは、ただ単にピラニア釣りが楽しかっただけではない。それは、一つには雄大な自然である。私はここで生まれて初めて地平線を見るこ



れも周囲三百六十度の大パノラマである。地平線に沈む、真赤な太陽が今でも脳裏に焼きついている。また、私の心をとりこにしたのは、全く音の無い世界である。広大な大地に車を止め、エンジンを切り、車のドアを開けた時、そこは、文明からかけ離れた別世界であった。文明の匂いのない世界である。私がこの世に生まれて初めて知った、初めて味わった世界がそこにあった。

すべての社会・人間のしがらみから隔絶された音もない世界に言いようのない魅力を体感することができた。また、改めて人間は自然の中から生まれ、自然と共に生きてこそすばらしいということを実感した。

このベネズエラの大自然が壊されることのないことを、また、再び防げる日が来ることを願いつつ筆をおくことにする。

子供のための世界の国ぐに

1. オーストラリア-----赤木 寛
2. 台湾-----片山 主計
3. 子供の日 端午の節句-----阿比留 博
4. シンガポールのお正月(春節)-----赤田 卓美
5. 知っているかな、こんな違い-----垣見 憲治
6. ブラジル日系移民の人々-----横山 福水
7. 西洋人のユーモア感覚-----三宅 正勝

オーストラリア

元シドニー日本人学校

赤木 寛

はじめに

最近テレビや新聞で、オーストラリアのことをよく見かけるようになりました。それは沢山の日本人がオーストラリアへ行くようになったからです。観光に行く人が急激に増え、貿易が盛んになって、それに従事する人やその家族が、日本から大勢移住するようになりました。オーストラリアはもう南の方の遠い国ではなく、両国にとってお互いに無くてはならない大切な国になっているのです。

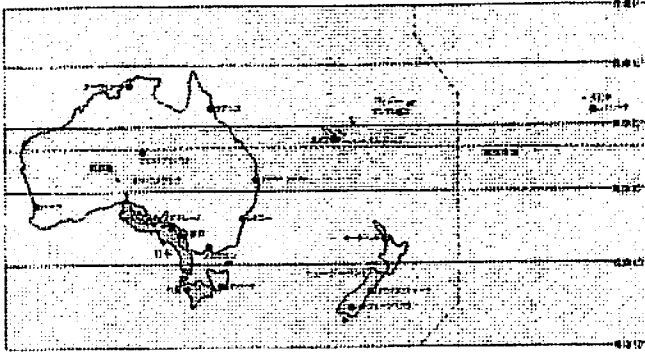
一、位置と自然

世界地図を、赤道を折目にして二つに折って見ると、日本はオーストラリア大陸の南部に重なります。つまり両国は赤道を挟んで、ほぼ対称の位置にあるのです。しかも、岡山とシドニーは、北緯と南緯の違いはありますが、緯度ではほぼ三十四度から三十五度の間にあります。また、日本の正午を決める東経百三十五度の子午線が兵庫県明石市



シドニーの名物オペラハウスの前を行く「日本丸」です。
1988年1月26日に「オーストラリア建国200年」のお祝に各国の帆船が集まりました。

○日本とオーストラリア・ニュージーランドの赤道を中心とした位置関係



を南北に通っていると同時に、オーストラリア大陸の真中を通っているのです。このことから、両国は「東経百三十五度の隣組」という言葉があります。そのために時差が少なく、両国の人は朝はほぼ同じ時間に起き、ほぼ同じ時間に眠りに就いています。

オーストラリア大陸の広さは地図で見ても分るよう非常に大きく、日本の土地の約二十一倍の広さがあります。したがって気候は北部と南部では大きく異なります。南回帰線がオーストラリア大陸のはば中央を東西に横切っていますから、北部は熱帯に属し、南部は温帯に属しています。温帯では四

季がありますが、日本とは逆で、春は九月から十一月、夏は十二月から二月、秋は三月から五月、冬は六月から八月となります。したがってクリスマスやお正月は真夏です。夏の気温は、シドニーで三十度を越えることは度々ありますが、湿度が低くからつとしてるのでとても暮ししやすい所です。冬はシドニーでは雪は降りませんが、南へ下ったオーストラリア・アルプスではスキーが楽しめるので、真夏の日本からスキー客が大勢行っています。雨量は海岸に近い東部や北部は、日本と同じように多い所ですが、その他の地域は年間雨量が二百ミリから五百ミリと言われる所で国土の七〇パーセントは乾燥地帯です。したがって奥地は砂漠が広がっており、人が住むには適していません。しかしこのような所でも町があり、いろいろと工夫して住んでいる人々がいるのには驚きます。

二、人口・人種

オーストラリアの現在の人口は約千七百万人です。これはほぼ東京都と千葉県の人を合せた位です。一億二千三百万人の日本の人口から比べると約七分の一です。人口密度で両国を比べてみると、オーストラリアは僅か二人、日本は三百二十五人です。その上、オーストラリアは資源の宝庫と言われる位、天然資源や農畜産物の豊富な国である

のに対し、日本は逆に資源が非常に少ない国です。これ等のことが両国の国情の大きな違いです。

人種は大部分がイギリス系で、このほかドイツ系、イタリア系、オランダ系、ギリシャ系などヨーロッパ系が人口の九十パーセントを占めています。原住民系は混血を合せて十六万人位ですが、純粋な原住民であるアボジリニは四万人位といわれています。このほか東洋系の人々も増えており、オーストラリアは多民族国家になりつつあります。

三、歴史

オーストラリア大陸は南極大陸から分離して移動し、今からおよそ五千万年前に現在の位置に達しました。世界のどの大陸ともつながっていない孤立した大陸になったのです。そのため他の大陸では見ることができない珍しい動植物が存続し、また独自の進化を遂げて来ました。この大陸に今から約三万年前にインドやインドネシア方面から人が渡って来ました。この人々は現在アボリジニと呼ばれている原住民で、自然の恵みに頼って狩猟と植物採取による放浪生活を続けていました。原始的な生活であっても彼らなりに幸せな生活をしていたのですが、そこに現れたのが文化の発達したヨーロッパ人でした。一七七〇年にイギリス人のキャプテンクックは、現在のシドニーの南十五キロメートル位

の所にあるボタニー湾の南岸に上陸し、イギリス領を宣言しました。一七七六年イギリスの植民地であったアメリカが独立したため、これに代わる植民地としてオーストラリアが選ばれたのです。一七八八年一月二十六日、十一隻の帆船に乗った千三十名のイギリス人が現在のシドニーに上



1788年1月26日最初の移民船がシドニーに着きイギリスの植民地の歴史がはじまりました。

陸し、オーストラリア開拓の歴史が始まったのです。今から約二百年前のことですからオーストラリアは若い国であることが分ると思います。次第に人口も増え国力も増して来て、一九〇一年に独立しましたが、現在もイギリスのエリザベス女王を君主とする立憲君主国です。独立後十年して首都作りが始まりましたが、大都市のシドニーとメルボルンのほば中間の一軒の家もない羊の牧場を首都特別地域と決め、キャンベラと名付けられました。現在人口は三十万人足らずの首都ですが、最初から主都として設計され町づくりがされてきたので、世界で最も美しく、合理的な首都として有名です。

一九〇一年から六十七年間、白豪主義時代がありました。これは白人以外の移民を制限した時代ですが、今はこのような制度は撤廃されどんな人種でもオーストラリアに役立つ人なら受け入れる国際化した民主国家になっています。

四、学 校

オーストラリアの学校は毎年二月一日に始まり、十二月十五日頃終わります。殆んどの子供達が幼稚園に二年間行つて、六才になったら小学校に入学し六年間勉強します。英語(国語)、算数、社会、理科は教科書に従つて習いますが、音楽、図工、体育は担任の先生によって習い方が違います。

小学校を卒業すると六年制のハイスクールに全員入学します。日本の中学校三年間と、高等学校の三年間を一諾にしたような制度です。ハイスクールの四年生までが義務教育だから日本より一年長いのです。ハイスクールの六年生まで行く人は殆んどの人が大学や専門学校に入ります。大学は全部国立で、授業料は納めません。

学校のことでは日本と違うことは、入学式がないことです。小学校では五分間に二人ずつ父母に連れられ新入生が学校に来て、受付を済ませたら決められたクラスに入って名札をつけてもらい、自分のロッカーを教えてもらいます。三十人位のクラスで、全員揃ったら担任の先生の話が始まると言った具合です。



一人一人に卒業証書を渡す。卒業式は一人一人に渡す。卒業式は一人一人に渡す。

卒業式はありますが、卒業証書を渡すのは校長先生ではなく、来賓の中の代表の人が一人一人に手渡します。小学校もハイスクールも日本のような部活動はなく、社会体育が

盛んですから、子供達は下校後地域のスポーツクラブなどに参加して、サッカー、ラグビー、バスケットボール、クリケット、野球、テニス、水泳などに行き、文化面ではピアノ、バイオリン、オルガンなどの練習に行きます。併し、日本のような学習塾には行きません。学習塾に行っているのは日本人の子供が殆んどです。

学校では午前十時三十分頃から十五分間位のティータムがあつて、家から持って来たおやつを自由に食べてもいいことになっています。学校給食はありませんから、簡単な弁当を持ってゆくか、学校の売店(タックショップという)でパンなどを買って食べます。天気の良い時は外の芝生などの上で自由に友達とおしゃべりしながら昼食を楽しんでいます。オーストラリアはどこも週休二日制ですから、学校も会社も土曜日と日曜日はお休みです。学校は四学期制です。

五、くらし

オーストラリアは資源に恵まれた国ですから、人々は日本人のようにあくせくと働きません。貧しい家は少なく、生活にゆとりがあり、沢山ある休暇を家族みんなで楽しんでいます。学校も会社もお店も土曜日と日曜日は完全に休みですから、家族全員が揃って教会に行ったり、ピクニック



オーストラリアの人は家に友達や近所の人を招いてパーティーをよくします。食事の前には必ずワインを飲みます。

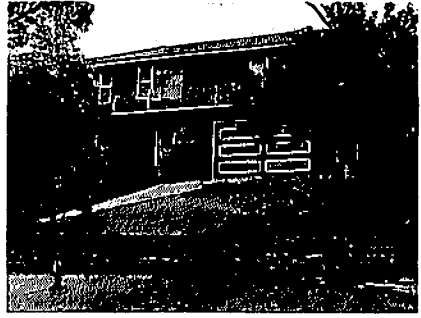


戸外にはバーベキューができる所が沢山あり、休日には家族や友達と一諸に出かけます。

クに行つてバーベキューを作つて食べたり、海に行つてヨットやボートに乗つて楽日を過ごします。釣りや、ゴルフに行く人もいます。

食事は洋食で、肉、チーズ、パン、野菜をよく食べ、ワインは肉料理の時は必ずと言つてよい程広く飲まれています。オーストラリア産のワインはおいしいので日本へも輸出されています。

住宅は広々とした敷地に建てられていて、殆んどが



住宅は煉瓦づくりで長もちがします。家の囲りに塀がないのが普通です。

囲に塀がないことです。これは歴史が大きな原因だと思えますが、オーストラリアは昔から内乱が起っていない、外敵に地上戦で攻められたこともなく、現在も大変治安の良い国です。従って塀をする必要がないのです。家の中の構造は洋式ですから靴を履いたまま部屋に入ります。そんな生活に馴れていない日本人はとまどいを感じます。衛生状態も大変よく、上水道のなま水は飲めますし、沸素を微量混入してあるので虫歯の人が十パーセント位しかいません。下水道は都市及びその近郊まで完備していますので快適な生活をするができます。

宗教はキリスト教が圧倒的に多く、九十パーセントを占

煉瓦造りなので百
年以上を經ている
家屋は沢山ありま
す。庭は緑の芝生

に覆われているの
で、休日には芝刈
機で芝を刈るのが
男の人の家庭での
仕事の一つです。
住宅の様子で日本
と違うのは家の周

めていて、国内各地に教会が数多く建てられており、国民生活への教会の発言力は大きいものがあります。残り十パーセントは移民者の祖国の宗教などさまざまです。

自動車は生活の必需品でどこの家にも何台かの乗用車を持っていきます。オーストラリアを走っている自動車の約七〇パーセントは日本車で、メルボルンにはトヨタとニッサン、南オーストラリアの州都のアデレードには三菱のそれぞれ自動車製造工場があります。ガソリンは日本の値段の三分の一位ですが、広いオーストラリアではどこに行くにも長い距離を走りますから、ガソリンの消費量も少なくありません。オートバイは日本よりもずっと少なく、たまに見掛ける位です。

自転車も少なく子供達が家の周辺で使ったり、通学用に少し利用される位です。大人が通勤に自転車を使う人はごく少数です。

六、牧畜業・農業

牧畜業や農業は植民地時代からオーストラリアの經濟を支えてきたもので、広大な国土がその經營に適しています。とくに「羊の背にのった国」と言われる程、羊の数が多く人口の十倍の約一億六千万頭います。品質も大変よいので原毛の輸出も多く、その七十パーセントは日本に来ていま



オーストラリアには沢山の羊がおり品質の良い羊毛を作っています。

す。羊の品種はメリノ種が多いのですが、湿度が低いので羊が病気にかかりにくく、飼育に適した大陸なのです。私達が衣服等に使用している羊毛製品の原料はオーストラリアとニュージーランドのものが殆んどです。

牛はオーストラリ

ア大陸で約二千四百万頭飼育されており、現地の人の大きな食料源になっていますが、輸出も盛んで、その六十パーセントは日本にきています。平成三年四月から日本は牛肉の輸入を完全に自由化しましたので、これからはオーストラリア牛肉の輸入は一層盛んになると思います。

農水産物では、小麦、大麦、砂糖きび及び野菜や果物の缶詰などの輸出が盛んで、日本へも沢山輸入されており、学校給食の材料はオーストラリア産のものが多くなっています。例えば学校給食に使用されるチーズは八十パーセントがオーストラリアで作られたものです。

お米は輸入されていませんが、オーストラリア南東部で大量の稲作が行われております。一軒の農家が平均七十五ヘクタールの水田を持っていて、肥料や、もみ種は飛行機でまき、大型コンバインで収穫しているのでコストが安く日本のお米の約五分の一の値段です。この稲の先祖は日本なので、日本の米と形も味も同じで、在留邦人の大切な食料になっています。

七、資源

地下資源の宝庫と言われる程オーストラリアは、鉄鉱石、天然ガス、銅、鉛、亜鉛、ボーキサイト、ニッケル、ウランウムなどを豊富に蔵している国で日本向け輸出も盛んです。特に鉄鉱石は西オーストラリア州に無尽蔵と言つてよい程、露天掘で産出し、生産料の約五十パーセントは日本向けです。石炭もオーストラリア東部から良質のものが多量に採掘され、その約五十パーセントは日本向けです。日本の家庭で使われているがガスやプロパンガスの中にも、オーストラリアの天然ガスが混入されるようになりました。

貿易は各国間で盛んになっていますが、オーストラリアの側から考えると日本は、輸出入共に第一の貿易相手国なのです。日本の側から考えると輸入はアメリカに次ぐ第二番目の相手国で、日本にとってオーストラリアは資源の安

定供給国なのです。つまり、日本とオーストラリアはお互いに、なくてはならない大切な間柄になっているのです。

八、観光・文化交流

オーストラリアの観光資源は美しい自然の風景と珍しい動植物です。シドニーは世界三大美港の一つでシドニー湾の周辺では昼も夜も美しい景色を眺めることが出来ます。ハーバーブリッジと屋根がヨットの帆のような形をしたオペラハウスはシドニーの名物になっています。美しい海岸の続くゴールドコースト、北東海岸沖に横たわる二千キロ



美しい海岸が続くゴールドコーストは亜熱帯に属し一年中観光客でにぎわっています。(クィーンズランド州)

メートルにおよぶ世界最大のサンゴ礁、大陸中央にあつて太陽の位置によつて一日に七回色が変わるエアーズロック等は特に有名です。オーストラリアは他の大陸と連らなっていない孤立した大陸ですから、

太古からの珍しい有袋動物が住んでいます。カンガルー、コアラ、オンバット、ポッサムなどのお母さんのお腹には袋があり、この中で赤ちゃんを育てます。中でもコアラは人気者で、オーストラリアに行った人はコアラを抱くのが一つの楽しみになっています。



コアラを抱くのは観光客の楽しみの一つです。

観光客が毎年増加し、平成三年中には五十万人の日本人がオーストラリアに行くだろうと予想されています。特に新婚旅行の人数はハワイよりも多くなっているように若い人の人気を集めています。十八才から二

十五才の青年にはワーキングホリデーと言う制度があり、オーストラリアに行つて働きながら英語を学ぶこともできます。

水島港と南オーストラリアのアデレード港は自動車工場が縁で姉妹港になっていますが、それが発展して今は岡山

県と南オーストラリア州が姉妹縁組を結んでいます。したがって両者の文化交流は今後ますます盛んになっていくと思います。

修学旅行やホームステイ、姉妹校への交換学生としてオーストラリアに行く中学生、高校生も増えて来ました。皆さんもいつか機会があったら是非、夢大陸オーストラリアに行って見て下さい。

台 湾

元台中日本人学校
岡山市立弘西小学校 片山主計

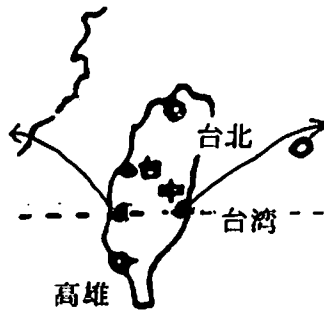
「北回帰線」って知っていますか？

台湾は日本の九州と同じくらいの大きさの島です。そのまん中を北回帰線という目に見えない線が通っています。

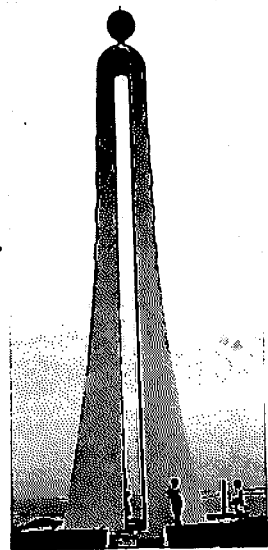
北回帰線とは、太陽がそこから北へは行かない、という一番北の太陽の通り道をしめす線なのです。だから夏至の日には太陽がその線の上を通ります。台中日本人学校はその線のま下近くにあるので、夏至の日、お昼の十二時に外へ出ると、自分の影は全然見えません。太陽が頭のま上にあるので、影がなくなるのです。

それからもう一つ、北回帰線の意味は、その線を境に南が熱帯、北が亜熱帯というふうに区分してあることです。

たしかに台湾の南部にはやしが茂り、パイナップル、マンゴーという熱帯の果物がたくさんできます。北へ行くと、お米が中心で熱帯の果物はあまりありません。どちらかというと日本によく似た、梨やぶどう、みかんなどが作られています。このように北回帰線というのは天体と気候の二つの



台湾の地図



中央のあいているところが
熱帯と亜熱帯の境

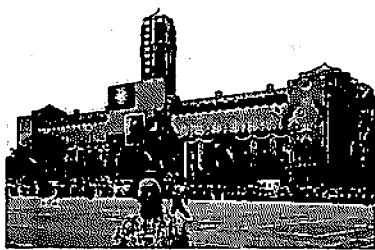
意味を持っています。

台湾では北回帰線が通っているところに標識を立てて教えてくれています。写真左は台湾の西側にあるもので、右は東側にあるものです。

四十五年前までは日本の国だったのよ

中国と日本は長い間ずっと戦争をしていました。その中で約百年前の日清戦争（一八九四〜一八九五）で負けた清朝（中国最後の王朝）は、台湾を日本へゆづったのです。その年から五十年間（一八九五〜一九四五）台湾は日本の一部でした。大勢の日本人が台湾へ住みつき、台湾を日本と同じように治めました。鉄道も作りました。お役所も学校も日本と同じような形に作りました。今まで台湾語をしゃべっていた台湾の人たちに「お前たちは日本人だから日本語をしゃべれ」と、学校では日本語を使って授業をしました。名前まで日本の名前をつけさせました。第二次世界大戦では日本人として戦争に行かせ、母国中国と戦わせました。

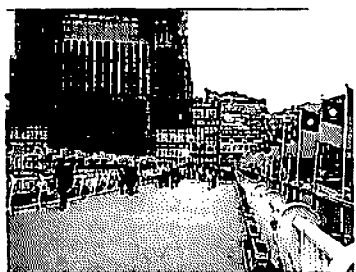
世界大戦が終わって、台湾は母国中国へ返されたわけですが、本国の方は世界大戦のあと政治の形が変わり、名前も中華人民共和国と変わってしまいました。台湾は中国とは政治の形がちがうので、もとの中華民国という国名を使



總統府



台中駅
(總統府、台中駅ともに日本時代の建物)



國慶旗（中華民国創立の印）に總統府や駅前に立てられた国旗

い、国旗も中華民国の国旗を使っています。台湾の国旗は今見ることがあまりありませんが、台湾の人々は八十年前に孫文という人が作った中華民国という国と、この国旗

に誇りを持って受けついでいるのです。

こういうわけで今の台湾ではお年寄りの人はみんな日本語がうまく、中には今の日本人よりよほど正しい日本語を
使う人もいらっしやいます。日本人に対しては親切で、考
え方も日本人と大変よく似ています。しかし風俗習慣はや
はり中国的で、日本とはだいぶちがうようです。

世界で二番めのお金持ち国ですよ

台湾の人はよく働きます。台湾は日本と同じように国が
せまい上、資源がないのです。経済も日本と同じように外
国から輸入した材料を国内で加工して輸出する形で発展さ
せてきました。そして日本に次ぐ世界第二のお金持ち国に
なつたのです。



夜店

朝は五時ごろから
市場では物を売って
いるし、食堂もあ
いています。夜は十時
まではどの店もあ
いていて、そのあと
は夜店が夜中までに
ざわっています。カ
ラオケも大はやりで

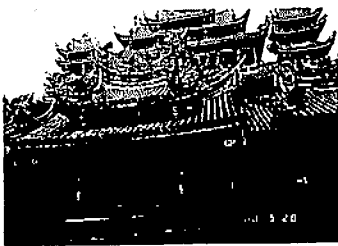
す。日本にある物は何でもあるようです。台湾の人はよく
働き、よく食べ、よく学び、よく遊びます。

ただ土地がせまい上に車がはらんし、ごみが散らばり
公害問題で苦勞しているようです。交通の様子もよくあり
ません。日本のいい所も悪いところもそっくり台湾にある
ように思えます。

台湾 めずらしい話

。お祭り(拜拜)

台湾では神社のことを廟ミヤウといい、いろいろな神様がまつつ
てあります。台湾の人は大へん信仰心があつたので、廟に
はいつも何人かの人がお参りに行っています。日本と同じ
ように線香やろうそくを持ってお参りするのですが、おも



廟



お供えのブタの列

しろいのがお供物。家から色々な物を持って来るのですが、お祈りが終わったら全部持って帰ります。中にはブタやニワトリ丸ごとなんて人もいます。五十年に一回、百年に一回という大きなお祭り（大拝拜）では、広場にブタやヤギの丸ごとが列になって供えられます。お祭りは、音楽やおしばい入りでとってもにぎやかです。

。お正月（過年）

どこの国にいても中国人はお正月を旧暦で行います。家の玄関には赤い紙におめでたいことばを書いた「春連」というものを張ります。旧暦の十二月末日を除夕（フイレイ）とい、どこにいる人もみんな家に帰ります。そして一家で丸いテールを囲んで食事をするのです。食事が終わると子供たちやお年寄りはお父さんお母さんから赤い包みに入ったお年玉（紅包）をもらいます。そのころから外では爆竹が始まります。この爆竹の音は夜じゅう続き、ま夜中（年が変わる時）が一番にぎやかです。この音は正月三日ごろまで止



玄関に張った春連



龍の踊り

まりません。お正月にはやはり特別のたべ物があります。丸いおもちはありません。

一日には廟に参ったり知人をたずねたりしますが、今は遊びに出かける人が多く、公園や遊園地などは人でいっぱいですが、これも年々少なくなっています。二日は里帰りといって、お嫁にきたお母さんたちが子供を連れて里に帰るので、今はみんな自家用車なので道は大混雑です。その中をお父さんが前に子供をのせ、後に子供を抱いたお母さん



オートバイの4人乗り

を乗せた四人乗り五

人乗りのオートバイがぬって行くのも台湾ならではの風景でしょう。

中国人はお正月を一番祝うので、学校はお正月をはきんで四〇五十日ぐらい冬休みです。このお正月のざわめきも十五日の元宵節というとうろう祭りです。

元宵節

元宵節の晩は手に手にとうろう(ちようちん)を持った人びとが町や公園にくり出し、いたるところで花火が上がります。オートバイに乗りながら花火を投げて行く者、ねずみ花火を人の足元に投げる者、窓を開けていけば家の中



元宵節の夜

まで飛び込みそうな花火のあらしです。中でも台南というところの花火大会は有名ですが、四方八方へ飛び散る花火とあつて、見る人はヘルメットに皮ジャンパー、手袋に長ぐつ……と命がけです。

端午節

日本の端午の節句はここから来たのです。旧暦の五月五日、ちまきを食べてしょうぶの葉を軒につるすことなどそっくり中国から来た習慣です。でもこのほりはありません。男の子のためのお祝いではないのです。その代わり龍の形をした船のポートルースがあります。これは昔の中国の詩人屈原という人が川で死んだのを皆が悲しんで船を出してさがした様子がこのポートルースになり、この人のために笹の葉に包んで川に投げこんだご飯がチマキになったということ。

中秋節

日本でも中秋の名月といえますね。この日も台湾の人はお休みで、みんな家に帰ります。お月さまにあやかっつて丸い机にすわり、丸く輪になって丸いものをたべます。特に月餅、ポンカン、梨などお月さまに似たものを食べて一家の幸せを祈ります。この晩も一晩中外で花火を上げるので花火のにぎやかさで、せつかくのお月さまは見えなくなるありさまです。

教師節

九月二十八日は教師節といって祝日です。これは学問の神様といわれている孔子の誕生日を祝うものなのですが、日ごろお世話になっている先生にも感謝する日となっています。

ます。朝から各地にある孔子廟（岡山では関谷にあります）では古式ゆかしいお祭りが行われ、孔子をお祭りします。その日は学生は合格祈願のため孔子廟にお参りに行ったりお世話になっている先生の家をたずねたりして過ごします。クリスマスカードのような教師節カードも売り出され、お世話になった先生に送ります。

。結婚式

昔はお嫁さんはかごに乗って、おむこさんは馬に乗って行列を作っていた結婚式も今では自家用車をリボンでかざって……、服は全部洋装で、中国的なおいは全然ありません。

形としては、朝、おむこさんが友人といっしょに車でお嫁さんを迎えに行く、お嫁さんの家では、取られないように笹や木を道においてじやまをする。今はこんなことはできないので、車のフロントに笹を少しばかり立てています。お嫁さんを家まで連れて帰ると、車を降りるところから家の玄関まで、頭の上へ竹であんだざるのようなもの（今はこちらもりがさでもよい）をさしかけて連れてはいります。これは魔よけの意味だそうです。家の中でちょっと儀式をした二人は景色のよい公園へ写真をうつしに行きます。大安の日曜日など、公園は花嫁さん花むこさんでいっぱいです。そのあと、レストランで宴会をします。招待された人

はお祝いの包みを持って行きますが、一通の招待状で何人行ってもいいのです。親しい人は家族中、友人まで連れて行く人もあります。服装も自由です。披露宴もいたって簡単、花嫁さんの入場で宴会が始まり、二度ほどお色直しをした花嫁さんは皆の席を乾杯して回ります



車から降りる花嫁さん

が、あいつもスピーチもなく、食べて終わったら次々に帰る、というもので、初めて参加した日本人はみんなびっくりするようです。

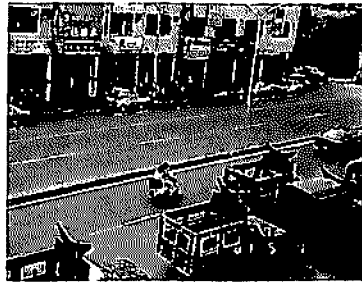
。葬式

お祭りが葬式がよく見ないとわからないほどにぎやかなのがこの国の葬式。花でかざりたてた長い長い車の列、その中に一段と大きい「霊車」と呼ばれる霊柩車。前にも楽隊、後ろにも楽隊。車一ぱいのプラスチックバンドが演奏しているかと思えば、鐘と太鼓でチンドンチンドン。途中にはテカテカの車とエレクトーンを積んで、きれいなおねえさん

がマイクを持って町中響く音量で歌って行く。泣き女というのがある、なくなった人の生前のことを言いながら大声で泣くのもあるのですが、それは葬式の前までで、墓場へ送る時はそれはそれはにぎやかです。これはたった一人で旅立つ人がさびしくないようにという心づかいだそうです。



霊車



葬式の車の列

台湾 知ってソンをしないこと

。赤はおめでたい色・白は不吉な色

中国では何にでも赤を使います。お祝い包みもお年玉もチップの包みも全部赤。のしがついているからって日本の白い包み紙はタブーです。今でこそウェディングドレスは白ですが、中国では白色の服はお葬式に着るものなのです。何にしても白は喜ばれません。封筒でも白に赤いわくがあ

る。運動会も紅白対抗でなく、紅緑対抗。なんたって白組になった方は初めから負けた感じになりますよ。紅白まんじゅうなんてプレゼントすると、おめでたいのか不吉なのかわけがわからない。ちなみに、お正月のおもちは赤ですよ。

。偶数はめでたい時・奇数は悲しい時

お祝いごとの包みには必ず偶数のお金を二・六・八で（四は死と同音だからだめ）。千円は一だからやめて千二百円にする。お葬式の香典は千円でもよろしい。

。プレゼントにハンカチはタブー

ハンカチは涙をふくもの。ハンカチをプレゼントするということは悲しみをあげること。特に日本人は気をつけたいことです。

。乾杯とは飲み乾すこと

日本式に「乾杯」といって一口飲んで杯を置くと失礼です。飲めないなら飲めるだけ注いでもらうとかジュースにするとかしましょう。日本のようにお酒を相手について回することはしません。自分が飲む時は必ず相手をさそって飲みます。さそわれたら飲める範囲でつき合います。宴会は子どもも参加しますが、彼らはお酒でなくジュースで上手につき合います。

子供の日

端午の節句

元香港日本人学校

岡山市立津島小学校

阿比留 博



五月五日は子供の日、端午の節句でこいのぼりを上げたり、武者人形やかぶとを飾ったりしたことを覚えておくことでしょう。

中国では昔から季節の変わり目で、祝いを行う日として、節句と呼ばれ、端午節や中秋節、正月（春節）などを五大節と言ひ、とても大切にします。中国の人達は、家族や親戚、友達などを交えて、盛大にお祝いをおこないます。

端午の節句は、日本で始まったものではありません。中国の風習で、御供えをする食物の敬語である「供御」の供と節目の節を合わせて、節供となり、後に節句といわれる

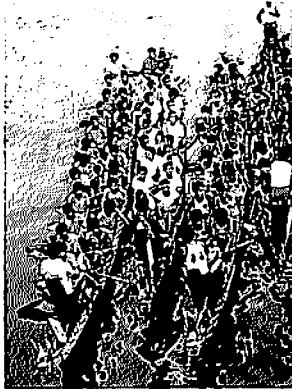
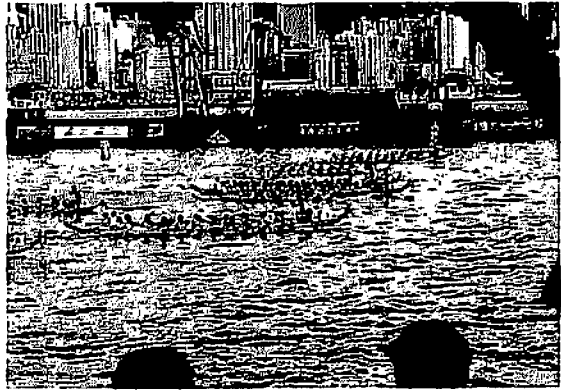
節句というのは、

ようになったと言うことです。また、ちまきを食べたりボーテレースをしたりする習慣は日本にもあります。これについて、おこりを調べてみることにしましょう。

中国の戦国時代末（紀元前三四三〜前二七八年）ごろ、楚の国の政治家であり、詩人である屈原は、となりの国秦の国が、様々な方法で、おびやかす、楚の国を攻撃しようと計略を進めていました。楚の国の王、懷王に仕える屈原は、たびたび計略にからないように注意をしたのですが、懷王は秦のさそいに乗って、秦国におもむきましたが、捕らえられてしまいました。その後を継いだ頃襄王は、屈原の注意を聞かないばかりか、彼を追放してしまいました。屈原は多くの詩を作りながら、祖国の将来を大変心配し、ついに川に身を投げて自殺してしまつたのです。その日が五月五日で、屈原の姉が弟をとむらうためと、魚のえさとなつて体が食べられないようにということで、ちまきを川に投げ入れたと伝えられています。

食べ物や水の神に供え、屈原をとむらい、自分もそれを食べて悪魔をしりぞけ、心と体の健康を祈ることが結びついて、今日に伝えられているようです。

粽（ちまき）は餅米や葛粉などの中に、肉や野菜を油でいためて入れ、笹や、はすの葉に巻きます。そして、い草でしばって蒸し、出来上がります。五月になるとレストラン



の店先にぶら下げて、通りがかりの人に売っている光景を見かけます。日本の甘い団子風のものとは違って、ポリウムがあり、とてもおいしいです。

もう一つ忘れてならないのが、ドラゴンボートレースです。屈原を助けようとして、かけつけた船を表わす意味でボートレースが行われます。また、竜は水の精であり、水の神、漁夫の神であります。この竜に目玉を入れ、かいの音と、太鼓の音を鳴らすことで竜にたましいが入り、

生き返り戻ってくると考えられています。

今では、ちまきは参加者が食べて、竜頭と、尾をかたどった船で、太鼓のリズムに合わせ、激的な競争が展開されます。日本でも長崎や沖縄に同じような行事があります。四百年前に、この竜船競争が華僑によって伝えられたといわれていてペーロン祭として有名です。

ボートは香港では、四十六人乗りと、二十二人乗りがありますが、長崎には小さい方しかありません。音頭をとる道具も、香港は太鼓で、長崎はドラをたたきます。こぎ方も香港ではいろいろあり、中腰でこいだり、スピードも速かったり、かけ声も様々です。

香港に私もせっかくなやって来ているので、参加してみたいと考えました。そこで、日本人クラブチームに加わり、四月から毎週日曜日の午前中に、二時間ほど練習するのですが、日頃、体力に自信があるものばかりではありませんので、休み休みやることになりました。ユニホームを作るのも楽しみです。日本人クラブチームのリーダーはユニホームの上に、はっぴを来て出ることにしました。

五月、六月になりますと香港の各港で、ボートレースが行われます。私たちもいくつか参加させてもらいました。一番大きな大会は、最後の六月六日の国際大会です。

この大会は、中国、シンガポール、長崎、イギリス、ア

メリカなどの外国チームと、地元の優勝チームによって行われます。

私たちのチームも参加、直線一キロメートルを争います。六せきの船が旗の合図で一斉にスタート。調子よく太鼓の音とともにかいが動いています。しかしながら、五百メートルを過ぎると、かいのスピードは落ちてきて、力もなくなってきたように肌で感じます。ゴールの線を越えたときは、息も絶え絶え、やっとなつたかという気持ちです。順位はどうであれ、レースのすんだ後は、言葉が通じない中国人や外国人チームでも、友達になつてしまいます。自分のきているユニホームを交換したり、ビールをかけあったりと、国や人種に関係なく、仲良くなれることは素晴らしいことでした。こういったことも、国際親善の一つとなるでしょう。

シンガポールのお正月（春節）

元シンガポール日本人学校

倉敷市立中洲小学校 赤田卓美

シンガポールには、お正月が一年に四回あります。どうして四回もあるのか、きつとふしぎに思う人がたくさんいるでしょう。そのわけは、シンガポールには、いろいろな民族の人が住んでいるからなのです。やく八十多の人は、中国人です。一月のおわりごろから、二月のはじめにかけて中国人のお正月があります。七月には、マレー人のお正月（ハリ・ラヤ・ブアサ）、十一月には、インド人のお正月（ディーパバリ）、そして、一月一日は、ヨーロッパの人々やアメリカ人、日本人たちのお正月なのです。それぞれのみんぞくが、お正月には、はれ着を着て、それぞれのやり方で、お正月をいわれています。きょうは、その中から中国人のお正月について書いてみます。

みなさんは、「苜」という字を見たことがありますか。「苜」とは、祭りという意味です。「春節」とは、「チンジー」と読んで、「春祭り」の意味なのです。日本でも中国でも、人々は、新しい年が来ることを、春をむかえるというよう

に感じています。つまり「春節」とは、中国のお正月のことなのです。シンガポールでは、中国語やマレー語だけでなく英語も国の言葉になっているため、多くの人々が、チャイニーズ・ニュー・イヤールとよんでいます。日本で、今、一日におこないます。チャイニーズ・ニュー・イヤールは、月のみちかけで表わしたこよみのとおりおこないます。だから、毎年、お正月の日がちがっているのです。

中国の人たちは、人々の生活で、一番もとになり、大切なのは、家族だと考えています。この祭りの間に、家族があらたまって集まり、いっしょにごちそうを食べたり、しんせきの家をたずねたり、おくり物をこうかんしたりして自分たちは、なかななのだなと感じ合ひ、家族や先ぞとのむすびつきをたしかめるのです。中国人は、世界中にちらばり、くらしていますが、むかしからおこなわれているこの祭りを、わすれずおいわいするのです。むかしのこよみの一月一日から十五日間おいわいをします。

。お正月のじゅんぴ

お正月が近づいてくると、日本と同じように、家中をそうじします。そして、おかざりをはります。かならず二枚一組で、げんかんにはります。お正月になると二人の神様が、げんかんで、懸まをおいはらうといわれていたからで

す。このごろでは、赤い紙に黒や金色の文字で「年々有余」(さいさんが毎年たまっていくように)や「新春如意」(ねがいごとがかないますように)と書かれたかざりをはっていません。また、赤い色は、おめでたい色なので、赤いちょうらんや、赤いまくもかざります。日本でいうと、ちようどしめなわや、かど松にあたるものです。若いシンガポールの人々は、さいさん、かざりをもっとかんだんにして、「春」



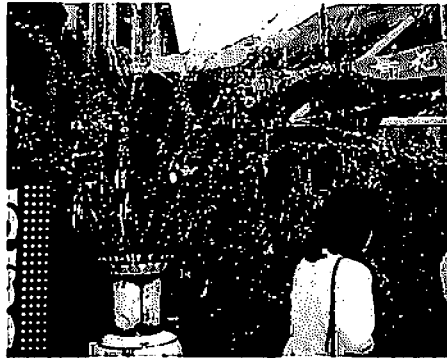
テレビの上の方にかけてあるのが、さかさの「福」の字

や「福」と書いた紙を、かべにさかさにしてはります。

「ひっくりかえる」という意味の言葉「到・ダオ」には、「やってくる」という意味があるからなのです。ひっくりかえしてかざれば、「春」や「福」が、やってくると

いうわけです。この家の中のかざりは、日本では、かみもちに、あたるかもしれません。また、日本と同じように、お正月の花もいけます。松や梅・千両・万両・福寿

草などが日本では、おめでたいので、つかわれますが、熱帯の国、シンガポールでは、手にはいりません。中国人は、「ねこやなぎ」や「きんかん」「けいとう」などをつ



チャイナタウンで売られている「ねこやなぎ」



実の大きさは夏みかん大。枝がしなってしまうようにネットで補強してある

かいます。大きな花びんに、枝の長さ、二メートルもあろうかと思われねこやなぎをいけて、その枝に、たくさんの赤い「お年玉ぶくろ」をぶらさげます。とくから見ると、なんとなくクリスマスツリーに見えて、何だか、二回つづけてクリスマスがきたような気がしたものです。また「金のなる木」もかかせません。小さなきんかんのよ



実の大きさは、
温州みかん大。

うな実がいっぱいになっている木で、実の大きさは、いろいろあります。みかんの色は、すべて金色で「金」につながるため、えんぎがよいとされているのです。

。お正月の食べ物

日本のおせち料理と同じように、えんぎをかついでいるものがたくさんあります。たとえば、「ニンガオ」（もち米とブラウンシュガー）、かものくんせい、くだものあま煮などです。特に、ニンガオは、丸くて茶色で、新年のもちという意味です。かざる時には、二つかざらなければなりません。「ニンガオ、ニンガオ」となって、「年高年高」という言葉のよみ方ににています。よいことが年々みえますようにというねがいをかけるのです。食べ物でもかざりでも、おくり物でも、中国人は、よいことがあるよ

うに、ぐう数（二・四・六……）にします。

。新年のあいさつ

大みそかには、家族そろって食事をします。そして、夜中の十二時まで、いっしょにおきていて、十二時になるとたがいに「新年おめでとう」と声をかけあいます。信心ぶかい家では、お寺におまいりして新年をむかえます。しんせきや友だちの家をたずねて、お正月のあいさつをする時には、両手のみかんをさし出します。お正月の間、みかんをおくることは、中国の南の地方のしゅうかんです。なぜみかんをおくるかというと、みかんは、中国の南の地方で「ガナム」と発音されます。この「ガナム」は、「金」と同じ発音なのです。だからみかんを二つおくるのですが、えんぎがよいとされたのです。もらった人は、おぐってくれた



チャイナタウンの夜店

人が帰る時に、同じようにねがいをこめて、みかんを二つおくります。

若い国、シンガポールでは、古くからの中国の行事やしきたりを、残していこうとする人たちがふえています。中国と、全く同じようには、できないとしても、シンガポールのらしいやり方で、これからも、せい大に、お正月をお祝いすることでしょう。

出典

- 。シンガポール日本人会誌「南十字星」
- 。シンガポール日本人学校小学部社会科副読本

「知っているかな、こんな違い」

元アルジェ日本人学校

玉野市立荘内中学校 垣 見 憲 治

一、はじめに

みなさんはお正月にどんなお雑煮を食べますか。たぶん白もちとおすまし（しょうゆ）の汁でしょう。でも、ところによって、あん入りもちと白ミソの汁を使う地方もあるのです。もちろん、中の具はおうちによって違いますね。

このように、日本の中で同じ名前と呼ばれていても、いろんな種類があるのです。ですから、日本と外国では生活のしかたや習慣などが、異なっているもあたりまえのことです、とくに驚くこともないのです。これからお話しすることは、おとなの人には常識のこともあります、みなさんはどのくらい知っているでしょうか。できれば、世界地図を開いたままで読んでください。

二、「くるまは左」？「くるまは右」？

「ひとは右、くるまは左」とはだれでも知っていることですが、世界で「くるまは左」なのは、イギリス、オース

トラリア、ニュージーランドなど少しの国です。他の多くの国では「人は左、くるまは右」が多いようです。そのため、自動車のハンドルは日本とちがって、左がわについているのです。このことは、輸入されたくるまを見ればわかりますね。ハンドルが左にあるくるまを、日本で運転するとどうでしょうか。

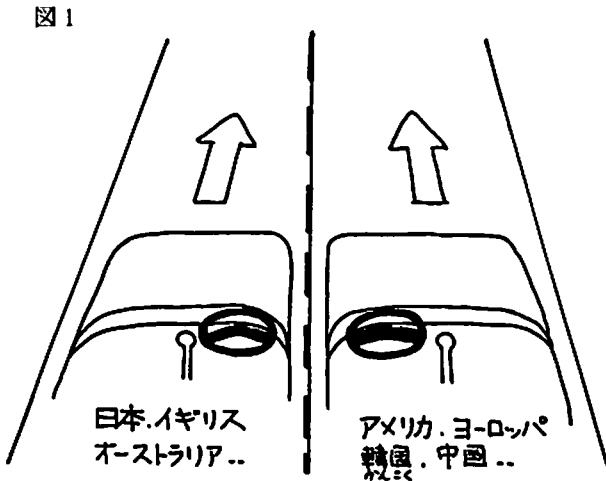
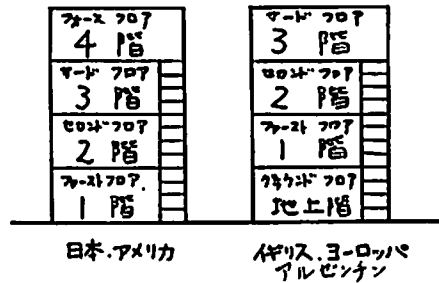


図 1

三、二階が一階、一階は何階？

これもかなり有名な話ですが、アメリカ人がイギリスの建物をおとずれると、たいていまちがった階へ行くそうです。なぜでしょう？イギリスやヨーロッパ（フランス、ドイツ）では、二階のことを一階と呼ぶのです。一階にあ

図2



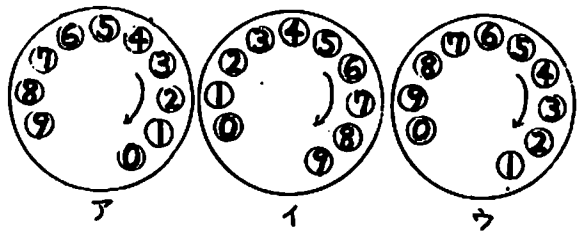
たる所はイギリスでは「グラウンドフロア」と言い、文字どおり「地上階」なのです。「三階に行ってください」と言われ
たら、ここがヨーロッパかアメリカかを考
えてから上がらなく
てはいけないのです
ね。

四、電話のダイヤルの「0」はどこにある？

思い出してください。「1」はどこにあり、「0」はどちら
にしているか。下の図のア、イ、ウのどれが日本のもの
でしょうか。

ア、イ、ウのどれが日本のものか。イ、ウのどれが日本のものか。
ア、イ、ウのどれが日本のものか。イ、ウのどれが日本のものか。

図3



五、のこぎりはおすか、ひくか？
「のこぎりは引いて使うのがあたりまえ」と思っている人は少しまってください。たしかに、外国でも中国や韓国には、日本と同じものもあり、
ますが、ほかの多くの国では、
のこぎりは「押して切る」もの
なのです。刃のつき方が日
本と逆になっているのです。
いちど使ってみてほしいと思
いませんか。

六、電気のおさしこみのあなたは丸か四角か？

日本人が外国へ旅行したら、ドライヤーや電気かみそり
が使えなかったという話があります。つぎの図4を見て
下さい。

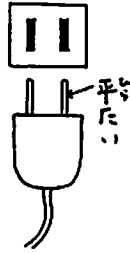
これではおたがいに使えませぬね。さらに電圧も日本は
一〇〇ボルトなのに、ヨーロッパは二二〇ボルト、二四〇
ボルト、アメリカは一〇〇ボルト、一一七ボルトです。ま

たスイスのように、同じ国の中でも、地方によってあなたの大きさがちがって使えなかったり、一つの国で二種類の電圧があることもしばしばです。使いたいものが使えないのは困りますね。

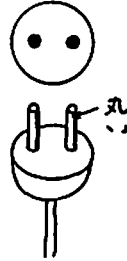
七、ゆうびん(局)の色はなに色？

わたしたちは、そのマークを見れば「ゆうびん局」と思

図4 日本



ヨーロッパ



ニュージーランド

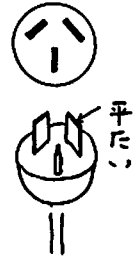


図5

日本



アメリカ



スウェーデン



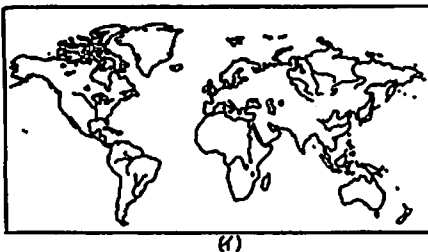
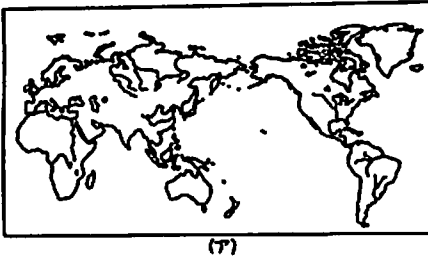
イギリス



オーストラリア



図6



八、日本は世界のどこにある？

いますし、赤色の四角い箱を見れば「ポストかな」と思っ
てしまいます。では外国はどうでしょうか。図5を見てく
ださい。
このように、アメリカでは青地に白頭わし、ヨーロッパ
では黄地にラッパというように、何種類かあるのです。で
も「黄色」の車といっても、アメリカでは「イエローキャ
ブ」とよばれるタクシーになります。また、同じヨーロッ
パでもイギリスではポストは赤色、カナダでも赤色、ニュ
ージーランドがピンク色とそれぞれ「いろいろ」なのです。

今、世界地図をわきにおいて読んでいる人は、日本がどこにあるか探してください。たぶん、アのように日本はまん中にあると思います。中国やニュージールランドなどのものも日本と同じでしょうが、ヨーロッパやアフリカ、アメリカで売っているものはイの地図なのです。日本はきまって地図の右上のすみっこにあるのです。ヨーロッパなどから見れば、日本は「東のはて」にあるのですね。

九、字を書くときはどちらからどちらへ？

ウ。(日本語です)
 えいご This is a book.
 フランスご C'est un livre.
 ドイツご Das ist ein Buch.

دفتر التبرينات
 ←

図7

↑ 漢字アレンテンへ
 ↓ 片假名アレンテンへ

イ → 阿拉伯、英語にすぐ横書きの国語
 阿拉伯語もっててくれる面白い国語がい
 阿拉伯にヒストランの横書きをしては

みなさんの使っている国語の教科書は、アのように上から下へのたてがきです。でも、このごろ日本語もイのようによこがきがふえてきました。もちろん、ウのように英語もドイツ語もフランス語もロシア語も左から右の横がきです。でも、世の中には右から左へかくことばもあるのです。エは小さな子どもめらくがきではありません。アラビ

ア語なのです。こうしてみると、世界は広いですね。これ下から上へかくことばがあればおもしろいのですが。

一〇、手紙のあて名のかき方は？

図8

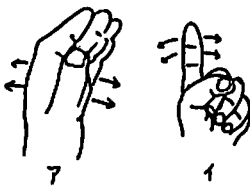
住所と氏名

<p>700 熊内山 五郎様</p>	<p>Hiroami Go 234 Sando Chiyodaku, Tokyo</p> <p>Mr. GORO KUMA</p> <p>2-3-4 Uchisange, Okayama-city, Okayama 700 JAPAN</p>
----------------------------	---

までもちががっていますね。みなさんもイのやり方で、友だちあてで書いてみましょう。

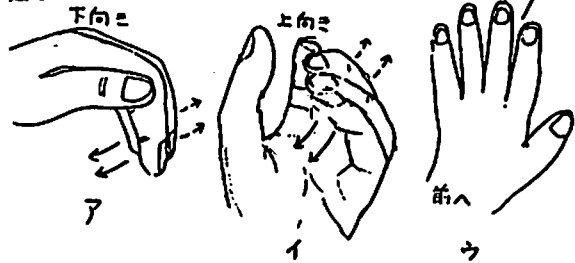
みなさんがハガキや手紙を出す時はアのようにへ相手の住所↓相手の名前への順にかいてゆきます。これに対してアルファベット(A B C...)を使っている国では、イのように、日本とまったく逆になるのです。つまりへ相手の名前↓ばんど市町村名↓県(州)名↓国名への順になるのです。さらにさし出し人の名前、住所、切手のいち

図 10



十二、「いけません、ダメ」のジェスチャーは？
みなさんは、「ダメ、ダメ」と言いながら、どんなしぐさをするか。たぶん、アのように手をふるのではありません

図 9



十一、「来い」の合図で「行け」になる？
まわりのだれかに「ここに来なさい」と手まねきをしてみてください。たぶんアのようにすると思います。でも、これは外国の人には、「あっちに行け」の意味にとられることがあります。ふつうはイのように、手のひらを上にして「来い、来い」とするのです。そして「止まれ」はウで共通です。来てほしい時にこちらへ行ってしまったらでは笑い話になってしまいますね。

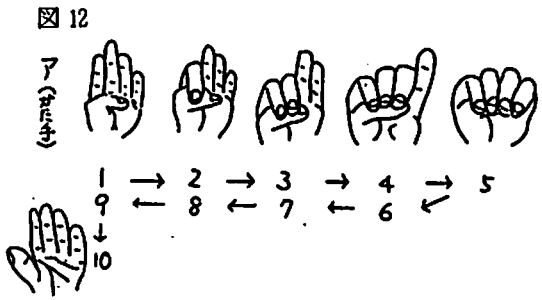
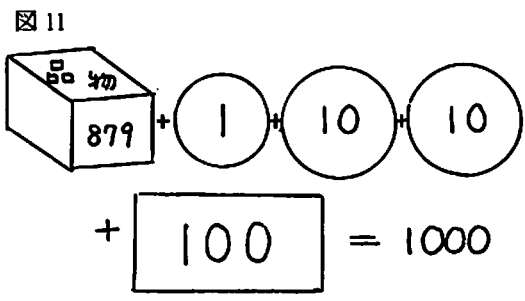
十四、おつりの出し方は？

みなさんは買い物に行った時、どのようにおつりを計算していますか。一、〇〇〇円で八七九円の物を買うと、頭の中でへ一、〇〇〇ー八七九＝一二一とすぐに行けるでしょう。アジアの国ぐにの人は同じようにすることが多いのですが、アメリカやヨーロッパやニュージーランドな

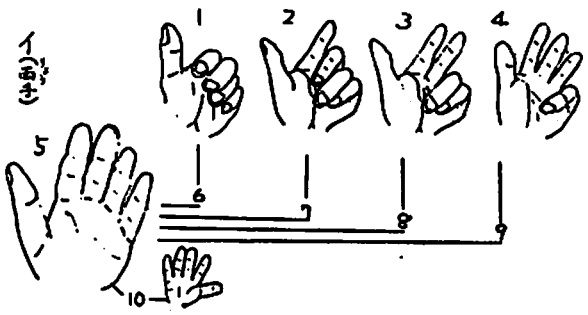
んか。でも、アメリカやヨーロッパの人たちはイのようにしながら舌うちをしたりします。初めてこれを見る日本人はびっくりすることがあるようです。

十三、「あいさつ」のしかたにはどんなものが？
日本では「おはようございます」と言いながら頭をペコッと下げますね。またヨーロッパ系の人々が「グッドモーニング」とか「ボンジュール」とか言いながら、握手をするのはよく知られていますね。さらに、もっと親しい人の間では、だき合ったりはおずりをします。アラブ（イスラム教）の人たちは、ふだんでもおたがいのほほを左右かわりばんこに合わせます。少しふしぎに見えますが、外国人の中には、日本人どうしが何度もペコペコおじぎをしているのを見て、きみように思うそうです。どれが心がいちばん通じるか、いろいろやってみてください。

どの人はつぎのようにすることが多いのです。これを「八七九、八八〇、八九〇、九〇〇、一〇〇〇」と声を出しながら、一つずつおいてゆくのです。みなさん、このやり方でじっさいにやってみましょう。



十五、指をつかった数のかぞえ方は？
 「一から一〇まで、指をつかって数えましょう」と言われると、みなさんはアのようにしますね。たいていの日本人はこのようにするのではないのでしょうか。でも、アメリカ



十六、列はどのように並ぶか？

みなさんは、お店か何かの売場にならんでいて、となりの列の方が早くすすみ、あせったことはありませんか。わたしたちはふつう、アのように並びますが、●の人が長びいたりするとそのうしろの人は困りますね。アメリカなどではイのように並び、1、2、3のだれがすんでも▲の人がゆけるようにしています。最近、日本でもイのやり方を

カ、イギリス、フランスなどでは、イのように数える人が多いようです。とは言っても、日本とちがいで、同じ国の人でもいろいろで、上の図以外にもたくさんの指のつかい方があります。中国や韓国は、ほとんどの人が日本と同じというのもおもしろいですね。さてここで、みなさんはイのやり方を練習してみてください。

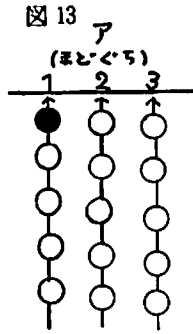
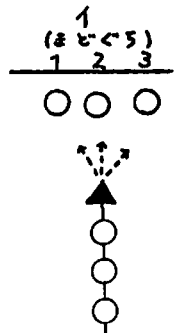


図 13

している所もあります
が、どちらがうまくゆ
くか、じっさいにやっ
てみましょう。

十七、音をたてるのは
良いこと？悪いこと？

外国の映画やテレビ
を見ていると、ハンカ
チを出してひとまえて、

「チーン」と鼻をかんでいますね。「何とおきょうぎが悪い
んだらう。」と思ってしまうですが、彼らにとつてはたいし
たことではないのです。むしろ、日本人がよくする、スー
プをズルズルいわせて飲んだり、スプーンをカチャカチャ
いわせる方がいけないのです。でも、日本では反対に、お
茶をのむとき「ズー」といわせたり、ラーメンをおいしそ
うに「ズルズル」いわせるのがよいことを考えると、習慣
のちがいがいというしかありませんね。

十八、お休みの日はいつ？

日本ではふつう日曜日と祝、祭日が休みですね。外国で
もキリスト教の国は、日曜と宗教の日、建国の日などが休

日です。ところが、キリストと同じユダヤ人もっと古く
から信じているユダヤ教では、土曜日が安息日（休日）と
され、仕事もせず、肉も食べないことになっています。さ
らに、この二つの宗教をとり入れて、後からおこったイス
ラム教は金曜日が休日とされています。世界の中にはこの
三つの宗教の人がいっしょに住んでいる国がありますが、
お店はいったいどうなるのでしょうか。

十九、食べてよい肉、わるい肉

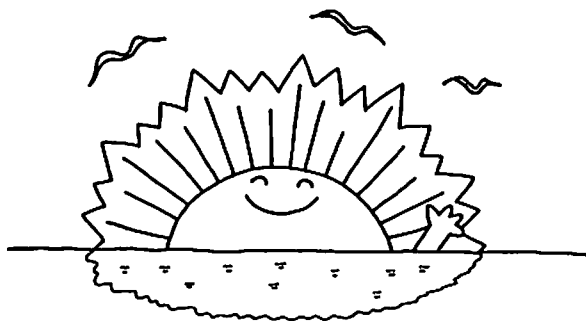
日本人は長い間、仏教のえいきょうで「四つ足」の動物
の肉は食べないことになっていました。ですから、牛肉を
食べたのは、今から一〇〇年ほど前からということに
なります。インドのヒンズー教の人たちは牛を「神のつか
い」として、今でも食べないだけでなく、大切にあつかっ
ています。ところが、となりにすすんでいるイスラム教の人
たちはブタを「けがらわしい動物」として、ぜったいに食
べようとはしません。そのため、ブタ肉でできたソーセー
ジやハムやトンカツも食べません。またイスラムのとなり
にすすんでいるユダヤ教の人たちも同じようですが、たとえ
牛肉であっても、お坊さんのおはらいをしていないものは
食べません。こうして考えてみると、いろんな宗教の人の
あつまる所の食事はにわとりか魚しかありませんね。

二十、おわりに

これまで見てきたことは、ほんの少しの例にすぎませんが、同じ人間でありながら、ちょっとしたことさえ違っているということがよく分かります。人種や宗教や文化や歴史がちがうとこんなにちがいがあつたのです。

しかし、わたしたちはこれらのちがいを、「変だなあ。」「あちらがおかしい。」と思うのではなく、「おもしろいなあ。」「なるほど、そんなやり方もあるのか。」「うーんあっちの方がいいなあ。」と思える人間になりたいと思います。

さらに、もっと調べてみるのもっといろいろな違いが見つかると思います。また、反対に、日本と同じところ、似ているところばかりをさがすのもよいでしょう。もしも近くに外国人や外国に住んだ人がいたら、お話しをしてみましよう。そうして、自分の世界が広がったら、すばらしいと思いませんか。

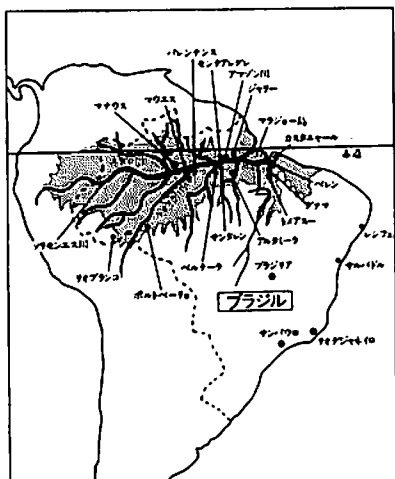


これをお読みになつた方へ
この文を書くにあたっては調査をしておりますが、誤解や
あやまりもあると思います。その場合、お知らせくださる
と幸いです。またおもしろい事例もご教示ください。

ブラジル日系移民の人々

元ベレーン日本人学校

岡山市立西大寺中学校 横山 福水



一、広大な国ブラジル

日本から約一九五〇〇キロ離れ、地球の反対側に位置するブラジルは、日本の約二十三倍の面積を持つ南半球最大の国である。南北に四三二〇キロ、東西に四三二八キロ、東西にも長いため、一時間の時差をもつ四つの地域に分けられる。

気候は北半球とは全く逆で、日本が冬の時はブラジルでは夏の季節になる。国土のほとんどが熱帯か亜熱帯に属するが、南部の温帯地域では、冬期雪も見られるところもあり、国土の広大さを感じる。

ブラジルは、他の南米諸国と異なり、ポルトガルの原住民との混血政策、後の奴隷解放後の移民政策等によって、現在様々な人種が住んでおり、人種のもつぱらというにふさわしい。一九八五年の推定では、人口は一億三千五百万人であり、大半が北東から南部地方の海岸地帯に密集している。他の特徴として、国土の半分以上は一平方キロあたり一人未満という人口密度の低さを示し、全人口の半数以上が二〇才未満の若者で占められており、この点から見てもブラジルは「二十一世紀の国」といえる。

二、ブラジルの移民史

ブラジルは日本から最も遠い国の一つであるが、昔から日本と密接な関係をもっている国である。

一九〇八年に、第一回の公式移民七八一名が、「笠戸丸」でサンパウロのサントス港に到着以来、八〇年余りがたっている。一九八八年には、移民八〇周年の記念式典が、文仁親王を迎え、ブラジル各地で盛大に行われた。

日本からの移民者は、第二次世界大戦での中断をはさん



アパートからはるかアマゾンを見む



日本人移住80周年の記念式典のため来伯された文仁親王をベレーンに迎える

で、戦前十九万人、戦後六万人の合計約二十五万人におよんでいる。

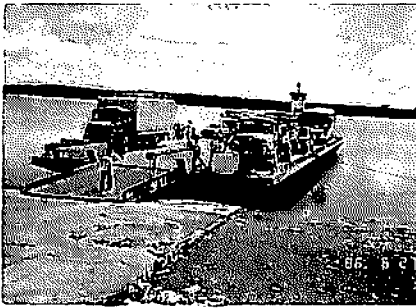
戦前は、主にコーヒー園のコロノ(労働者)として従事したが、一部は、自営農としてサンパウロ、パラナ、パラ州へ移住した者もある。

移住を推進する農業移民会社があり、その宣伝にのせられて来たものの、日本とは異なる気候、風土の中でのコロノとしての生活は、現代から見ると、想像を絶するものがあり、多くの者が日本へ戻ったり、ブラジル国内

を転々と移動しながら農業に従事してきた。しかし、日本人特有の粘り強さと工夫で、ブラジルにはこれまでなかった作物を栽培したり、飛躍的に収穫量を増やしたりするなど、日本人移民が、ブラジル農業に残した足跡は大きい。例をあげれば、ハクサイ、ダイコン、ラッキョウ、ポンカン、カキ、ビワ、モモ、ニラ、ウド、フキ、ミョウガ、ゴボウ、コンニャク、ジュート、コショウなどがある。この内、ジュートとコショウは、アマゾン地域に入植した日本人が栽培に成功したものである。

現在ブラジルにおける日系人口は、一世から四世まで約八十五万人にふくれあがっており、うち六〇万人がサンパウロ州、次いでパラナ州に十五万人、パラ州に一万人が在住している。海外の日系人としては、アメリカ日系人七十五万人を上回って、ブラジルが最大の数である。

戦前に移住した一世達は、徐々に減少しており、二世、三世への世代交代が行われるにつれ、農業から他の分野への進出が進んでいる。日系人は、一般に、子弟の教育に熱心で、医師、弁護士、技術者、学者などの高学歴が必要な分野への、進出が最もめざましいが、商工業、サービス業などの分野へも、農産物の売買や輸出入、農機具販売食品加工などの、農業関連分野を足がかりに進出している者が多くなっている。



アマゾン河には橋がない。このパウサ（フェリー）が唯一の渡した。



アマゾンには100種類以上のナマズがいると言われている。

ブラジル社会における日本人移民は、勤勉さと、真面目さで高い評価を得ており、加えて、最近の日本製品の優秀さはブラジル人の日本人に対する評価をさらに高めている。

三、アマゾンの日本人移住

アマゾン地域にお

ける日本人移住の歴史は、一九二九年に始まり、今年で六十二年目を迎える。この間における日本人

の活躍は目覚ましく緑の魔境と呼ばれたこの地区で、開拓、

開発に、数多くの犠

牲を払いながら努力し続けてきた。その結果、日本人の業績は、「アマゾンの日本人はガランチード（保証つき）」と呼ばれるまでになった。

この日本人の栄光は、アマゾンにおける二つの産業によって代表される。一つは、アマゾン中流域のジュート栽培であり、もうひとつは、トメアス（アマゾン地方最大の日本人入植地）におけるピメンタ・ド・ヘイノ（胡椒）である。いずれも苦難の道をたどって現在に至っている。

このうち、ジュート栽培は既に、日本人の手を離れているが、アマゾン地域の大きな産業であることに変わりはない。ピメンタは、現在もアマゾン地域の日本人農業経営の主作物で、ブラジルのピメンタ生産の七〇パーセントを日本人が生産している。

最近では、七年前から日本人の手でハワイ種のマモン（パイア）が栽培され、安定した作物として定着しつつある。また、デンデヤシの栽培も広がっており、多角栽培が進んできた。

アマゾン地域で、農業に従事している外国人は、日本人のみと言っても過言ではなく、ブラジルにおける独特の熱帯農業を確立した功績は、はかりしれないものがある。

一、トメアスとピメンタ

トメアスは、パラ州都ベレーンの南方、距離にして約二



トメアスでゴムの
採集を見学する

七〇キロの所に位置する、アマゾン地方最大の日本人移住である。この地に一九二九年、四十三家族一八九名がはじめて入植した。入植の世話は、南米拓殖会社を中心となつた。

入植当時、主作はカカオであったが、それだけでは食べていくことができず、日本から野菜の種を持ってきて栽培した。その当時、アマゾンの人々は、野菜を見たこともなくもちろん食べ方も知らなかった。日本人は船でダイコン等の野菜をベレーンまで運び、ブラジル人に食べ方まで教えたという。日本人のおかげで、アマゾン地域のブラジル人の食生活まで変わった。しかし、事業の方はうまくいかず会社は引き揚げ、退耕者もあいついだ。ちょうどこのころ悪性マラリアが猛威をふるい、まさに弱り目にたたり目と



トメアスのカカオ畑を見学する

ピメンタの苗二十本のうち、三本だけが生き残り、トメアスで栽培され始めた。そして残った移住者達は、このピメンタを大切に育てていたのである。

戦後になって、東南アジアのピメンタ産地が、戦争の後遺症で、生産不能状態のため、ピメンタは黒ダイヤと呼ばれるほどに値が高騰し、ピメンタ栽培は、一躍脚光を浴びることになる。

そして、一九五三年にトメアス移住が再開し、おりからのピメンタ景気に乗って、一九六〇年には、二五〇〇名以上の人口を持つ日本人移住地となった。一九六二年には、

なった。

しかし、この時、何を栽培してもうまくいかなかった熱帯農業の中で、一九三三年、南米拓殖会社の親会社である、鐘紡KKの社員であった臼井牧之助氏が、移住者にとりもって来伯する際、シンガポールで手に入れた



アマゾン巨万の窟をもたせたる
ピメンタ畑（胡椒）

ピメンタの価格が上昇し、栽培の多角化にともない、ピメンタだけでなく、カカオ、マラクジャ、ゴム、グアラナ等の永年作物と雑穀類とを併作するなどして、単作物の欠陥を補う工夫がなされ、病害虫の対策も進み、明るい見通しが見えてきている。

それにしても、重労働・マラリア、経済的困難などを乗り越えて、今日に至った移住者の方々の苦労は計り知れない。

二、高拓生とジュート

ピメンタとともに、もうひとつの日本人が作り出したア

第二トメアス移住地

を開設し、ますます発展するかに見えたが、一九七〇年頃から発生したピメンタの病気と、ピメンタの価格が暴落したため、転住、転作があいつぎ、現在は一、五〇〇名ほどに減少している。しかし、一九八三年頃からまた、

マゾンの産業は、ジュート（黄麻）であった。

一九三〇年、満州開拓熱が盛んな頃、アマゾン移住の重要性を一人説いていた上塚司代議士は、アマゾン一帯を調査し、移住者の指導役割を果たす人材育成として、国土館高等拓殖学校を創立した。この学校は、旧制中学卒業以上



見ると、栽培の陸稲達
で児童生徒
アスで
トメ学

が入学資格で、当時の社会では大変な高学歴者の学校であった。のちに、日本高等拓殖学校と改名、一九三七年の七回生まで、計二四八人の卒業生をアマゾンに送り出した。これらの若き指導者を高拓生と呼び、アマゾン移住のリーダーとして

て、今だに語りつがれ、高く評価されている。

一方、現地においては、アマゾンア産業研究所をバリンチンスに創設、農事試験場、気象観測所、病院、寮および実習訓練所を建て、受け入れ体制を作った。

上塚氏は、初めから、インドのガンジス川周辺で栽培さ

れ、世界の生産を独占していたジュート(ブラジルではジュータ)の栽培を計画しており、そのためインド種の種を取り寄せ、パリンチンスにて高拓生に試作させた。また、インドに技術者を派遣して、生産状態を視察させたりもしている。



カカオとピメンタ(黒こしょう白こしょう)で形づくられた。
入植記念制作

パリンチンスのこの入植地は、ピラ・アマゾンアと呼ばれ、いまだにその残がい、住む人もなくジャングルの中に残っている。

これだけの準備をしながらも、アマゾンの自然には勝てず、ジュート栽培はなかなか成功せず、第三回生の入植からは一般入植者も加わったが、高台での農業に変更を余儀なくされた。この間、マリアアの流行や湿地帯での重労働など、その苦勞は並大抵のものではなかった。アマゾン川

は、ガンジス川より雨期と乾期の水量の差が大きいため、インド種は十分な背丈がなく、雨期には水没してしまうのである。

しかし、一九三四年、第二回生、尾山良太氏(岡山県出身)が、試験栽培した中から四メートルの背丈に達する種類を四本だけ発見(後に尾山種と呼ばれる)、この種の増殖に努め、一九三七年に至って、やっと出荷できるまでに生産が上がった。

この後、入植者は再びジュート栽培に転向、一九四二年第二次世界大戦開始時まで、新たな移住者も加えて年産一三〇〇トンに達した。

高拓生は、ブラジル人にも栽培方法を教え、自らもアマゾン一帯に広がっていった。

戦争中も、これら日本人移住者は、国交断絶中にもかかわらず信用され、ブラジル人の栽培も増えていった。

戦後、一九五三年に入植再開。一九六五年には、六万トンを越える生産で、ブラジルはジュート輸出国になった。

一九七〇年以降、アマゾン川の水量が安定せず、減産となった事と、低湿度での重労働をきらって、日本人ジュート栽培者は減少し、現在は完全にブラジル人の手に移っているが、三万トン以上を生産し、アマゾンの主要産業である事に変わりはない。

西洋人のユーモア感覚

— ジョークは会話の武器である —

元デュッセルドルフ日本人学校

就実短期大学 三宅 正勝

一、最古のジョークと最新のジョーク

ジョークは、いつ、どこで誕生したのか分かりません。生みの親がだれなのかも、明らかでないのです。ジョークは、ことわざや民話のように、その発生の源を突き止めることは困難です。また、世界で最も古いジョークはどんなものであったのか、興味をそそられますが、これも判明していません。

毛利八十郎という人の研究によりますと、現在、世界最古のジョークとして伝えられているものが二つあるということです。この二つのジョークは、一千年前ぐらいのものであるとか、五、六百年ぐらいだろうともいわれています。しかし、約二五〇〇年前の「イソップ物語」にも、笑話が出てきますから、ジョークの誕生はもっと古いものと思われまゝです。このようなあいまいな大らかさも、ジョーク研究にふさわしいのかも知れません。

もともと、この推論は西洋人の言によるものですから、インドや中国の作品を探してみると「世界最古のジョーク」を発見できる可能性があります。では二つのうちの一つを紹介いたします。

ある男が、田舎町の小さな宿屋に泊まった。寝ようとすると、自分のちょうど真上の二階で、だれかが動物園のトラのように部屋の中を行ったり来たりする。そこで足音が耳ざわりで、寝つくことができない。男はどうとう我慢できず、二階の人の所へ行き「トラの真似は止めてくれ」と注意した。

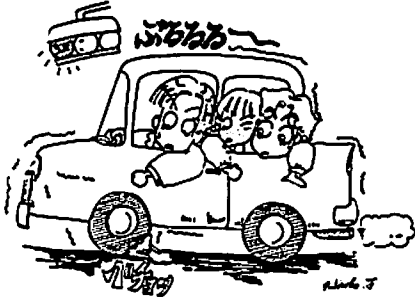
すると二階の男は恐縮して「自分は借金の始末をするためこの町へやって来たが、明日返済すべき金が出来ずそれが心配で寝る気にもなれない」と言い訳をした。

それを聞いた下の階の男はこう言った。「きみが借金を払えないというのなら、心配するのは、むしろ貸し主の方じゃないか。貸し主に歩いてもらいたまえ」

この話を紹介している毛利氏によれば、初め「心配するのは、むしろ貸し主じゃないか」という部分で終っていたが、今から百年ほど前に、だれかが「貸し主に歩いてもらいたまえ」と付け加えた、ということだ。今の人が読めば、格別おかしい話ではなさそうですが、千年も昔のジョークとすれば、素朴で大らかな感じがします。

では、ここで最近作られた新しいジョークを読んでいた
だきましよう。このジョークは一九八九年一月九日の「ペ
ルリンの壁」崩壊の直後にドイツで生まれたものですが、
私はそれをこの夏（一九九〇年）ドイツで収集することが
出来たのです。このジョークは、旧東ドイツ製の小型乗用
車、トラバント^{Trabant}の、低性能ぶりを皮肉っているもので
す。なおトラバントは「トラビー」という愛称で親しまれ
ています。

家族を詰め込んだトラビーが、ベルリンの町角で信号
待ちをしている。信号が青に変わる。トラビーはアクセ
ルをふかす。だが、ビクともしない。運転手はあせり、



アクセルをぐっと踏み込む。
ベンツ・BMW・アウディ・VWなどがトラビーを避
け、脇を走り抜けて行く。トラビーの車体は猛烈に震え
る。マフラーからは黒煙もうもう。すさまじい爆音。だ
が動かない。と、その様子を見た西ドイツの男がこう言っ
た。「おや、トラビーの奴、チューインガムの上に止まっ
てる。」

この最後の一言が「トラバント」の性能のすべてを語っ
ているわけですが、この車は、ボール紙とプラスチックで
作られた、排気量六〇〇CCの自動車で、製造以来三〇年
間もモデルチェンジされていないのです。その車が「ベル
リンの壁」が開放された後、西側の町に溢れたのです。買
い物をするためでした。

旧東ドイツの人びとが、バナナやチューインガムを珍ら
しがつて買い込んでいた姿は忘れられません。

ところで、二つのジョークを比べてみますと、古い方か
らは罪のない、大らかな笑いを感じ取ることができますが
新しい方には、相手を卑下したり、おとしめるような感じ
が漂っているようにも思われます。

ジョークは、風俗・習慣・国民性から、政治体制・経済
活動・文化現象などにいたる、あらゆる面に関して創作し
た、諧謔味（人を笑わせる要素）の溢れた小話ですが、現

代では、少々毒を含んだものが好まれるようです。

二、ジョーク、とっさの効用

ジョークの中で面白いものは、自分を批判、中傷したり、自慢ばかりする相手に、一矢報いるところです。

英国議会で、某大臣が答弁に立った折、自分に鋭い質問を發した議員に「聞くところによると、貴下は獣医であられるそうですな」と言った。偉そうな質問をしているが、お前は医者も獣医にすぎんじやないかといった表情であった。

すると獣医である議員は「いかにも私は獣医でありま



す。ご気分でも悪いのでしたら、診てさしあげましょうか」と答えたのであった。

差別意識を曝け出して、相手を見下した人物を、人間扱いせず、家畜に見立てて「診てあげましょう」と、一刀のもとに斬り捨てた獣医の態度は立派ではありませんか。

卑劣な相手の言葉に、取り乱したりしないで、さらに辛辣な言辭で応酬する。ここに会話の妙を心得たヨーロッパの、センス・オブ・ユーモアを感じることができます。

この獣医の一言に、議場は沸き返り、議員すべて喝采したといえます。が、これが例えば日本の議会における発言ですと「差別発言だ」「名誉毀損だ」「懲罰動議だ」と、物議を醸す結果になるでしょう。コミュニケーションの下手な国民の間では、討論がしばしばケンカに発展したり暴力行為を誘発したりするものです。もっとも、差別感を抱き相手をおとしめるような言動は、敵に慎まなくてはなりません。

英国では、大衆の面前で挑発的な言動に接しても、いたずらに興奮しないのが紳士の条件とされています。そこで「売り言葉に買い言葉」的な泥試合に陥ったり、暴力に訴えたりすることなく、冷静沈着なる判断に基づいて行動するのです。そこで、次のようなジョークも生まれるという訳です。

これもまた英国議会開催中の事件である。ある大臣が演説中、反対派の議員から生卵をぶつけられた。そのとき大臣はひるむことなく言ったのである。「いくら私の名がベーコンだといっても、これはひどい仕打ちじゃないですか……」



朝食に、ベーコン・アンド・エッグを欠かすことのない英国紳士のジョークは、さすがに洗練されているものだと感服しませんか。

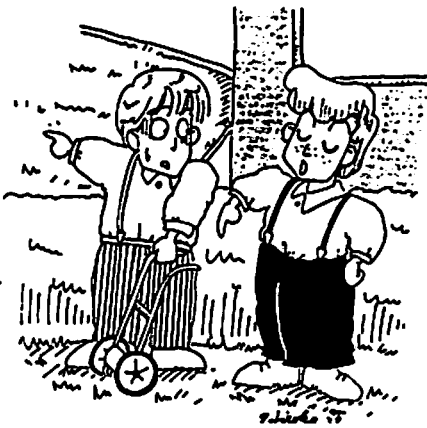
しかし、冷静沈着を旨とする英国人の性癖を逆手に取ったジョークも用意されています。

ロンドンのある映画館で、昼火事が発生した。館内は

大混乱に陥り、人びとは先を争って非常口へと殺到した。そのとき、一人の男が大声で叫んだ。「紳士淑女諸君、慌ててはいけません。冷静に、落ち着いてみなさんはだれよりも秩序を重んじる、英国国民ではありませんか。さあ席に着いて、順序正しく避難しましょう。」それは訛りの強い英語であった。そして、客が席に戻るや否や、その男は出口目がけて一目散に走ったのであった。

この男は、訛りの強い英語を話したとありますから、恐らく外国人であります。誇り高い英国人の習慣を、巧みに操った、ずる賢い男ではありませんか。

大きな会議場や、大衆の面前でなくても、個人の間でも



ジョークはしばしば語られています。次は「トム・ソーヤの冒険」などで有名なマーク・トウェインの話として有名なジョークの傑作です。

隣家を訪ねたマーク・トウェインは、その家の本棚で興味をそられる本を発見した。そこでその本を貸してほしいと申し出ると、隣人は「ここでお読みいただくのでしたらどうぞ。当家の決まりとして、本は家の外には貸し出さないことになっておりますので」と答えた。

数日後、今度はその隣人がマーク・トウェインの家に来て、芝刈り機を借りたいと申し出た。「結構ですとも」とトウェインは言った。「しかし、当家の決まりとして、芝刈機はこちらの屋敷内で使っていたただかなくてはなりません」

三、自慢の鼻を折るジョーク

ジョークに自慢話は付きものであります。ところが、自慢というものは「自分にとつての快は、相手にとつては不快」という次第で、自慢している本人はいい気分でも、聞かされる方は閉口させられるものです。

そこで人は、気のきいた言葉で、相手の自慢の鼻をへし折ってやりたいものだ、いろいろな思案します。そこに自慢話のジョークが生まれることになる訳です。自慢話は、

いわゆる「お国自慢」が多く、なぜかアメリカ人がしばしば登場するのです。

アメリカ人とスコットランド人が、スコットランドの高地を歩いていたら、スコットランド人は、お国自慢を披露してみせようとして、「こだま」で有名な場所へアメリカ人を連れて行き、怒鳴ってみせた。こだまは、約四分かって戻ってきた。スコットランド人は、アメリカ人の方を見て、鼻高高で叫んだ。「どうです、あなたの国には、とてもこんな場所はないでしょう?」「そんなことはないよ」とアメリカ人は言った。「もう少しましな所がありますね。ロッキー山中でキャンピングして、寝る時間になっ



たとき、私はテントから身を乗り出して叫んだんだよ。
「起きる時間だぞ、目を覚ませっ」てね。すると八時間後に、こだまが戻ってきて私を起こしてくれましたよ」
この話は、自慢話にかけては引けをとらないアメリカ人が、スコットランド人をやり込める話ですが、そのアメリカ人が、自分の自慢話を他の国の人にやつつけられる話の方が断然多いのです。

タクシーで、パリ見物としゃれこんだアメリカ人。パリの有名な場所を順番に案内してもらうことにした。運転手はまず、パンテオン（ナポレオンの墓がある建物）に連れて行き「これは建立に二十五年間もかかった」と説明した。するとアメリカ人は「ふん」と鼻の先で笑い「ニューヨークだったら、こんなもん三年で建っちゃうよ」と言った。

次はノートルダム大寺院に回る。「これは二百年の歳月をかけて建造されたものです」と説明すると、アメリカ人の言うことに「こんなもんアメリカだったら一年もあつちやあ、建てちまうさ」と鼻の先でせせら笑った。

かくて、案内する場所を片っ端からけなされたフランス人の運転手は、ついに頭にきてしまった。そこで、最後に案内する凱旋門まで来たが、自動車を停めずに傍を通過しようとした。すると慌てたアメリカ人が、凱旋門

を指差しながら質問した。「いったいあれは何だね？」
すると運転手は澄ました顔で「さあ、知りませんなあ、なにしろ昨日まではなかったんですから。一晩で建てちまったんでしようよ」

これと同類のジョークは、ヨーロッパ各都市で語られています。なかでも、六百年以上もかけて建造されたという、ドイツのケルン市の大聖堂の前でも、威張りちらすアメリカ人をパリの場合と同じ台詞で、ぶちのめしたガイドの話は痛快です。

英語には、テキサス人のホラ吹き。(Texas Bragger) という話があります。この言葉は、一つの州だけで日本全体よりも広いというテキサスの人が、何事も大げさに表現することから生まれたようです。

テキサス人が、イギリス人に自分の財産についての自慢話を、得得と話していた。「おめえ、おれの土地なんざ、見渡す限り見える所が全部おれんちのものよ。だからおめえ、おれんちの土地をドライブするとなった日にゃ、一日はたっぷりかかっちゃうって訳よ」。それを聞いたイギリス人は、めんどくさそうに言った。「そうかい。おれも昔あ、そういう遅い車に乗ってたもんよ」

私も以前、ノルウェーの大金持ちの船会社の社長から「私の所有している森林を、私は自分の小型飛行機で視察する

んですよ」という話を聞いたことがあります。後になってノルウェー上空を飛行機で飛んだおり、広大な森林を見下して、私はこの社長の言葉を「さもありません」と信じたものでした。また、岡山市をホームステイで訪問していたテキサスの娘さんが、「私の農園には滑走路があります」と語っていたが、これも事実のようでありました。

四、笑いの文化を創造しよう

次に紹介するのは、自慢話ではありませんが、やはりテキサスで語られているというジョークです。

いつも遅れて来る列車が、今日は珍しく時間通りにやって来た。テキサスの広大な野原を、のんびり駅に向かっていた男は、大慌てで走り、やっと汽車に乗り込むことができた。そこへ車掌が来たので男は尋ねた。「一体全体、今日はどうなってるんだい？この汽車が時間通りにやって来るなんて」

すると、車掌は男の質問に答えてこう言った。「いや、なに、これは昨日のこの時間にこの駅を発車してるはずの汽車なんです……」

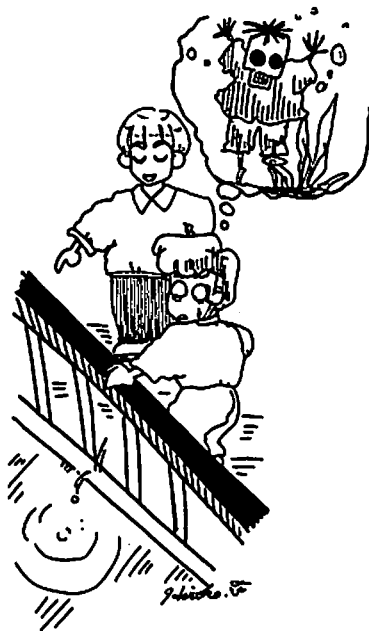
なんと、この列車はこともあろうに、二十四時間遅れたという訳ですから、古き良き時代のお話ではありませんか。

ところで、自慢話をするのは大人ばかりとは限りません。子どもの世界にもよくあることです。

「おれなんか、水中にもぐって、五分間も息を止めていられるんだぜ」

「ふん、それがどうしたってんだい。おれんちのおじさんなんか、去年川の中に飛び込んだきり、今だに上がって来ないんだぜ」

このジョークなんかは、短かくて易しい英文ですから、覚えていて、外国人と話すときなど、活用するといいでしよう。そこで原文を示しておきましょう。



“I can hold my breath under water for five minutes.”

“That's nothing. My uncle fell in the river last year and hasn't come out yet.”

以上、実例を挙げながら、ジョークについてお話ししてきましたが、現代の日本ではここに紹介したような、パンチのきいたジョークは生まれていません。そこで、世界の人びとから「ユーモア感覚に乏しい国民である」と批評されています。

しかし、わが国でも明治時代以前、古くは狂言を初め、落語や小ばなし、川柳など日本独特の「笑いの文化・笑いの芸術」が盛んだったのです。それが、明治以後「笑いの文化・笑いの芸術」が盛んだったのです。それが、明治以後「笑いの文化・笑いの芸術」は、文学や絵画・音楽などの芸術文化に比べ一級下に見られてきました。ジョークなどに対する偏見がはびこっていったのです。そこで、日本人は、ユーモア感覚をたっぷり備え、「笑いの知性」を磨き上げた国際社会に出たとき、見劣りがしてしまうのです。「ユーモアやウィットに欠け、ジョーク一つ発することが出来ない」と評され会議やパーティの席上などでも、お荷物扱いされるのです。

「国際感覚」ということばも盛んに使われていますが、

若いみなさんがたはその〔感覚〕の中に〔ジョーク感覚〕を加えてほしいと思います。日本の安手のだじゃれやパロディに笑いほうけるのではなく、世界のジョーク集成なども熟読し、日常生活の中で応用してみて下さい。そして味わい深い、辛子のきいたジョークの創作など試みられてはいかがでしょうか。

※ 参考引用文献

1 北村 元著 「イギリスのユーモア」サイマル出版会

2 杉田 敏著 「和洋小咄笑之接点」朝日・イブニング

ニユース社

3 毛利八十太郎著 「ジョーク集成」研究社

※文中のイラストは、就実短期大学幼児教育科二年生、福森広子さん。

中国の歴史をどう見るか

日本と中国の歴史教科書を比較して

(第二部)

元北京日本人学校

岡山市立加茂小学校 黒田忠男

(はじめに)

第一部(国際理解第七号)に続いて、今回は後漢末から元末にかけて、日本と中国の歴史教科書の記述内容を比較検討することにした。使用する教科書は、

「中国歴史」(人民歴史出版社発行)

中国の初中学校(日本の中学校に当たる)で使用するもの

「詳説世界史」(山川出版社発行)

日本の高校世界史教科書

である。両書は内容的にはほぼ同水準であるが、記述の量は「中国歴史」の方が多い。

(一) 三国時代から南北朝時代へ

後漢末に張角の率いる農民決起(黄巾の乱)が起こり、

群雄が割拠する世になり、やがて魏・蜀・呉の三国が鼎立した。

三国時代は中国人にとって血湧き肉躍る歴史の時代である。日本でも、中国歴史の事実とは別に、興味あるストーリーとして広く親しまれている。

「世界史(山川出版)」では、魏・蜀・呉の三国がおこり、やがて魏の将の司馬炎が晋を建て中国を統一したと記述するにとどまっている。

「中国歴史」では、曹操と袁紹との官渡の決戦、孫権と劉備の連合軍による赤壁の戦いの様子、蜀の宰相の諸葛亮の故事などをあげて興味深く記述している。日本の過去の歴史教科書で源平合戦の様子をいくらか詳しく記述して子どもの興味をそそったのと似ている。三国史は中国人にとって最も親しみのある歴史であると言えよう。

また、魏・蜀・呉のいずれもが産業振興に力を入れたことを評価している。魏の屯田制度による農業振興と足踏み水車の普及による干ばつ被害の克服、蜀の諸葛亮の堰堤の保認及び少数民族との接触と保護、呉の造船業の発達などである。

晋による短期統一は、間もなく「八王の乱」により崩壊し、南北朝時代に入るが、この時代の混乱の様子を「中国歴史」では詳しく述べている。洛陽一帯での米価の高騰、

戦乱による大量の死者、流民の増加などの混乱が続く中で、少数民族が移住してきたが、彼らに対する統治階級の搾取と圧迫が少数民族や流民たちの決起を促し、匈奴貴族はこれを利用して洛陽・長安を攻め落とすと記述している。

北部に生まれた五胡十六国の中の前秦は華北を統一後、華南に逃れた東晋と肥水で決戦し敗れるが、このときの模様は日本での源平合戦「富士川の戦い」に似て、水鳥の羽音ならぬ鶏の声と風の音におびえて九〇万人に及ぶ前秦の軍がわずか八万の東晋の軍に敗れるいきさつをおもしろく描いている。

この時代には長江以南の開発が進んだが、地主階級が土地を独占し「封山占水」と呼ばれる状態のもとで、小作人として搾取される農民に対して、「士族」として遊び暮らしていた地主たちの生活を強く批判している。

「世界史」でも、漢代の郷学里選にかわる「九品中正」の制度により豪族が上級官僚の地位を独占して貴族階級を形成し、土地を併合して、そのため国家の支配する土地と人民を減少させ軍事財政の破綻を引き起こしたとしている。

「中国歴史」では、北魏の北方統一については民族大融合として、孝文帝の統治を評価するような記述をしてい

る。また、北魏の均田制が北方農民の生活向上につながったとしている。しかし土地の売買や併合を禁じてなかったため、地主勢力は肥沃で広大な土地を占有して豪奢な生活をし、馬に銀製のかいば桶で餌を与えたなど実例を挙げて貴族官僚の批判をしている。こうした中で北部の辺境で決起が始まり、決起は失敗したが北魏の統治に動揺を与えたと同時に、各民族の融合を促進したことを評価している。

「世界史」でも均田制はある程度は役立ったが大土地所有の制限には無力であったとしている。

日本の邪馬台国が魏と通交したことや、倭国（日本）が南朝と交流したことなどは「世界史」には記載されているが「中国歴史」には書かれていない。

〔二〕この時代の文化について

〔「世界史」で取り上げられているものは〕

「六朝文化」

陶淵明 田園詩人、対句を用いた華麗な形式

「文選」 詩文集

顧愷之 絵画

王羲之 書

清談の風 老荘思想、竹林の七賢

水経注(地理)

齊民要術(農業技術)

傷寒論(医学)

鳩摩羅什、仏図澄 西域からきて布教、仏典翻訳

法顯 インドへ。「仏国記」

敦煌、雲崗、龍門などの石窟 ガンダーラ、グプタ様

式や、中央アジアの様

式の影響を伝えている

道教 寇謙之 教団の形成につとめた

(「中国歴史」で取り上げられているもの)

・祖冲之と円周率

劉徽(三国時代) 円周率の近似値を三・一四一六と

計算

祖冲之 円周率を三・一四一五九二六と

三・一四一五九二七の間にありと

計算した。ヨーロッパに比べて

一一〇〇年早い。

祖冲之の書いた数学専門書「綴

術」は唐代に学校の教科書とし

て採用された。日本、朝鮮にも

伝わった。

・賈思協の「齊民要術」

中国に現存する最古の完備した農業専門書

・龐道元の「水経注」

すぐれた地理学者、内容豊富で古代地理研究の重

要著作

・范縝と「神滅論」

傑出した無神論者、仏教の弊害を弾劾。靈魂不滅

論に対立し、統治階級が仏教を利用して欺まんす

るのを暴露した。王充の唯物論を継承発展させた。

「神滅論」は中国の宝の遺産。

・王羲之の書 隸書体から楷書体へ完成。

・顧愷之の絵 「女史箴図」「洛神賦図」 古画の中の珍品

・雲崗の石窟 中国古代の彫刻芸術の宝庫

・陶潜の詩 「桃花源詩」の紹介

・民謡 北方民族の民謡を紹介

特徴的な違いは「范縝」の「神滅論」を取り上げている点

である。王充の唯物論を関連発展させたものとして、彼の思

想が進歩的であったことを述べているが、これは唯物史観の

立場から当然の評価であろう。

雲崗石窟については、古代の労働人民の芸術的な成果とし、

外国文化の影響などには触れていない。

③ 隋の統一と滅亡について

隋の文帝が全国を統一し社会秩序を回復したことにより南北の文化経済が交流するようになったこと、均田制を実施し減税によって農民の負担を軽減したこと、造船技術の進歩、大運河を開通させたこと、辺境との交流等を「中国歴史」では隋の成果として挙げている。

しかし、煬帝の暴政についてはきびしく批判している。農民数百万人を徴発して洛陽に大宮殿を造営させたこと、大龍船に乗って大運河を通っての巡遊の贅沢さ、高麗に対して起こした戦争の二度の失敗、そのとき造船大工に対し苛酷な労働を強制し多くの職人を死に追いやったこと、徴兵による農業の破壊と農民の貧窮などを挙げている。

「世界史」でも、煬帝についての評価はほぼ同じである。そして、隋末の混乱の中から李淵が隋を倒し唐を建てたとしている。

しかし、隋が滅び唐が起る過程については、「中国歴史」では、長白山の農民決起がもとになって次第に農民たちの支持を得ていった経過を詳しく述べている。各地の農民決起軍のうち、特に灌漑と李密が指導する「瓦崗軍」の活躍を大きく取り上げ、隋軍の大食料庫を占領して農民たちに食料を配り大きな支持を得たことなどを記している。

李淵が隋を倒して唐朝を開いたのも、農民決起の高まりの機に乗じて長安を攻めて占拠したものであるとしている。「中国歴史」では、歴史を動かすものは常に農民のエネルギーである。

④ 唐の時代

① 唐初期の統治 「貞観の治」

唐の二代目の皇帝の太宗（李世民）の政治については、「中国歴史」は優れた帝王として認めている。太宗が隋の煬帝の轍を踏まないように民衆のために善政に努め、減税に心がけ、大臣たちに潔白を求め、周囲の人たちの諷言や意見をよく聞き入れた事例などを挙げて、歴史的に有名な「貞観の治」を正當に評価している。太宗の時代には、社会が安定し経済が繁栄して国力が充実した、比較的公明正大な封建統治であったとしている。

「世界史」でも、この時代が唐の全盛時代であったとし、世界的な大帝國であったと述べている。

武即天については「世界史」では記述していないが、「中国歴史」では実力のある中国唯一の女帝として、その統治をほめている。

② 農業、手工業の発展について

唐代の政治経済の基礎は北魏以来の班田制度にあることは両者とも一致している。「中国歴史」では班田制度と租庸調制度は地主階級の利益を損なわず、大土地所有を不動のものにしたと書いている。「世界史」でも貴族の所有地は荘園とよばれ奴隸や半奴隸的な小作人によって耕作されたとしている。また「世界史」では班田制度が徴兵制度と結び付いていたことを強調している。「中国歴史」では、唐代の農業の進歩について、柄の曲がった鋤や「筒車（水車の周囲に竹の筒を取り付け自動的に高い所へ水を汲み上げる装置）」と呼ばれる灌漑工具などの農機具の進歩や、灌漑水利事業の発展による大量の農地の開発などによって、経済の著しい発展があったことを詳しく述べている。手工業についても、政府の管理する作業場が中心ではあったが、絹の染色技術の進歩によりきわめて優れた美しい織物が創られていたことを述べている。陶磁器の製作も「唐三彩」や白磁などの創造について触れている。また製紙では麻を用いて作られた紙により政府の資料が記録されたことを述べている。「世界史」でも、唐代の染織、唐三彩などについて触れているが、陸路による東西文化の交流の成果としている点で「中国歴史」とは若干の違いが見られる。

③ 文化交流の評価

唐の都の長安城の偉容と、国際都市として繁栄した様子は、「中国歴史」には誇り高く詳述されている。

また、陸路と海路による往来で東西貿易が発達し、造紙、絹織物、工芸品など唐の文化や諸制度が周辺の国々、西アジア、アフリカ、ヨーロッパにまで大きな影響を与えたとしている。

「世界史」によれば、唐の文化に外国文化が流入して「東南アジア文化圏」を形成したとしている。そして、チベット、雲南の南詔国、新羅、渤海国、日本、東南アジアの国々が唐の影響を大きく受けたとしている。

とくに、日本との関係については、「世界史」では、遣隋使に続いて遣唐使による文化の輸入、律令国家体制の整備、唐を通じてインド、イランなど西方や南方の文化と接触したことをあげている。「中国歴史」では渡来してきた留学僧が唐の文化を日本に伝えたこと、阿部仲麻呂と鑑真による日本と中国の友好関係の発展について詳しく述べている。

「世界史」では、東西文化の交流に力点を置き、「中国歴史」では唐の文化が周辺の国々や西方に伝わっていったことを強調して、自国中心の記述が目につく。しかし、インド文化については敬意を払い、玄奘の西遊について詳

しく述べている。特に現在では仏典の原典がインドでは消失しており、玄奘の訳本が古代インド文化研究のための貴重な資料となっていることを強調している。

④ 唐の領土問題

「世界史」では、唐は四方に遠征して征服し諸民族を統治したとしている。北方の東突厥、西方の西突厥を討ち、朝鮮の百濟、高句麗を滅ぼし、ベトナム北部をしたがえて、六つの都護府を置いて大領土を形成したとしている。

「中国歴史」では侵略者である東突厥の脅威に対抗して戦い、都護府を置いて突厥の貴族を都督に任命したとしている。西突厥についても、統治能力がなかったので都督府を置き安西都護府を設置して広い地域を管轄したとしている。そしてこれらの都護府をおいたことで、歴史上これらの地域が中国の領土であると主張している。また太宗の娘の文成公主を吐蕃の王に嫁がせたことなどの例をあげて、周辺の少数民族との関係が友好的なものであったと説明している。しかし、唐末には政權の弱体化につれて、ウイグルや吐蕃の侵入を受け、征服地の大半を失ったことを「世界史」には記述しているが、「中国歴史」ではそのことについては触れていない。

⑤ 唐の衰亡

玄宗皇帝の初期は「開元の盛世」として安定した統治であったことは「世界史」「中国歴史」ともに評価している。しかし晩年には楊貴妃を寵愛し政治がおろそかになり、節度使の安祿山と部下の史思明が反乱を起こした「安史の乱」により唐朝は弱体化していった。「中国歴史」ではこの「安史の乱」とその後を引き続いた節度使たちによる「藩鎮割拠」が民衆の生活を破壊し、班田制度の崩壊と「兩税法」の実施により農民はひどい搾取を受けたとしている。また宦官による専制政治と官僚たちの派閥争いが唐朝の統治能力を弱めていったと述べている。

このような状態の中で、河南省、山東省で起こった農民決起はいっしょになって唐の軍を破り、黄巢の指導のもとに農民軍は急速に各地を制覇し、ついに長安を占領して「大斉政權」を樹立した経過を詳しく記述している。

すなわち「安史の乱」は民衆の側からすれば有害であったとし、「黄巢の指導する農民決起」は民衆に歓迎されたとしている。「大斉政權」は大貴族や大地主、大官僚の支配を打ち破ったが、根拠地をもたず流動作戦が中心であったので、後に唐朝の軍隊の反撃を受けて敗れた。「中国歴史」ではこの農民闘争を歴史の進歩を促進したものと述べている。

「世界史」では「黄巢の乱」を機に唐は衰え、節度使の朱全忠に滅ぼされたと述べているだけで、「大斉政権」の樹立についての記述は見られない。

⑥ 隋、唐の文化

「世界史」によれば、唐代の文化は外国文化の影響を受けた国際的なもので「東アジア文化圏」が成立した。この点では「中国歴史」も国内国外の文化の交流の基礎の上で輝かしい文化を創造したとしているが、取り上げている個々の内容は大きく食い違っている。

(「世界史」に紹介されているもの)

唐詩 王維、李白、杜甫、白居易

文章 韓愈、柳宗元

山水画 呉道玄、李思訓、王維

書道 歐陽詢、柳遂良、顔真卿

儒学 孔穎達らの訓詁学「五經正義」

宗教 仏教 玄奘「大唐西域記」、義浄「南海寄

帰法伝」、禪宗、浄土宗の普及

景教、マニ教、回教、けん教

染織

窯業 唐三彩

(「中国歴史」に紹介されているもの)

趙州橋 工匠の李春が設計建造した世界最古の石組

みの橋

木版印刷 仏教教典、曆、詩集などに使用

天文学 僧一行による世界初の子午線の観測

医学 医学校の設立

国家編纂の集典「唐本草」

孫思貌 薬物の著書「千金方」の編纂

李白、杜甫、白居易

唐詩 閻立本(人物故事画)

敦煌石窟 呉道子(立体感のある人物画、寺院の壁画)

世界最大の芸術の宝庫。中国の働く人民の

すぐれた知恵と才能の表現

「中国歴史」では科学技術を重視する文化思想が中心になっている。また、宗教に関するものは取り上げていない。

(五) 北宋の時代

① 北宋の政策

五代十国の群雄割拠の状態は、やがて北宋の太祖と太宗が中央集権に成功して、各地の節度使の軍事権を解除し、皇帝の親衛軍を強化して君主独裁制を強化したことにより

終わった。このいきさつを「世界史」では、北宋が文治主義をとり文官を節度使にあてたとしているのに対し、「中国歴史」では杯酒釈兵権（酒を飲まされて兵権を手放す）として説明しているが、歴史教科書の説明としてはいかがなものであろうか。

北宋は北方民族の契丹（遼）と西夏の圧迫を受けながら、弱腰の対外政策をとった。

「世界史」では、平和が続いたが財政が窮乏したと述べている。

「中国歴史」では、遼の侵入に対して北宋の真宗に抵抗の精神がなく、宰相の寇准の断固抵抗の主張を聞き入れず、和平交渉によって「澶淵の盟」を結び、「歳幣」として毎年大量の銀と絹を贈るという屈辱的な条件を受け入れたことを批判している。また、西夏との戦争でも講和を結び「歳幣」として銀と絹と茶を贈ることにしたが、これらの「歳幣」が人民の負担を大きくしたとして批判している。王安石は法律を改正して一定の成果をあげた。「世界史」には、農民にとっても商工業者にとっても生活の安定と生産の増加をもたらし、国家財政を立て直すものであったとしている。「中国歴史」でも、いくつかの問題点を指摘しながらも、農業の発展をもたらしたとして同様の評価をしている。

② 宋代の農民決起

「中国歴史」には、北宋の初期（九九三年）に起こった王小波、李順の農民決起と、一一二〇年の方臘と宋江による農民決起、一一三〇年の鐘相、楊玄の決起を取り上げている。王小波、李順が「貧富の差をなくする」というスローガンをかけて闘ったことや、鐘相らが「貧富貴賤をなくする」という命題を提起して農民の支持を得たことは、社会主義国の中国にとっては無視できない史実であろう。

「世界史」ではこの農民決起は歴史を動かす力にならなかったためか触れられていない。

六 南宋の時代

① 愛国者岳飛

東北の女真族が遼を滅ぼし、勢いに乗って北宋に侵入してきたため、北宋の皇帝欽宗は捕らえられ、弟の高宗が逃れて臨安に到り南宋を建てたが、「中国歴史」ではそれについて、北宋の政府が李綱らの主戦論を押し和を求めたためとしている。しかし黃河流域の民衆は王彦の指導のもとに「八字軍」を組織し、武装して金に対して一〇〇年の長きにわたり頑強に闘ったことを賞賛している。

金に追われて臨安（現在の杭州）に都を定めた南宋も、和平派が岳飛らの主戦論をおさえ、講和を結び、広い土地

を奪われ金の臣となって、毎年大量の絹や銀を買がねばならなかった。「世界史」に述べられているこの事実について、「中国歴史」では、特に岳飛を褒め讃めた愛国者の將軍としてその活躍を讃え、厳格な規律のもとに勇敢に戦う「岳家軍」を率いて、あとひと押しで勝利することができるというとき、彼に対して退却命令を出した和平派の秦檜を裏切者の投降派として描いている。撤退命令に悲憤する岳飛はやがて將軍を解任され、でっち上げの罪名で殺害されたが、岳飛に対する民衆の哀悼の心情を訴えている。そして、侵略者に対して戦いを放棄した和平派は、卑怯な裏切り行為として批判されている。

② 華南地域の経済の発展

宋代の産業の発達については「世界史」「中国歴史」のいずれも肯定的な見方をしている。

「世界史」では、江南の地域の開発がすすみ米作が発展したこと、景德鎮の窯業などの手工業の発達、商業都市の発達、対外貿易の発展、金融業者の増加、紙幣の流通などを挙げている。

「中国歴史」でも、農機具の進歩と栽培品種の増加、特に茶の栽培の普及、織物業の発展、石炭を使用した製鉄業

や、景德鎮などの窯業都市の起こり、商業都市の東京（現在の開封）の隆盛、世界初の紙幣の流通などを挙げている。

特に南方の経済の発展については、金の圧迫から逃れて南へ移ってきた農民たちも多く、耕作面積の拡大、米の二毛作が始まったことなどから「蘇湖熟、天下足（蘇州、湖州の米が熟せば国全体が充足する）」という状態であったことを述べている。

造船技術の発達も大きく、五〇〇人以上が乗れる羅針盤つきの長さが二四メートル以上もある二〇〇トン積みの遠洋貨物船が造られ、対外貿易が盛んであったことを述べている。

七 元の統一

① 元の統治

一三世紀のなかごろ、東は中国の東北から西は西アジア・ロシアにわたる空前の大帝国になったモンゴル帝国は、その後四つの国家に分裂した。元の世祖フビライは都をモンゴルのカラコルムから大都（北京）に移して国名を元とし、一二七九年に南宋を滅ぼして中国全土を支配した。

「世界史」によれば、元の統治のしかたは、征服者とし

でモンゴル人第一主義をとり、政府首脳部や地方行政機関をモンゴル人で独占し、民衆を四つの階層に分け、モンゴル人・色目人（中央アジア、西アジアなどの異民族）・漢人（金の支配下にあった漢民族）・南人（南宋の支配下にあった漢民族）の順に遇した。漢人、南人は被支配階級であった。

「中国歴史」でもこの分裂支配があったことを記しているが、漢民族でも地主階級は広い土地を所有し官職をもっていたし、蒙古族でも貧民は破産流亡していたとし、主要な社会矛盾は農民と地主階級の間にあったと述べている。社会主義国家らしい把握のしかたである。

また、「世界史」によれば、支配者であるモンゴル族の数は少なく、もともと遊牧民であったので中国の農耕社会に寄生するだけで、根をおろすことができなかった。

「中国歴史」でもこの点について触れ、初めのうちは蒙古貨族たちは広大な農地を奪って種を蒔かず牧場にして家畜を飼っていたと述べている。しかし、世祖が即位以後はかなり農業生産を重視するようになり、司農司（農業を司る役所）を設けて勸農官を各地に派遣し生産を指導させたり、河渠司を設置して多くの水利工事を行ったことを評価している。また貿易や商業の発展がめざましく、港灣都市が繁栄した様子を描いている。さらに南北大運河の改修

と南北海上交通が大都（北京）への食料輸送を支えていたことを説明している。

② 元の対外関係

「世界史」は文化の交流を基本にして書かれている。モンゴル人はもともと遊牧騎馬民族であり、交易による利益を重視していたから、東西の通商路の確保に努めてきたので、東西文化交流が盛んになり、マルコポーロたちが元に来朝している。またイスラム世界との交流により中国にもイスラム教が広まったと説明している。

隣接諸国との関係については、朝鮮半島を支配していた高麗を属国とし、日本に侵入して撃退された元寇についても書かれている。

ところが「中国歴史」では、元の対外的な侵出についてはまったく触れていない。日本に対して二度にわたって展開された元寇についても、ひとかけらの記述も無いのは何故であろうか。つまるところ、漢民族にとって元朝は中国の政権ではなくて、中国を支配した異民族の政権であったという認識に立っているのではなからうか。それにしても多くの中国人の生徒が元寇という事実をまったく知らされないままに育っていくということは日本人にとって理解しがたい感じである。

③ 元の滅亡

元はその経済政策の破綻により社会不安を引き起こし、農民を主体とする白蓮教徒の紅巾軍の反乱に遭い、各地の群雄によって食料の供給を絶たれモンゴル高原に追い払われた。「世界史」に記されている。

「中国歴史」では、白蓮教の指導者の劉福通らによる決起が各地の農民の蜂起を促し、全国的な戦いに発展していった様子を詳しく説明している。そして地主階級が元の政府の側について農民決起を分裂させ、攻撃を加えたことを記し、劉福通らの紅巾軍は失敗に終わったが元の統治を崩壊させる力になったと説いている。もと紅巾軍に参加していた朱元璋は次第に地主階級思想に影響され、反革命の立場から元の軍を攻め、応天（南京）で皇帝として明政権を樹立した。

④ 宋元時代の文化

「世界史」では、宋代の文化として、朱熹による朱子学の大成をとりあげ、儒学の正統として日本や朝鮮の思想にも大きな影響を与えたことを挙げている。また陸九淵の思想は明代の陽明学の源流となったとしている。

これに対して、「中国歴史」では、唯心主義者の朱熹が唱える「天理」とは、天地の始まる前から存在し天地が滅

んだ後も存在し続ける万古永遠のもので、封建統治の「三綱五常」を維持することが「天理」の体现であり、誰もこれに違反することはできないと述べて封建統治者たちの思想的武器となったと評している。

印刷術、火薬、羅針盤の発明は、中国人民の偉大な三大発明として「中国歴史」では高らかに誇っている。「世界史」でもこのことは認めている。元寇のとき元の軍が火薬を用いたことはよく知られているところである。

北宋時代の沈括は「夢溪筆談」を書き科学上の成果を集約した。彼は「一二気曆」という曆をつくり、一年三六五日を大小の月を交互に置いて農業の段取りに役立つようにした。また、磁石の針がわずかに東に偏っていると述べ、地磁気の偏角の存在を発見していた。

郭守敬は元時代のすぐれた科学者で、曆法改訂の責任者として多くの天文観測機器をつくり、観測と計算を行ったとしている。彼の編成した「授時曆」は一年を三六五・二四二五日と計算し、現在の太陽曆の確立（ローマ法王のグレゴリイ曆）よりも三〇〇年早かったと自負している。

しかし「世界史」によれば、郭守敬の「授時曆」はイスラム教徒の天文学の成果が取り入れられているとしている。

司馬光の編纂した「資治通鑑」全二九四巻については取

材が広範闊、資料豊富、叙述明析、執筆態度が謹厳で、古
代史の研究に重要と述べている。「世界史」でも編年体の
中国通史として名高いと紹介している。

宋代の文学者として「世界史」「中国歴史」のいずれも
蘇軾を挙げている。「詞」は宋代に新しく生まれた韻文で
音曲に合わせて歌われた。

「中国歴史」では詞人として辛棄疾と陸遊を挙げている。
辛棄疾は蘇軾の後を継いで六〇〇以上もの多くの優れた
詞を残している。彼が若いころ決起軍に参加して金の侵
出に抵抗して闘った反抗精神を讃えている。有名な詩人、
詞人の陸遊も祖国の統一を渴望しすぐれた詩をつくったこ
とを紹介している。

宋代には演劇が発達したが、元代にはさらに発達した。
戯曲は「元曲」と呼ばれ、大衆のあいだに普及した。「世
界史」では代表作として「西廂記」「漢宮秋」を挙げている
が、「中国歴史」では劇作家の関漢卿を取り上げ、彼の
作品の中でも「賈娥冤」を優れた代表作としている。これ
は賈娥という若い女性が封建統治に抵抗して闘ったことを
テーマとしている。関漢卿の作品は思想的にも芸術的にも
優れていると述べている。

南宋画・北宋画について「中国歴史」では説明されてい
ないのは何故であろうか。青磁白磁などの工芸品について

も同様である。禅宗、全真教、カトリック教など宗教に関
するものは無視されている。

(おわりに)

前号に引き続き、中国歴史について日本と中国の歴史教
科書の記述を比較検討してきた。

日本と中国が、自由主義社会と社会主義社会という体制
のちがいにいることが、歴史教科書の記述内容に大きな相
違を生み出していることは明白であるが、それ以外にも、
周辺の国家や民族との関係をどう捉えるかによって、歴史
の見方が違ってくることも明らかにした。

次回からは、明・清の時代に入り、国際関係も複雑にな
るので手ごたえがあると思っている。しかし、まず翻訳の
作業から取り掛かなければならないので、どこまででき
るか自信がない。ともかく私のライフワークとしてがんば
っていききたい。

国際理解の集い（岡山）報告

元テヘラン日本人学校

備前市立備前中学校 根 葉 健 児

海外の日本人学校へ派遣され、現地で得た貴重な体験・経験を、スライド等をまじえて発表してもらい、外国を知ると同時に、日本と同じ点や、相違点を考えていく中で、国際理解を深めていこうという集いを開催しました。

当日は、桑田中学校の国際交流クラブの生徒のみなさんをはじめ、四十一名の参加者が集いました。アジア地域からは、斉藤先生のクアラルンプール報告、ヨーロッパ地域からは、統一となったドイツのハンブルグ報告を平川先生、そしてアメリカ地域は、居原田先生のニューヨーク報告がありました。

時間の都合で、話し合いの時間が短くなってしまったのが残念でした。

当日の要項は以下の通りです。

日 時 平成二年十一月四日（日）

十時～十二時

会 場 岡山市立中央公民館

発表者 斉藤 輝三（クアラルンプール）

平川公之助（ハンブルグ）

居原田進一（ニューヨーク）

第一回子供のための国際理解(岡山) 「ふれあおう 世界の歌や遊び」

— アジア編 —

担当 行事研究 片山 主計
事務局 渡辺 光

平成三年二月二十四日、岡山市立中央図書館でこの種の初めての催しを行いました。岡山市内の津島、弘西、庄内、高島各小学校に依頼し、約四十人の小学五、六年生の参加を得ました。今回はいわゆる「遊び」を通して「国際理解」を深める一助にしたいとの考えで企画しました。

外国の方は、岡山大学の留学生の方を中心として、インド、中国、マレーシアの方にお願いしました。

インドの GOL STAPU (ゴル・スタッフ)、マレーシアのセパタ・クロ(竹製のボールを蹴りあう)、中国のティヨ・シヨオ・チュアン(中国のわらべ歌を口ずさみながら、ハンカチ落としをする)等々。時間が充分ではなかったのですが、結構楽しんでくれました。最後に、留学生の方より出しものを披露していただき、インドの方のすてきな声と舞踊には思わず、溜息がもれていました。また、李さんの

奥さんの民族衣装、チーパオにもうっとり……。
肝心の子供の反応はどうでしょうか。アンケートのなかから、いくつか紹介したいと思います。

- ・外国の遊びを知ってとても楽しかった。
- ・踊りが大変気に入った。歌もめずらしい曲ばかりでいろいろな体験ができてよかった。
- ・日本の遊びや歌も逆に教えてあげたい。
- ・もうすこし、ふれあう時間を長くし、外国の人と自由にはなせる時間が欲しい。
- ・アジアだけでなく、他の地域との交流もやって欲しい。



ジェシカさんのインド紹介

第六回映像鑑賞会

元メキシコ日本人学校

倉敷市立新田中学校 寺脇 政富

映像鑑賞会も回を重ね、今年が六回目である。今回、初めて倉敷地区で開催することになった。昨年のも第一回国際理解講座と同じような内容になるのではと危惧したが、案の定その通りになってしまった。

その原因として、我々自身が、企画の段階でその相違点を明確にとらえていなかったことが考えられる。次年度のためにも、今回の映像鑑賞会の取り組みの経過を振り返ってみたい。

第六回映像鑑賞会

一、日時 一九九〇年十一月十八日(日)

二、会場 倉敷市民会館第一展示室

三、内容

① エジプト体験記(ヘスライド)

元カイロ日本人学校

安藤 一雄

② シンガポールの人々(ヘスライド)

元シンガポール日本人学校

赤田 卓美

③ マレーシアの文化と日本人学校の子どもたち

(ヘスライド)

元クアラルンプール日本人学校

斎藤 輝三

右の要項で実施した。今回はできる限り大勢の人の参加を目指してチラシを百五十部作成し、倉敷市内の小・中学校に配布した。また、市民会館や公民館、美術館などにもチラシを置いた。そして、倉敷市の国際交流課にも協力を要請した。その他、報道関係各社にも催しもの欄に記載してくれるように頼んだ。以上のような取り組みの結果、当日は、昨年に比べてより多くの人が参加してくれた。子どもも参加もあり、当事者としてうれしく思った。

次年度に向けての課題として、左記のことが明確になった。

① 一人や二人で企画・運営するには限界がある。

② 大勢の人が参加できやすい企画の工夫。

国際理解のための青少年の集い

主催 岡山県国際理解教育研究会
後援 津山市教育委員会

◎ジロセフィン・オキーフさん（イギリスから）
※日本語でお話が出来ます。
※飲み物とスナックを準備しています。

- 一、対象 小学校五・六年生、中学校一・二年生
- 二、日時 二月十六日（土）十四時～十六時三十分
- 三、場所 津山市総合福祉会館 四階大会議室

（津山市役所となり）

四、内容

- (1) アメリカで暮らしたことのある二人の先生の話をお聞きしよう

●ビデオで紹介（シカゴの現地校の生活）

……………太田先生

●スライド紹介（ニューヨークの暮らし）

……………居原田先生

- (2) 津山に住んでいる外国人と話そう

出席予定の外国人

●アン・アーリングさん（アメリカから）

●マニー・アントニーさん（マレーシアから）

●マイケル・フォードさん（アメリカから）

第三回青少年のつどい

— 国際理解に向けて —

岡山市立福田小学校教頭 安藤一雄先生

・ 帰国子女の発表（未定）

・ 懇談、民話、歌の交歓

……海外派遣教師、外国人留学生と

。会 食

参加対象 小学校五年生、中学校三年生

参加費 無料

主催 社団法人岡山県青少年育成県民会議

岡山県国際理解教育研究会

後援 岡山県・岡山県教育委員会

財団法人福武教育振興財団

私たちの郷土岡山は、瀬戸内時代を迎え外国との交流も
多くなり、国際化が進んでいます。

このようなとき、二十一世紀の岡山県をになう青少年の
皆さんの役割は大きく、広く世界の人々との交流が期待さ
れます。

そこで、海外生活の体験をされた先生方や留学生の方々
とのつどいを聞き、楽しいお話やゲームを行います。参加
して国際理解に関心を高めましょう。

と き 平成二年十月二十一日（日）

十時～十四時三十分

ところ 岡山衛生会館

（岡山市古京町一丁目一一〇）

行事。講話

・ エジプトの子どもたち

事務局だより

事務局を担当させて戴いて、丸三年が過ぎようとしてゐる。会を「より開かれたもの」ということをキーワードに微力ながら、この三年間務めてきたつもりである。

平成二年一月正式に「第十九回全国海外子女教育研究会・全国国際理解教育研究大会」（平成四年八月六・七日、会場は就実女子大学ならびに就実短期大学）を受けることになってから、事務局も極めて多忙な連日であったと記憶している。かかるなかで、八月、兵庫大会には、下見を兼ねて、多くの役員、会員の先生方に参加戴けたことは大きな力強い第一歩であり、意識の高揚につながった。

そして、この一年役員の先生方には手弁当で本務も幾分か犠牲にしながらも、平成四年の全国大会で「岡山で何ができるのか」を中心テーマに、六回にも及ぶ研究推進委員会で議論を重ねた。その結晶が大会テーマ「明日の世界に役立つ、心豊かな子供の育成」―だれでも、いつでも、どこでもできる国際理解教育―の決定である。

今後は、具体的な実践をひとつひとつ積み上げていくことだと考えている。副読本の企画、「子供のための国際理解の集い」等是我会の大きな柱ともいえるものと自負している。二月の岡山、津山での子供を対象にした企画はかか

る意味で一つの新しい取組みであった。

また、定例の「国際理解」の集いは、岡山、倉敷で開催し、昨年の反省をもとに、徐々にではあるが内容充実に向かっている。第三回を迎えた「青少年の集い」も衛生会館の広い会場に恵まれ、今回は留学生とのより深い、動きのあるふれあいができたように思う。

平成三年四月、大会事務局が設置されると、本大会まで、あと一年四か月。来年度の一年間が我々にとって正念場なのである。「岡山大会」が「子供の目を世界に広げるにはどうしたらいいのか」と真摯に取り組んでおられる全国の先生方に、すこしでも解決の糸口の一助になればと考えている次第である。

全国大会成功の鍵は、なにはともあれ、会員の先生方の温かいご支援にかかっています。どうか、積極的なご助言、協力を望んでやみません。

（事務局長 渡辺 光）

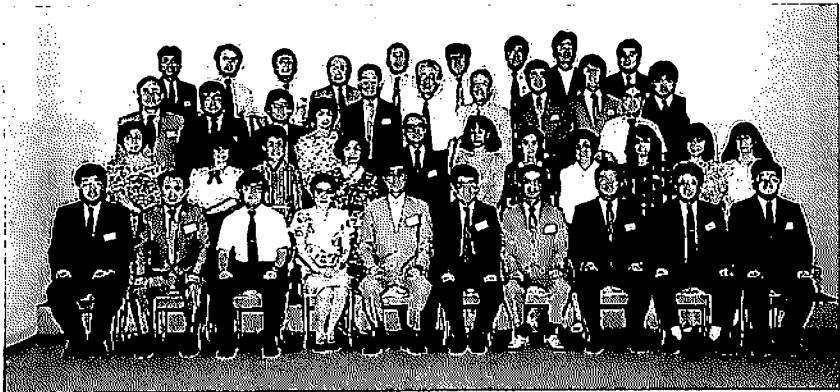
主な事業報告（平成2年度）

H. 2

- 3月31日(土) 第1回研究推進委員会
 5月19日(土) *役員会兼第2回研究推進委員会
 6月15日(金) 「国際理解」第7号刊行
 6月16日(土) *第18回海外派遣教師のつどい(兼総会)(まきび会館)
 7月6日(金) 中学校長会長(京山中 須賀氏)へ事業計画書提出, 依頼
 7月9日(月) 小学校長会長(伊島小 分島氏)へ事業計画書提出, 依頼
 8月8日(水) 全国大会(兵庫)理事会出席(熊代, 渡辺)神戸六甲荘
 8月9~10日 全国大会出席(兵庫大会)
 8月28日(火) *第3回研究推進委員会
 9月27日(木) 就実大学へ借用依頼, 申請書提出(全国大会会場)
 10月13日(土) *教育研究助成報告会(福武本社ビル)
 10月21日(日) *第3回青少年の集い(衛生会館)
 11月4日(日) 国際理解の集い(岡山市立中央公民館)
 11月10日(土) *第4回研究推進委員会
 11月18日(日) 第6回国際フィルム鑑賞会(倉敷市民会館)
 12月8日(土) *第5回研究推進委員会

H. 3

- 2月9日(土) *第6回研究推進委員会
 2月16日(土) 国際理解のための青少年の集い(津山市総合福祉会館)
 2月24日(日) 特別企画「ふれあおう 世界の歌と遊び」(中央図書館)
 3月16日(土) *第19回海外派遣教師の集い(三光荘)



海外派遣教師の集い 平成2年6月16日